

第五十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十號

大正十五年三月三日(水曜日)

午前十時二十三分開議

議事日程 第二十號 大正十五年三月三日

午前十時開議

第一 大正十五年度歳入歳出總豫算案並大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件

第三 日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出 衆議院送付)

第四 造幣局工場其ノ他改築費ニ關スル法律案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會

第五 京都高等工藝學校移轉改築費ニ關スル法律案

(政府提出 衆議院送付)

第一讀會

第六 簡易生命保險法中改正法律案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、服部一三君ガ質問セラレル譯デゴザイマスガ、服部君ノ質疑ハ外務大臣ニ對セラレルノデゴザイマシテ、外務大臣ハ國務上、午前ハ出席ガ出來ナイ趣デゴザイマスカラ、服部君ノ質疑ハ外務大臣ノ出席ヲ待ツコトニ致シマス、阪谷男爵ニ發言ヲ許サウト存ジマス、唯今國務大臣ガ出席セラレルト存ジマスカラ、暫ク御待チヲ願ヒタイト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ幾多ノ質問ヲ持ッテ居リマスルガ、如何ニモ會期ガ切迫イタシマシテ、今日頃質問ガ終了シナケレバ、貴族院ガ慣例ニ依ッテ、豫算委員ノ審査期限ヲ二十一日ト決メルコトニナッテ居ルト記憶イタシテ居リマスルガ、或ハ其二十一日ノ期限ニ日ガ不足スルヤウナコトハナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、從ヒマシテ、本員ハ此豫算ノ本會議ニ於ケル質問ハ、本日ヲ以テ終了イタシタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、併シ終了スルコトニ付テ、本員ハ未ダ各派ニ交渉シタコトモゴザイマセズデ、茲ニ動議ヲ提出スルノデハゴザイマセズ、成ルベク本日ヲ以テ質問ヲ終了イタシテ、明日ヨリ豫算委員ノ會ヲ繼續スルヤウニナッダ方ガ、慣例上宜カラウト云フコトノ考ヲ有スルノデアリマス、從ヒマシテ本員モ質問ヲ至ッテ數ヲ減ジ、又理由ノ説明モ簡單ニ致シタイト存ズルノデアリマス、本員ノ質問ニ付テハ、外務大臣、内務大臣、大藏大臣其他陸軍、海軍、逓信大臣等ノ御答辯ヲ要スルノデアリマスガ、既ニ色々法案ガ特別委員ニ付託ニナッテ、國務大臣モ御忙シイコトデアリマスルデ、若シ御缺席ノ大臣ヨリ答辯セラレルガ至當デアル場合ニハ、アトカラデモ宜シウゴザイマス、本員ハ本員ノ間ヒタイコトダケヲ茲ニ申述ベテ置クノデアリマス、此度ノ豫算ニ於テ最モ問題ノ焦點トナルモノハ、海軍ノ補助艦艇ノ費用、郡役所ノ問題、此二ツデアラウト思フ、デ、昨日大井男爵ノ問ニ對シテ、海軍大臣ヨリ御答辯ノアリマシタ通りニ、補助艦艇ノ補充費トシテ、三億二千万圓ノ計畫ハ必ズ實行スル、必ズ實行スルト云フ

コトヲ御明言ニナツタ譯デアリマス、從テ豫算ノ形式ト致シマシテハ、本年度ニ於テハ、單ニ驅逐艦艇四隻、二千万圓餘ノ問題デゴザイマスルケレドモ、我々ハ之ヲ議スルニ當ツテハ、是ハ三億二千万圓ノ一部デアルト考ヘテ置カナケレバナラス、從テ税制整理ノ問題ニモ關係イタシマス、茲ニ義務教育費國庫負擔トシテ、果シテ増加スルノ宜イカ惡イカト云フコトモ、財源如何ノ上カラハ考究シナケレバナラス、ソレデ私ノ質問ヲ致サムトスルノハ、此三億二千万圓ト云フト、大キイ呼聲ニナリマスノデ、日本ガマダ軍備ヲ擴張シテ世界ノ平和ヲ脅威スル、斯ウ云フ誤解ガ有ツチヤナライ、デ、此三億二千万圓ノ補助艦艇ノ補充計畫ナルモノハ、現存シ居ル海軍ノ力ヲ補フテ行クノデアツテ、決シテ現在ヨリモ勢力ヲ増スモノデハナイト云フコトガ、明カニ言ヒ得ラルルヤ否ヤト云フコトヲ、海軍大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、昨日ノ御答辯中ニハ、艦ノ製造ト云フモノハ、段々改良ヲ加ヘテ行キ、兵器モ改良ヲ加ヘテ行クカラ、現在ノモノヨリモ良イモノヲ作ルト云フコトハ、必要デアルト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、サウナルト或ハ現在ノ勢力ヨリモ、強イ勢力ノモノガ出來ルト云フコトニナル、其間ニ於テ列國ノ間ニ誤解ヲ生ジテハナラスト云フコトヲ、私ハ心配イタシマス、無論艦ノ大キサ、大砲ノ大キサ等モ變リマセウケレドモ、凡ソ勢力ト云フモノノ上ニ於テハ、現在ノ勢力ト等シイモノデアアル、或ハ現在ノ勢力ヨリモ増スモノデアアルカト云フコトヲ、明カニシテ置キタイノデアリマス、尙ホ是ハ或ハ外務大臣ノ御答辯ヲ要スルカト思ヒマスガ、ドナタカラデモ宜シウゴザイマス、聯盟……國際聯盟ニ於テ軍備縮小ト云フコトガ、是ハモウ既ニ實際ノ問題ニナツテ居ル、又米國ノ政府ハ、華盛頓會議ノ結果トシテ、再ビマア前ノ會議ノ繼續ト云フコトデアリマスマイガ、モウ一遍、華盛頓會議ミタヤウナモノヲ開イテ、軍備ノ縮小ヲ期シタイト云フヤウナ考モ有シテ居ラレルト云フヤウナコトモ、新聞……新聞デハナイ、是ハ公ケノ事實ニナツテ居ッタヤウナコトデアリマス、此軍備縮小ト云フコトハ、無論マダ未知數ノコトデアリマスケレドモ、果シテ是ガ實現セラレテ、此海軍ノ補助艦艇ノ費用モ、之ニ顧ミテ幾分デモ減スルコトガ出來得ルナラバ、非常ニ國民ハ負擔ノ上ニ於テ幸福ヲ感ズル次第デアリマスガ、私ハ軍備縮小會議ガ成ルベク列國ノ間ニ完全ナル協定ヲ經テ、列國共ニ此軍備ヲ縮小シテ國防ノ費用ヲ減ズルト云フコトハ、人類ノ最モ希望スベキコトト存ズル者デアリマスガ、此度ノ三億二千万圓ノ計畫ヲ實施セ

ラルル上ニ付テ、其軍備縮小ノ議論ト、ドウ云フ關係ニナツテ居リマスルカ、軍備縮小ノ問題ハ茲ニ未ダ、實行ヲ見ルノ時期ハ非常ニ遠イ、從テ此計畫ノ上ニ、其事ヲ考慮ニ入レルコトガ出來ヌト云フノデアアルカ、又ハ軍備縮小ノ會議ガ、ヨシンバ成立シテ、其事ガ決定ニ至ルトシテモ、此計畫ニハ少シモ觸ルル所ガナイト云フノデアリマス、其コトヲ一ツ明瞭ニ御答ヲ願フテ置キタイ、是ハ本會議ニ於テ承ツテ置キタイ點デアリマス、次ニ第二ノ問ハ、陸軍大臣ノ御答辯ヲ煩シタイノデアリマスルガ、最近ノ新聞ノ傳フル所ニ依レバ、外蒙古ニ於ケル露國ノ、何ト申シテ宜シウゴザイマスルカ、或ハ赤化運動ト云ヒ、或ハ侵略トモ云フ、外蒙古ニ對シテ露國ノ軍隊ガ這入ッテ、ソコノ兵力政權ヲ掌握シテ居ルト云フ事實ノヤウニ見エマスノデスガ、是ハ侵略ノ事實ノヤウニ考ヘラレマスガ、果シテサウ云フ事實ガアリヤ否ヤ、又齊多、張家口ノ間ニ鐵道ヲ敷設スルコトニ付テ、露國ト支那トノ間ニ協約ガ成立ッタカノ如ク報ジテ居リマス、ソレ等ノ事實ハ果シテ存在シテ居ルノデアリマスルカ如何、先般南滿洲鐵道株式會社ノ調査隊ガ、內蒙古ノ調査カラ僅ニ少シバカリ外蒙古ノ方ノ境ニ這入ッタト云フノデ捕縛セラレ、餘程談判ノ末デ漸ク解放セラレタヤウデアリマスガ、是等ハ如何ナル勢力ヲ以テ之ヲ捕縛シタノデアアルカ、露國ノ力デ之ヲ捕縛シタノカ、又ハ外蒙古ニ於ケル支那ノ力ヲ以テ捕縛シタノカ、甚ダ帝國ノ平和的行動ニ對シテ、穩カナラスコトニ本員ハ考ヘルノデアリマス、其顛末ト云フモノニ付テノ御辯明ヲ煩ハシタイノデアリマス、而シテ此外蒙古ニ於ケル露國ノ活動ト云フコトガ、果シテ我ガ滿蒙ノ地位ヲ脅威スルモノガ無イト、陸軍大臣ハ御認メニナツテ居ルカ、申ス迄モナク、滿蒙ハ我ガ國防ノ第一線ト云フコトハ、軍事當局者ノ口ヨリ屢々聽ク所デアリマス、勿論帝國ノ領土デハナイ、併ナガラ帝國ガ最モ重大ナル利益ヲ有シテ居ル其滿蒙ノ、我ガ國防第一線トモ云フベキ地位ニ、何等ノ脅威ハ無イト、陸相ハ考ヘラレテ居ルノデアアルカ否ヤ、又若シ脅威アリトスルナラバ、之ニ對シテノ國防上ノ御計畫ニハ、缺クル所ハ無イノデアアルカ、其事柄ニ付テノ御辯明ヲ煩ハシタイノデアリマス、次ハ遞信大臣ニ伺ヒタイノデアリマスルガ、航空路ノ事デアリマス、今日空中ノ交通ト云フモノハ、最早實際以上ノ問題ニナツテシマッタノデアリマシテ、軍備上ニ於テモ、經濟上ニ於テモ、殊ニ郵便ノ運搬等ニ於テハ、此交通路……航空路ノ具備セザル國ハ、二等三等國ニ落チナケレバナライ、往年德川時代ニ日本ニ大船ヲ造ルコトヲ國禁

トシタ結果、日本ノ航海ガ振ハヌ、明治ニナツテ五十餘年ノ苦心ヲ經テ、今日ノ日本郵船會社トカ或ハ大阪商船會社ノ數百萬噸ノ商船ガ出來ルヤウニ、僅ニナツタノデアリマシテ、此航空路ノ事モデス、早キニ於テ之ヲ著手シテ、共ニ竝行シテ進ムニアラズンバ、日本ノ空中ニ於ケル勢力ト云フモノハ、悉ク人後ニ落チナケリヤナラナイ、デ此事ニ付イテハ、屢々豫算委員會デモ質問イタシ、此十五年度ノ豫算ニ於テハ、必ズ出スト云フ御決心デアルヤニ承、テ居ッタノデアリマス、尤モ逓信大臣モ度々御更リニナツタノデ、私ハ前ノ大臣デアッタカ、現ノ大臣デアッタカ、屢々申上ゲタコトデアリマスルデ、一一ハ記憶イタシテハ居リマセヌガ、現大臣ニ於カレマシテ、必ズ十五年度ニ於テ此事ハ豫算デ協賛ヲ求ムルト云フコトヲ、申サレタト云フヤウニ記憶イタシテ居ルノデアアル、然ルニ何等ソレ等ノ事ガ見エナイ、若シ果シテ斯ノ如キ狀況ニ於テアルナラバ、日本ノ交通……航空ノ發展ト云フモノハ、之ヲ期スルコトハ出來ヌ、デ昨年朝日新聞社ノ……民間ノ一新聞社ノ力ニ依リ、之ニ無論航空局トカ或ハ帝國飛行協會トカ云フモノモ、援助ハ致シタノデアリマスルガ、兎ニ角民間ノ一新聞社ノ力ニ依ッテ訪歐飛行ヲ企テタノデアアル、其事ハ幸ニ無事ニ成功イタシテ、非常ナル、帝國ノ爲ニハ航空上ノコトニ付イテ信用ヲ増シ、又世界ノ人モ、帝國ノ航空上ニ於ケル技術ノ勢力ヲ認メルヤウニナツタノデアアル、併シハ唯ダ民間ニサウ云フ計畫者ガアツタカラ出來タヤウナモノデアアルガ、甚ダ政府トシテハ力ヲ盡サレルコトガ乏シヤウニ思フノデアリマス、事柄ニ於テ無クテハナラヌモノデアアル、無クテハナラヌモノヲ缺イテ置イテ、而シテ逓信大臣トシテ……航空ノ事務ヲ所管スル逓信大臣トシテ、其責ヲ盡シ得タリト御考ヘニナルノデアリマセウカ、甚ダ本員ハ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、其事ニ付テハ貴衆兩院ヨリモ、建議ナリ、希望ナリ、屢々出タコトデアアル、デ何人モ本年度ニ於テハ其事ガ、金額ノ大小ハ問ハヌケレドモ、其端緒ヲ見ルコトハ出來ルデアラウト考ヘテ居ッタノデアアル、然ルニ影モ形モナイ、甚ダ本員ノ解シ能ハヌ所デアリマスガ、或ハ追加豫算トシテ……追加豫算トシテハ如何ニモドウモ性質ガ其當ヲ得スト思ヒマスルガ、已ムナクンバ、十五年度ノ豫算ニハ入ラストシテモ、十六年度ノ計畫トシテハ必ズ御提出ニナルノデアリマセウカ、逓信大臣ノ御考ヲ承ッテ置キタイノデアリマス、次ハ此郡役所ノ問題、郡役所廢止ノ問題ニ付テ、私ハ内務大臣ナリ、大藏大臣ナリニ、御尋ネ致シテ置クノデアリマスルガ、郡役所廢止ノ得失ヲ御

尋ネスルノデハナイガ、其豫算ノ討議ノ際ニ於テ、又再ビ昨年ノ文部大臣ニ對スル師範教育費ノ補助ト同ジヤウナ混雜ヲ惹起スト云フコトハ、甚ダ遺憾デアリマス故ニ、貴族院ガ未ダ……郡役所廢止ノ當否ヲ論ズルニ先ダツテ、先ヅ以テ政府ノ此豫算ノ形式ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ、内務省所管經常部第十一款ト記憶イタシテ居リマスガ、地方廳ノ費用ト云フモノハ、今年ハ四十何万圓カ減ッテ居ル、憲法ノ六十七條ニ依ッテ保障セラレタル政府ノ既定歳出ガ、政府自ラノ行政整理ノ結果トシテ、即チ郡役所ヲ廢シタリ色ニナコトデアリマセウ、四十何万減ッテ居ルノデアリマスルカラ、郡役所廢止ト云フコトガ、若シ貴族院ニ於テ可決セラレタトキハ宜シウゴザイマスガ、郡役所ノ廢止ヲ否決シテ、郡役所ノ制度ヲ存續スベシトナツタ場合ニ於テハ、此豫算ノ形式ニ付テ、必ズ一ツノ議論ガ生ズル、デ此十一款ノ豫算ヲ見ルト、郡役所ノ費用ハ三箇月分入レテアリマス、三箇月ダケハ郡役所ノ費用ガ這入ッテ居ルガ、アト九箇月ノ費用ハ這入ッテ居ナイ、而シテ地方廳ノ事務官ヲ増スト云フヤウナ費用ガ、若干這入ッテ居ル、故ニ政府ガ……郡役所廢止ノコトヲ貴族院ハ同意スルトカ同意セストカ云フ、政府ト貴族院トガ議論ヲ異ニシタ場合……是ハ異ニスルト云フコトハ當然ト思フ、政府ハ廢止スルモノトシテ、大權ノ發動ニ依リ行政整理ヲ實行シテ、玆ニ既定ノ歳出ヲ減ジテ出シテ居ル、之ヲ貴族院ガ廢スベカラズトシテ論ジテ見テモ、官制ヲ定メルコトハ天皇ノ大權ニ屬スルコトデアアル、況ンヤ既定ノ歳出デアアル、其既定ノ歳出ガ減ジテ出テ居ルノデアリマス、増シテ居ル場合ニハ、之ヲ貴族院ガ削除スルコトガ出來ルガ、減ジテ出テ居ルトナルト、貴族院ノ意思ヲ豫算ノ形式ノ上ニ發表セムトスルニハ、此地方廳事務官ノ増員ニナルト云フ費目若干ヲ、削除スルノ外ハナイト思フ、デ此場合ニ於テ政府ハ、此地方廳事務官若干……事務官以下若干増員ノ費用ト云フモノハ、既定ノ歳出ト御認メニナルカ、若クハ自由ノ討議ヲ許スモノト御認メニナルカト云フコトヲ、一言承ッテ置キタイノデアアル、若シ既定ノ歳出ナリト爲サルナラバ、貴族院トシテ希望ハ述ベルコトハ出來ルケレドモ、其貴族院ノ意思ヲ豫算ノ形式ノ上ニ貫徹シヤウガナイ、幾ラ論ジテ見タ所ガ、甚ダ無駄ナコトデアアル、若シ政府ガ地方廳ノ事務官増員等ニ若干ノ費用ハ、既定ノ歳出ノ範圍内デハアルケレドモ、新タナル費用デアアルカラ、貴族院ノ自由討議ヲ許スト云フ御見解ナラバ、我々ハソレニ付テ論議ハ出來ルノデアアル、私ハ唯今郡役所ノ廢止ノ得失ヲ論ズルノデハアリマ

セヌガ、議論ノ混雜ヲ避クル爲ニ、此内務省經常部所管ノ第十一款ノ中ニ、新ニ政府ガ求メタ費用デアッテ、ソレハ既定歳出ノ増額トナッテ居ラス、既定歳出ノ増額トナッテ居レバ、問題ハ譯ハナイケレドモ、其既定歳出ノ増額トナッテ居ラス、其新タナル費用ト云フモノニ付テ、貴族院ハ政府ノ同意ナシニ削除ガ出來ルヤ否ヤ、即チ自由討議ヲ許スト政府ハ認メルヤ否ヤ、斯ウ云フコトニ付テ一言政府ノ御考ヲ承ッテ置キマス

〔國務大臣財部彪君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(財部彪君) 阪谷男爵ノ御尋ニ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、第一ノ御尋ニ今回ノ海軍ノ補助艦艇製造ノ計畫ハ擴張デアリヤ、或ハ補充ニ過ギナイノデアアルカ、何レデアアルカト云フ御尋デアッタト思ヒマス、是ハ勿論補充デゴザイマス、我ガ海軍ノ補助艦艇ノ補充サルベキモノノ實體ハ、如何ナルモノデアアルカト申シマス云フト、ソレハ第四十六議會ニ於テ御協賛ヲ受ケマシテ、今ヤ其豫算ノ實行中ニゴザイマス所ノ、此補助艦艇製造費ニ依ッテ得マスル所ノ艦ト、ソレト其以前ヨリ保有イタシテ居リマス所ノ艦トヲ併セマシタルモノ、之ヲ噸數ニ致シマシテ約三十八万噸位ニナリマスルモノガ、是ガ我ガ海軍ノ補助艦艇ノ勢力ノ基準ニナルノデゴザイマス、此勢力ハ尙ホ此補助艦艇製造費ノ豫算實行ノ途中ニゴザイマスルカラ、大正十七年ノ末ニ至リマシテ、是ダケノモノガ完成……揃フコトニナルノデゴザイマス、而シテ今回ノ新ニ要求イタシマス所ノモノハ、其十七年度迄ニ出來上リマス所ノモノノ中デ、又追々勢力ヲ減耗イタシマシテ、朽廢イタスモノガゴザイマスカラ、ソレヲ補充セムトスル所ノ計畫デゴザイマス、決シテ是ハ擴張デハゴザイマセヌ、全ク補充デゴザイマス、尙ホ少シ細カク申上ゲマスレバ、今回ノ計畫ニ依ッテ出來マス所ノ艦ハ、各艦個々ニ於キマシテハ、其勢力ヲ増加スルコトニナルノデアリマス、併シハ各艦個々ニ同様デアアルノデアリマスカラ、相對勢力ニハ決シテ是ガ日本ダケ増スト云フコトニナルノデハゴザイマセヌ、各國ノ例ニ外ナラスノデアリマス、加之各艦個々ノ勢力ガ増シマスレバ、用兵上ノ見地カラ、爲シ得ル限リハ、此隻數ニ於テ……艦ノ數ニ於テ減ズルト云フコトニ致シテ居リマスカラ、結局出來上リマシテ新ニ戰列ニ加ハリマスル所ノ艦ト、朽廢シテ艦籍ヲ脱シテ行キマス所ノ艦トノ總噸數ハ、略、相匹敵スルモノデゴザイマスカラ、此點カラ申シマシテモ、擴張デハナイノデゴザイマス、第二ノ御尋ハ今回ノ補充計畫ハ列強間ノ軍備縮小會議トハ如何ナル關係

ニアルモノカ、斯ウ云フ御尋デアッタト思ヒマス、所謂軍縮會議ハ、大正十年ノ彼ノ華盛頓會議以來、常ニ各國ノ間ニ論議イタサレテ居ルコトハ、明カナ周知ノ事實デアルト思ヒマス、併ナガラ御承知ノ通り、此先ニ華盛頓會議ニ於テ見マシタアノ成績ト云フモノハ、實ハ古今未曾有ノコトデアッタト考ヘルノデアリマシテ、アレ以上ノ其軍縮ノ實行ト云フコトハ、ナカノ諸種ノ困難ガ伏在シテ居ルヤウデアリマス、ソレデ各國共ニ熱心ニ是ハ、何レモ之ヲ欲セナイモノハ無イト考ヘマスガ、如何ニセム各國ノ間ニハ、ソレノ利害關係ヲ異ニスル點モゴザイマス、各國各、宜シキヲ異ニ致シテ居リマスル爲ニ、次ニ行フ所ノ軍縮會議ニハ、如何ナルコトヲ土臺トシテ之ヲヤレバ、成功ヲ贏チ得ルヤ否ヤト云フコトハ、頗ル困難ノコトノヤウデアリマス、ソレ故ニ全體ノ傾向トシテハ、軍縮會議ニ一歩々々近ヅキツアルヤウデアリマスケレドモ、果シテ何時是ガ實現スルカト云フコトハ、誰人モ豫期スルコトハ出來スト考ヘルノデアリマス、此果シテ何時實現スルカ豫期セラレナイモノヲ當テニ致シマシテ、國家防衛上重大ナル此海軍ノ勢力ヲ朽廢スルガ儘ニ委シマシテ、其儘看過スルコトハ、ドウシテモ出來ナイノデゴザイマス、前ノ御尋ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマシタ通り、今回ノ補充計畫ハ全ク補充ノ目的デゴザイマスカラ、是ハ軍縮會議トハ何等關係スル所ハナイト考ヘマス、尤モ軍縮會議ガ實現イタシマシテ、其時或ハ此補助艦艇ノ數ニ付テモ、或ハ協定ガ成立ツヤウナコトガ有ルカモ豫期スルコトハ出來マセヌガ、其コトハ其時相當ニ處置イタセバ宜イ考デアリマス、今日ニ於テハ何等抵觸スル所ハナイ、何等關係スル所ハナイ、軍縮會議ノ有無ニ拘ラズ、是非今後補助艦艇ノ補充ダケハ圖ラナケレバナラス位置ニアルト、斯ウ確信イタシテ居リマス

〔國務大臣宇垣一成君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(宇垣一成君) 阪谷男爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、御問ハ二點アッタト思ヒマスガ、其第一ノ點ハ、外蒙古ニ於ケル露國勢力ノ侵入ノ狀態ノヤウニ拜承イタシマシタ、外蒙古ニ對シテ支那ノ中央官憲等ノ權威ガ十分ニ及ンデ居ラヌト云フ所ノ事實ハ、我々ハ承知ヲ致シテ居リマス、即チ帝國人ガ旅行ヲ致シ、其中央官憲若クハ東三省官憲ガ發行シタ護照ガ、一度外蒙古ノ土地ニ這入ルト、效力ガ十分ニナイト云フヤウナ事實ハ、承知ヲ致シテ居リマス、併ナガラ外蒙古ニ於テ政治ナリ軍事ナリガ、悉ク露人ノ手ニ歸シテ、又齊多カラ張家口ニ通ズル所ノ鐵道ノ敷設ノ契約ガ成立ッテ居ルト云フヤウ

ナ事實ハ、私共ハマダ承知イタシテ居リマセス、第二ノ御問ハ、外蒙古ノ實況ニ照シテ、帝國トシテ國防上不安ヲ感ジテ居ラヌカ、又ソレニ伴フノ或ル施設ヲナス必要ハナイカ、ト云フ御問ノヤウニ承知ヲ致シマシタガ、男爵ノ御述ベニナツタ如キ狀況デアラナラバ、是ハ聊カ不安ヲ感ズルト申サネバナラヌ、又ソレニ伴フ施設モ必要ト感ジマスガ、外蒙古ニ對シテ當局ノ見テ居リマス所ハ、先キ申上ゲマシタヤウナ程度デアリマス、從テ前提ガ……問題ニ對スル前提ガ異ナツテ居リマス、即チ當局ト致シマシテハ、國防上特別ノ施設ヲ要スルガ如キ不安ヲ感ジテ居ラヌト申上ゲル外ハアリマセス

〔國務大臣安達謙藏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(安達謙藏君) 阪谷男爵ノ航空路ニ關シマスル御質問ハ、誠ニ御尤モナコトデゴザイマシテ、私モ全然男爵ノ御質問ノ御趣旨ニ同感デゴザイマス、實ハ遞信省ト致シマシテハ、大正十三年度ノ豫算ニ、最初此航空路ニ關スル概算書ヲ拵ヘテ、大藏省ニ提出イタシマシタ、時ノ大臣ハサウ云フ計畫ヲ立テラレタサウデゴザイマス、ソレガ地震火災ノ爲ニ中止セラレタ、其次ニ犬養遞信大臣ガ大正十四年度ノ豫算編成ニ當リマシテ、更ニ此計畫ヲ立テラレマシテ出サレマシタケレドモガ、又財政緊縮ノ爲ニ容レラレナカッタト云フコトニナツテ居リマス、而シテ大正十五年度ノ豫算編成ニ當リマシテハ、私ガ當局者トシテ、相變ラズ航空路ノ設置、及民間ニ航空會社ヲ設立セシメマシテ之ニ相當ノ補助ヲ與ヘル計畫ヲ立テマシタ、航空路ノ方ハ從來ハ、日本内地ハ大阪カラ朝鮮ヲ經マシテ大連ニ至ル一線路デアリマシタガ、此度ノ案デハ、其線路ニ更ニ加ヘマシテ、私ハ上海方面ヲ必要ト認メマシタカラ、上海ノ航路モ加ヘマシテ、二大幹線ヲ拵ヘタイト、斯ウ云フ希望デ案ヲ立テマシタ、ケレドモガ遺憾ナガラ財政ノ都合上、之ヲ將來ニ延期スルコトニナツテ居リマス、政府ト致シマシテ、決シテ此航空事業ノコトニ反對デモ何デモナイ、大體必要ト認メテ居リマシテ、唯、財政上今日已ムヲ得ズ、之ヲ見合スルニ至ツタ次第デゴザイマス、ソレデ唯今男爵ノ御質問ニナリマシタ通り、之ヲ追加豫算トシテ出スト云フコトハ、性質上面白クナイト考ヘマス、私ハ次年度ニ於キマシテハ、必ズ此問題ハ實現セラルル、目的ハ達セラレルモノト確信イタシテ居ルノデゴザイマス、男爵ノ熱心ナル御尋ニ對シマシテ、不圖思ヒ付キマシタカラ一言申添ヘテ置キマスガ、ソレハ加藤……先ノ總理ノ航空問題ニ對スル答辯デゴザイマシタ、衆議院ニ於キマシテ、長岡將軍ノ質問ニ

對シマシテ答辯セラレマシタ、當時ハ四十度近イ熱ノアルノニ、ソレヲ推シテ演壇ニ立タレマシテ、簡單ナ答辯ガアッタノデアリマス、聲ガ低クテ聴取レマセナカッタノデアリマスガ、アトデ速記録ヲ讀ンデ見マスト、矢張り將來財政ノ都合ニ依ツテ、成ルベク速ニ其事業ヲ達成スルコトニ……完成スルコトニ努メタイト云フヤウナコトヲ言ハレテアリマシテ、恰モ遺言ヲシテ伯爵ハ亡クナラレタヤウニ、私ハ一種ノ無量ノ感ニ打タレテ居リマス、此事ハ不圖思ヒ出シマシタカラ、一言申添ヘテ置キマス、ソレカラ此民間ノ航空事業ノ事ニ付キマシテハ、衆議院ニ於ケル豫算問題ナドガ一段落附キマシタナレバ、帝國飛行協會ノ幹部ノ御方……初メ、此問題ニ最モ熱心ナル御方……ト共ニ御協議ヲシテ見タイト、斯ウ云フ希望ヲ有シテ居リマスカラ、是モ併セテ御參考ニ申シテ置キマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 郡役所經費ノコトニ付テ御質問デアリマシタニ付テハ、此機會ニ郡役所廢止ニ關シマシテ一言イタシテ置キタイノデアリマス、郡制ガ廢止ニナリマシタ後ニ於ケル郡役所ノ仕事ハ、大體申上ゲルト、學事、兵事、勸業、大體ノ仕事ハ是デアリマス、之ニ加ヘテ町村ノ監督ヲスルト云フコトダケノ事務ハ、今日郡役所デ取扱ウテ居ル所ノモノデアリマス、而シテ今日ハ當初郡役所ヲ置カレマシタ時トハ違ヒマシテ、交通ノ關係モ至極便利ニナツテ居ッテ、是等ノ事務ヲ取扱ヒマスノニ、必シモ郡役所ヲ置キマセヌデモ、縣廳ニ於テ相當ノ増員ヲシテ、之ニ依ツテ取扱ヲサセマス、學事、兵事、勸業、殊ニ勸業ノ如キハ、郡々デ別ノ方針マデ立テルト云フコトニハ及バス事柄デアリマス、縣廳ニ居ッテ全縣ヲ通ジテ、勸業ノ事柄ヲ考ヘテ行クト云フコトデ、十分デアラウト思ハレマス、學校ノ視察、監督或ハ徴兵ノ事務、是等モ縣廳ニ於テ相當ノ吏員ヲ置キマスレバ、用ガ辨ズル、町村ノ監督ニ致シマシテモ、今日ハ府縣ニ高等官ヲ、全國均ラシテ約六人位ナ平均ノ所デ、府縣廳ニ高等官ノ事務官ヲ増員スル等デアリマスカラ、ソレ等ノ人ガ大體擔當區域ヲ分ッテ、町村ノ監督ヲスルト云フコトニ致シマスレバ、郡長ガ今日町村ノ監督ヲシテ居ルコトト、其監督ノ程度ハ大シテ緩メルコトナクシテ、監督ガ行ハレ得ル、左様致シマスルト、宛ニ角郡役所ト云フ一段ノ階段ヲ除クコトニナリマスカラ、人民カラ色々願出、届出ヲスルト云フ場合ニ、郡役所ニモ手數ヲセヌケレバナラス、更ニ進ンデ縣廳ニモ參ラヌケレバナラス、

事柄ニ依ッテハ更ニ進ンデ中央政府ニマデ行カナケレバナラヌト云フノガ、
郡役所ト云フ一段ガ除カレマス、手數モ大ニ省ケルヤウニナリ、便利モ増
加セラレ、事務ノ簡捷ニモ資セラレ、斯ウ云フコトニナル、國費ニ於テハ
今日マデ百五十万圓程使ッテ居ルモノガ百万圓位デ濟ムコトニナリマスカラ、
三分ノ一ノ國費ノ節約ヲスルコトガ出來ル、地方費ニ付キマシテモ、縣廳ニ
判任官雇員等ヲ増加イタシマスガ爲ニ、若干ノ人ヲ置カナケレバナリマセ
ガ、今日ハ郡役所アルガ爲ニ、地方費ヲ約千万圓程使ッテ居ルノデアリマス、
之ヲ約半減、五百萬圓程ノモノヲ以テ、縣廳ニ吏員ヲ増員スルコト云フコトニ
致セバ、ソレト其増加イタシマスル高等官ト合セテ、唯今申上グル兵事、學
事、勸業ノ事ヲ辨ジテ、而シテ尙ホ町村ノ監督ニ當テ、足リル次第デアリマ
カラ、サウナリマスルト、府縣費用ニ於テ約半額五百萬圓ノ節約ヲスルコト
ガ出來ル、金額ヲ減ズルノガ目的デアリマセ、大體ハ人民ノ便利ヲ増加
シテ、官廳ノ事務ノ簡捷ヲ圖ルト云フコトデアリマスガ、同時ニ國費ニ於テ
五十萬圓即チ現在使ッテ居ルモノノ約三分ノ一、地方費ニ於テ五十萬圓即チ現
在使ッテ居ルモノノ約半額ヲ節約スルコトガ出來ル、斯ウ云フ關係ニナリマス
ノデ、今回ハ郡役所ヲ廢止スルコト云フコトニ致シタイト思ッテ居ルノデアリマ
ス、阪谷男爵ノ御質問ニナリマスノハ、其計畫ヲ實行スルガ爲ニ、今回政府
ハ茲ニ八十萬圓ト云フ經費ノ増加ヲ一方ニハ求メテ居ル、サウシテ一方ニ
ハ郡役所ノ費用ノ爲ニ百十萬幾ラト云フモノヲ減ジテ居ル、差引デ四十五萬
圓ノ減少ニナッテ居ルノデアリガ、茲ニ八十萬圓ヲ要求シテ居ル金額ナル
モノハ、既定ノ歳出デアルカ、新ニ要求シタ金額デアルカ、ト云フ御質問デ
アルノデアリマス、是ハ現在既ニ國費ヲ百五十萬バカリ使ッテ居ルノデアリマ
スカラ、其中ヲ百万圓程使ハムトスルナラバ、既定ノ歳出約百万圓ヲ殘シテ
置イテ、アトノ五十萬圓ハ減ズルト云フ要求ニシテモ、差支ナカッタノデアリ
マス、併シ政府ハ事柄ヲ明瞭ニ致シマスガ爲ニ、郡役所ノ費用ハ準備期間三
箇月ノ費用ヲ取ッテ、アト九箇月ハ全部之ヲ止メルト云フコトニ致シテ、縣廳
ニ高等官ヲ置キマス事ニ付テノ費用八十萬圓ト云フモノハ、新ニ増加シテ
求メル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマシテ、所謂既定ノ歳出ノ利益ヲ棄
テテ、新ニ八十萬圓ノ増加ノ御協賛ヲ願フ、斯ウ云フコトニシテ居ル積リ
デアリマス、ソレ故ニ八十萬圓ニ付キマシテハ、既定ノ歳出デアリマセ
ヌデ、新ニ議會ノ御協賛ヲ仰グコトニ相成ル次第デアリマス

○男爵阪谷芳郎君 詳シクハ豫算委員會ニ讓リマス

〔金杉英五郎君演壇ニ登ル〕

○金杉英五郎君 私人質問イタシマスル事柄ハ、内務大臣ト外務大臣デアリ
マスルガ 外務大臣ハ午前中ニハ都合ガ惡クテ御出席ガナイト云フコトデア
リマスルカラシテ、午前ハ内務大臣ダケニ御質問ヲ申上ゲマスル次第デア
マス、其内務大臣ニ御伺ヒシタイ事柄ハ、内務大臣ハ我國ノ衛生行政中樞機
關ヲ大ニ擴大セラルル御意思ハナキカト云フ事柄デアリマス、世ノ中ニハ、
眼前ニ現ハレテ居ル事柄デアリ、而モソレガ緊要デアル事柄アルニモ拘ラ
ズ、案外ニ注意ヲ喚起セザル事柄ガ多クアリマス、我國ノ議會政治ノ如キ
モ亦、其一ツデアルト考ヘマス、我々ノ承知イタシテ居リマスル所ニ依リマ
スレバ、議會政治ナルモノハ、第一ニハ國家ノ隆昌ヲ企圖スル爲ニ善政良策
ヲ施行スルコト云フコト、第二ニハ國民ノ負擔ヲ輕減シテ其福利ヲ増進セシ
ムルト云フコトニアルト考ヘテ居リマス、是ハ何レノ國ノ人民ニ於キマシテモ
齊シク考ヘテ居リマス所ノ、議會政治運用ノ定義デアルコトハ、間違ヒナイ
コトデアルト、私ハ信ジテ居ル、然ルニ明治二十三年議會政治成立以來茲ニ
三十七年、回ヲ重スルコト五十一、此間ニ於キマシテ、何レノ政府ニ於テモ、
何レノ議會ニ於キマシテモ、悉ク増稅若クハ新稅ノ發見ニ汲々タルノ感ガア
リマス、又一方ニハ左程善政良策ヲ案出サレタル時代ハ無カッタヤウニ考ヘマ
ス、是我々ノ深ク奇怪ニ感ズル所デアリマシテ、此誤レル考ノ結果ハ、年々
歳々増稅又新稅デアリマシテ、第一議會ノ歳出豫算ト今日ノ歳出豫算ト比較
イタシマスレバ、正ニ二十倍、之ヲ議會政治成立以前ニ比較イタシマスレバ、
正ニ三四十倍ニ達シテ居リマス、是ハ時勢ノ變遷 國力ノ發展膨大、物價ノ騰
貴等、已ムヲ得ザル勢デアリマセウケレドモ、如何ニモ其歳出豫算ナルモノ
ノ膨大イタシマシタルニハ、驚カザルヲ得ザル次第デアリマス、勿論此間ニ
於キマシテハ、爲政家ニ於テモ、又立法府ニ於テモ、減稅若クハ廢稅等ノコ
トヲ唱ヘタ人モアリマシタケレドモ、是ハ九牛ノ一毛デアリマシテ、果シテ
國民ヲシテ満足セシメタルモノデアルカ、ナイカト云フコトハ、深ク疑ハザ
ルヲ得ザル次第デアリマス、特ニ我々ノ奇怪ニ感ジマスル事柄ハ、斯ノ如ク
歳出豫算ノ漸次増大イタスニモ拘ラズ、國家存立ノ根本義トモ申スベキ衛生
保健ノコトニ付キマシテハ、歷代ノ爲政家並ニ立法府ノ人々ガ、案外冷淡ナ
ルニ驚クノデアリマス、其結果ト致シマシテハ、我國ハ今ヤ急性傳染病ニ付キ

マシテモ、結核ニ付キマシテモ、花柳病ニ付キマシテモ、世界第一ノ繁昌國ト相成ッテ居ル次第デアリマス、之ヲ明治二十年時代、或ハ明治三十年時代ニ比較イタシマスレバ、二倍三倍、甚シキハ四五倍ニモ増大シテ居ルデアリマス、此勢ヲ以テ進ンデ行ッタナレバ、極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、國家ノ滅亡近キニアリト言ッテ差支ナイと思フデアリマス、傳染病ト、ソレカラ慢性病ニ付テ申シマスレバ、結核ト梅毒、淋病等ノ爲ニ國ヲ埋メラレテ居ッテ、是デ國民ガ安全ニ國家ヲ保持シテ行ケルカト云フコトハ、誰ガ見テモ疑ハナケレバナラス所デアリマス、其統計數字ナドヲ御話シ申シマシタナレバ、諸君ハ定メシ御驚嘆ナサルコトデアラウシ、又一方ニハ國家ノ恥辱ト感ジマスルノデ、此席ニ於キマシテ其統計ヲ申述ベルコトダケハ、差控ヘテ置キマス、一方ニハ、之ガ原因ヲ爲ス所ノ大ナル因デアル所ノ、醜業婦トモ稱スベキ商賣ノ者ガ、免許ヲ得テ居ル者ガ十七万人アリマス、免許ヲ得ザル者ハ是ノ三倍デアルト承ッテ居ル、五六十万人ノ或ル一種ノ病原ヲ養成スル場所ガアルト、斯ウ見ナケレバナラス、斯様ナコトヲ、今日何等ノ取締モナク放棄シテ置クト云フコトハ、爲政家ト致シマシテモ、立法院ノ人ト致シマシテモ、國民ニ對シテ餘リニ無責任デハナイカト、我々ハ深く嘆息スル者デアリマス、殊ニ我々ハ特ニ嘆息イタシマスルノハ、我國ニ於ケル癩病ノ一部分ヲ、外國ノ篤志ナル婦人ニ依ッテ世話ラシテ居ッテ貰フコトデアリマス、是ハ篤志關係ニ依ッテ世話ヲスルノデアルカラ、別段差支ナイヤウナモノデアリマスルケレドモ、内外ノ識者ハ之ヲ何ト見ルカ、之ヲ私ハ甚ダ痛嘆スルノデアリマス、是等ガ既ニ、我が國ノ爲政家竝ニ立法院ノ人々ガ、衛生保健ト云フコトニ何等ノ觀念ナキ一ツノ證據デアリマス、「ルーズヴェルト」ハ今ヨリ二十有餘年……三十年程前デモアリマシタラウ、其大統領タリシ時ニ、「ホワイトハウス」ニ於テ米國ヲ隆興サセル元デアッタトモ申スベキ一ツノ演說ヲナシマシタ、ソレハ天與ノ富源保存ト云フ問題デアリマス、其一節ヲ申シマスレバ、「吾人ノ記憶スベキハ他ナシ、我國天與ノ富源保存ノコトハ現今國家重要ノ問題ナリト雖モ、此問題ハ是ヨリモ一層重大ナル問題ノ一小部分ニ過ギザル事ナリ、而シテ此重大ナル問題ハ今日我國民ノ未ダ覺知セザルモノナルモ、早晚必ズ覺知スベキハ勿論、苟も國民トシテ存続セムト欲セバ、今後必ズ此問題ヲ熱心ニ研究セザルベカラズ、問題トハ何ゾ、曰ク國民の元氣消長問題はナリ」云々ト云フノデアリマス、是ハ亞米利加ノ「フィッシャー」ト云フ人ノ書イタル本デアリマシテ、

ソレハ我々ノ同僚内田嘉吉君ガ先年翻譯シテ出サレタコトガアリマス、其冒頭ニ之ヲ表ハシテ居ルノデアリマス、其國民の元氣消長問題ノ中ニハ、勿論各種ノ事項ヲ含有シテ居リマスルケレドモ、要ハ國民ノ保健衛生問題ニ全力ヲ注グベキコトヲ訓示シタノデアリマス、果セルカナ亞米利加ハ、其以前ニ於キマシテハ國民ノ衛生保健ニ關スル考ガ甚ダ薄ク、從テ不健康地ト稱サレテ居ッタ國デアリマス、肺病モ多ケリヤ、傳染病モ多ク、花柳病ナドモ非常ニ多イ國デアリマシタ、然ルニ「ルーズヴェルト」一たび大聲疾呼シテ以來、俄ニ衛生施設ニ全力ヲ注グコトニ相成リマシテ、古今未曾有ノ好成绩ヲ現ハシタノデアリマス、其好成绩ノコトハ、金ニ付テ申上ゲマスルコトハ、諸君ノ最モ御了解ニナルコトと思ヒマスルカラシテ、金ニ付テ申上ゲマスルガ、其以前ニ於キマシテ、亞米利加ニ於テ一箇年ニ肺病患者自身ノ爲ニ損失シタル高ガ、六億六千万弗デアリマス、而シテ肺病患者ノアリマシタル爲ニ、其周圍ノ者、言換ヘテ見マスレバ、ソレニ關聯イタシマシタル社會ノ損失高ハ、四億四千万弗デアリマス、之ヲ合算イタシマスルト、十一億弗ニ相成リマスル、即チ二十二億圓、我國ノ歲出豫算ノ殆ド倍程モアリマス、又「チブス」ニ於キマシテ「チブス」患者ノアリマスル爲ニ起ッタ損害ガ、三億五千万弗、「マラリヤ」ノ爲ニ起リマシタル損害ガ一億弗、其他ノ疾病ノ爲ニ蒙リマシタル損失高ガ、一億五千万弗、總計殆ド十六億弗ノ損失デアッタノデアリマス、斯ノ如ク著シク多額ノ損失ヲ亞米利加ハ蒙ッテ居ッタノデアリマスルガ、三十年ヲ出デザル今日ニ於キマシテ、北米ノ衛生保健狀態ハ全ク面目ヲ一新イタシマシテ、今ヤ肺病、「マラリヤ」、急性傳染諸病ハ著シク減少シマシテ、此頃ノ統計ニ依リマスルト、「ルーズヴェルト」ノ演說以前ニ比較イタシマスルト、約十分ノ三ニナッテ居リマス、從テ之ニ對スル損失高モ十六億弗ヨリ四億八千万弗ニ減ジタ譯デアリマス、北米合衆國ハ其差額ダケデモ、一年ニ約十一億二千万弗ノ國富ヲ増進シタコトニナッテ居リマス、ソレダケノ國富ガ増加シタ譯ニナルノデアリマス、加之、北米合衆國ハ、此衛生保健施設ヲ完成シタル後ニ、國民ノ元氣ト思想ガ一變イタシ、又著シク強壯トナリマシタルコトハ、統計ニ依リマシテモ、彼等ノ傳フル所ニ依リマシテモ、我々ノ目撃シタ所ニ依リマシテモ、明瞭ナル事實デアリマス、是ハ衛生保健ヲ施設シタ爲ニ得タル所ノ良成績ト致シマシテハ、有史以來未曾有ノ事柄デアリマス、實ニ我々ハ羨望ノ至リニ堪ヘズト、常ニ思ッテ居ル次第デアリマス、私ハ此事ニ付キマシテ永ク憂慮

イタシ、三十九議會以來、衆議院ニ於テハ之ヲ建議イタシ、又當院ニ於キマシテモ、進言イタシマシタル次第デアリマスルガ、當局者ハ其度ニ御同感デアルト云フ御話デアリマシタ、唯、御同感御同感デ、何等實現シタ狀態ヲ見ナイノデアリマス、ソレ故ニ私ハ常ニ申シマス、國務大臣ノ御同感ト云フモノハ、一ツノ慰安法デアアル、斯ウ云フコトヲ申シテ居ッタノデアリマス、併ナガラ今同ハ、新進氣鋭ノ聰明ナル方ヲ以テ組織セラレタル内閣デアリマスルカラシテ、是等ノ事ハ多ク申上ゲマセズデモ、必ズ御了解ニナルコトト存ジマスル、特ニ過日、税制案ノ時ニ御伺ヒ致シマシタル際ニ、内務大臣ハ衛生施設等ニ付テモ著々進行スル意思デアルトノコトヲ御答ヘニナリマシタノデ、同感ト云フヨリハ一步進ンタルモノトシテ、深ク樂ミニ致シテ居リマスル次第デアリマス、尙ホ一言申上ゲテ置キタイコトハ、今ヤ國民ノ思想ガ漸次惡化スルト云フコトヲ、朝野共ニ大分心配シテ居リマスルケレドモ、其根源ヲ考ヘズシテ、現レタル事柄ノミニ依ッテ之ヲ防止シ、之ヲ憂慮スルト云フコトハ、如何ニモ淺見ナルコトデアルト私ハ思ヒマス、思想ノ變化ハ多クハ病ヨリ參リマスル、特ニ花柳病ヨリ參リマス、今日陸軍ノ壯丁ニ付テ調べテモ、百人ノ中ニ二十人ハ、花柳病ノアル爲ニ兵役ニ就クコトガ出來ナイヤウナ狀態デアリマスカラ、天下ノ花柳病者決シテ少カラザルモノデアルト推察シナケレバナリマセス、如何ニ病氣ガ思想ノ變化ヲ起スカト云フコトハ、古今東西ノ歴史ニ徴シテモ、明カナコトデアリマシテ、大逆非道ノ事ヲナス者、或ハ道義ニ缺ケタル事ヲナス者ノ大部分ハ、疾病ガアリマス、近ク申上ゲマスレバ大隈侯ガ外務大臣デアリマシタ時代ニ、爆彈ヲ投ジマシタル來島某ハ、肺ニ故障ノアッタ人ダサウデアリマス、又我國維新ノ功勞者中ノ功勞者タル大久保公ヲ斃シマシタル島田某ハ、或ル種ノ病ガアッタサウデアリマス、特ニ私ノ平素此關係ニ付テ痛嘆措カザルハ、江藤新平卿ノコトデアリマシタ、此方ハ申迄モナク維新ノ功勞者デアリ、而モ佐賀ニ於テハ第一人者デアルト稱セラレタル忠良ナル人デアリマシタ、ソレガ御承知ノ如ク明治七年二月ニ大逆非道ノコトヲオツ始メマシタ、醫師トシテ人ノ病ヲ發表スルコトハ避ケマスルガ、江藤新平卿モ矢張り一種ノ病ニ罹ッテ居ル、明治五六年頃ニ或ル一種ノ病ニ罹ッテ居ッタノデアリマス、此手紙ハ、江藤新平卿ヨリ、時ノ大議生デアッタ、是モ長老ノ方々ハ御承知ノ、土佐ノ有名ナル勤王家大橋慎三ト云フ人ガアリマス、維新後大議生ヨリ元老院議官マデニ上ラレタ方デアリマス、其

方ノ大議生時代ニ送ラレタ手紙デアリマス、其中ニ、自分病ンデ歩行モ出來ナイヤウナ狀態デアアル、役所ノ事ハ宜シク頼ムト云フ、其病ノコトハ申上ゲマセス、之ニ精シク書イテアリマス、長老ノ方々ハ參考ニ御覽ニナリタイ方ガアリマシタラ、竊ニ御目ニ掛ケマス、其頃ハ如何ニモ露骨ナモノデアリマス、殘ラズ其事ガ御自分デ書カレテ居ル、若シ此人ニシテ此病ガ無カッタレバ、アンナ大逆非道ナコトハシナカッタト、私ハ初終痛嘆シテ居ルノデアアル、此頃民衆ノ思想ガ惡化スルト云フヤウナ心配ノ大部分ハ、恐ラクハ何カ病ガアリハセヌカト私ハ考ヘル、此意味カラ申シマシテモ、今日衛生保健ノコトニ十分力ヲ御盡シニナルコトハ、内務大臣トシテ當然ノ責務デハナイカト私ハ考ヘルノデアアル、之ニ付テ内務大臣ハ如何ナル御高見ヲ有セラルルヤ否ヤト云フコトヲ御尋ネ申ス次第デアリマス、序デニ一言申上ゲ置キマスルコトハ、過日賣藥稅廢止問題ノ時ニ私ノ申上ゲマシタル衛生局ノ調査ト云ウタルコトハ、衛生局ガ斯ノ如キ事マデ詳細ニ御調べニナルカト思ウテ甚ダ感心イタシマシタ、所ガ衛生局長ノ話デハ、ドウモ衛生局カラ話シタ覺エハナイト云フコトデアリマシタ、ソレ故ニ尙ヨク取調べマシタ所ガ、國民保健協會ノ調査デアリマシタノデアリマス、ソレヲ何カ、私ハ衛生局ニハ非常ニ都合ガ宜イト思ッテ居リマシタガ、都合ノ惡イコトデモアルト見エマシテ、頻リニサウデナイト云フコトヲ申シマスカラ、茲デ訂正シテ置キマス、モウ一ツ大正十二年頃ニ、時ノ内務大臣ガ地方長官ニ命ジテ調べサシタル醫師ノ普及セザル所ノ村落云々ノ質問ハ、是ハ時ノ内務大臣タル此處ニ御出デニナル水野鍊太郎君ノ發議ニ依ッテ起リマシタコトデアリマシタ、是ハ一昨日現ニ御當人カラ聽キマシタカラ、最モ間違ヒナイコトト思ヒマス、ソレハ二千四百村落デアリマシタガ、而シテ人間ノ數ハ六百万人ト云フノデアリマシタケレドモ、私ハソレヲ、四里若クハ二里以内ニ醫者ノアリマスル者ハ、ソレハ數ヘ入レズニ、此間申上ゲタヤウニ數ヲ減ジテ申上ゲタノデアリマス、此二點ダケヲチヨット訂正イタシテ置キマスル次第デアリマス、尙ホ此際申上ゲマスルコトハ、昨日同僚石渡君ガ座席ヲニッテ御答ヲ受ケタル問題デアリマス、成程……

○議長(公爵徳川家達君) 金杉君、其問題ハ他日ニ願ヒタイト思ヒマス、質問トハ認メマセス

○金杉英五郎君 左様デスカ、ソレデハ議長ヨリ御答メガアリマシタカラ、此コトハ是ニテ差控ヘマシテ、此コトニ付テ前ニ書記官、書記官長ナドニ私

ヨリ建議イタシテ置キマシタコトガアリマシタカラ、唯ソレヲ御採用ニナラヌカト云フコトダケ茲デ申サウト思フタノデアリマスガ、是デ差控ヘマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 金杉君ガ我國ノ衛生狀態ヲ御憂慮ニナツテ御述ベニナリマシタ事柄ニ付テハ、此事實ノ全體ヲ承認イタスト申上ゲルノデアリマセヌケレドモ、其御精神ニ向ッテハ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、如何様我國ノ衛生狀態ハ、金杉君ノ述ベラルル如ク完全デナイコトハ、固ヨリデアリマス、併シ唯今御述ベニナル如ク、非常ニ前途ヲ御悲觀ナサル程デモナイカモ知ラスト思フノデアリマス、昨年國際聯盟ノ催シニ依リマシテ、日本ニ於テ萬國衛生技術官ノ意見交換會ト云フモノヲ致シタノデアリマスガ、之ニ出席シタ人ノ觀察ナドデハ、サウ金杉君ノ御觀察程ニ迄日本ノ衛生狀態ヲ惡ク見テ居ナイノデアリマス、固ヨリ僅カノ期間ノコトデモアリマスシ、又十分ナル觀察モ行届カナカッタデアリマセウカラ、其觀察ニ依ッテノ我國ノ衛生狀態ノ如何ヲ察スルコトハ出來マスマイケレドモ、併シソレ等ノ人ノ見ル所ニ依レバ、可ナリニ衛生狀態ハ進ンデ居ルト觀察シタヤウニ思フノデアリマス、併シ大體ニ於テ今日ノ狀況ガ満足スベキモノデナイト云フ事柄ハ、私モ金杉君ト其感ヲ同ジクシテ居ルモノデアリマス、ソレ故ニ保健衛生ノ狀態ノ改善ニ、モット、努メナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ私モ左様ニ考ヘルノデアリマス、唯疾病ヲ除ク、或ハ疾病ノ生ゼヌヤウニ致シマスガ爲ニハ、直接疾病ニ關係シタコトノミナラズ、或ハ住居問題等カラモ關聯シテ、種々ナル施設ヲセヌケレバナラヌカモ知レマセヌ、ソレ故ニ國民ノ衛生狀態ヲ改善シテ、其元氣ヲ増進シテ國力ノ充實ヲ努メマスルコトニ向ッテハ、私ハ金杉君ト同ジク、共ニ之ヲ努メヌケレバナラヌト思ヒマス、今日思フヤウニ行ッテ居リマセヌコトハ、是ハ先程航空ノコトニ付テモ、遞信大臣カラ御答ヘ致シマシタ通りニ、一方ニハ財政等ノ關係ガアリマシテ、固ヨリ衛生保健ノコトハ大切デアリマス、ソレナラバト云ッテ、國家ノ施設ニ金錢ノ支出ヲ伴ハナイモノハ無イノデアリマス故ニ、其方ノ關係カラ思フヤウニ參ラヌト云フ事實モアリマス、ソレ故ニ財政ノ許ス限リニ於テ、金杉君ガ政府ノ注意ヲ喚起セラレタル點ニ向ッテハ、私共モ十分ニ注意ヲ加ヘマシテ、出來得ルダケ之ガ改善ニ努力イタシタイト思フテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタ

シマス

午前十一時五十六分休憩

午後一時四十五分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、服部一三君ノ發言ヲ許シマス

〔服部一三君演壇ニ登ル〕

○服部一三君 諸君御承知ノ通りニ、近來共產主義者、又之ニ類似シテ居リマス所ノ過激思想ヲ持ッテ居リマスル所ノ主義者ガ、亞細亞洲全般ニ互ッテ、非常ナル長足ヲ以テ増加シテ居リマス、中央亞細亞、又小亞細亞等ニ於キマシテハ、唯人員ガ増シタノミナラズ、政治上ニ於テ影響ヲ及ボシタコトハ多大モノデアリマス、ソレデ本員ハ、支那ニ於テ此共產主義者ノ運動ノ爲ニ、我國ガ損害ヲ受ケテ居ルコトハ多大ノモノデアルト思フテ居リマスル故ニ、之ニ付テ質問ヲ致サウト思フテ居リマシタガ、是ハ私ハ他日ニ譲リ、即チ豫算委員總會ニ譲リマシテ、今日ノ質問ハ單ニ一二ノ、最モ私ハ大事ナコトト思フコトニ付テ、質問ヲ致シタイノデアリマス、幸ヒ總理大臣兼内務大臣モ御出席ニナツテ居ルシ、外務大臣總理大臣ニ於テ十分明瞭ナル御答ヘヲ願ヒマス、過日來外務大臣ハ本會議場ニ於テ、露西亞ノ赤化運動ナドノコトニ付テノ問題ガ起ル度ニ、露西亞トハ既ニ條約ヲ結ンデ居ルデハナイカ、其條約ノ中ニハ互ニ内治ノコトニハ干涉シナイ、又己レノ主義ヲ他ニ宣傳スルヤウナコトハシナイト規定シテアル故ニ、之ガ爲ニ色々心配スルノハ無用ノコトデアル、元來露西亞ヲ見ルノニ、邪推、邪測、色々ノ僻目ヲ以テ彼ノ舉動ヲ色々批評スルト云フコトハ宜クナイノデアル、誠心誠意御互ニ親善ノ實ヲ舉ゲナケレバイカヌト云フコトヲ、屢御述ベニナリマシタ、若モ是ガ實際ノコトデアラナラバ、私モ誠ニ結構ナコトト思フテ、之ニ賛成イタシマスガ、如何セン事實ハ矢張りソレニ相違シテ居ルノデアル、ソレデ此一事ニ付テ御伺ヒテ致シタイノデアリマスガ、大臣ハ能ク御承知モアル通りニ、昨年十月カ十一月デアリマシタ、東京デ發行シテ居ル英字新聞「ジャパンタイムス」、是ハ世ノ中ノ人ハ多少外務省トモ關係ガアルヤウニ言ウテ居ル新聞デゴザイマス、其事實ハ知リマセヌ、其新聞ガ日露號ト云フモノヲ發刊シタノデアリマス、サウシテ其中ニハ露國ノ現在重要ナル位置ニ居ル、日本デ云ヘバ即チ

大臣ノ位置ニ居ルヤウナ人モ、幾人モ意見ヲ發表シテ居リマスル、又駐日露國大使「コッブ」氏モ意見ヲ發表シテ居ラレル、又幣原外務大臣モ意見ヲ發表シテ居ラレマスル、而モ外務大臣ハ、御丁寧ニモ外務大臣幣原男爵ト云フコトヲ「サイン」シテ、御發表ニナツテ居リマスル、其露國大使ノ宣言文ノ末文ニ於テ、斯ウ云フコトガ言ウテアリマス、ソレヲ意譯イタシマス、「生活狀態ノ改善ノ爲ニ、又獨立發展ヲ爲スノ權利ヲ得ムガ爲ニ、多大ノ犠牲ヲ拂ヒタル露國ノ人民ハ」……是カラ先ハドウゾ注意ヲシテ御聴キヲ願ヒマス「日本人ニ向ッテ已レ等ト同様ナル希望ヲ實現ヲナサシムル爲ニ、同情ヲ表シ、且ツ出來ル限り之ニ援助ヲ與ヘムコトヲ欲ス」ト云フコトガアル、是ハドウ云フ意味デアルカ、之ヲ平口ニ申セバ、多大ノ犠牲ヲ拂ウテ革命ノ實ヲ擧ゲタ所ノ露國人ハ、日本人ガ已レ等ト同様ナル革命ノ實ヲ擧グルヤウニ、出來ルダケ援助ヲ與ヘルト云フコトデアル、私ハ之ヲ讀ンデ、私ハ外國語ニハ左程明ルクナイカラ、何カ意味ノ間違デハアルマイカト思ッテ、幾度モ讀返シテモ、サウ云フ大體ノ意味ニ外ナラナイノデアル、斯ウ云フコトガ露國ノ大使ニ依ッテ宣言セラレルト云フコトガ、矢張り外務大臣ノ御考デハ、兩國ノ間ニ結バレタル所ノ條約ヲ眞實ニ守ツテ居ルモノト御思ヒデアリマセウカ、私共ノ頭ニハ、實ニ我國ヲ侮辱シタルモノデアル、我國ノ動亂ヲ煽動スルモノデアルト云フヤウナ意味ノ外ハ、ドウ思ッテモ取レナイ、併シ由來外交官ハ、總デノ言葉ヲ巧ミニ己レノ都合ガ宜イヤウニ解釋サレルト云フコトハ、屢有ルモノデアリマスカラ、或ハ私共ガ是ガ黒イト見タノヲ、白イト御解釋ヲナサルカモ知レナイガ、若モソレガ爲サレ得ルモノナラバ、誠ニ私ハ幸福ニ思フ、玆ニ原文ガアリマスカラ、原文ヲ御渡シシマス、實ハ私ハ外國使臣ノ言ハレタヤウナ事ヲ、此議場デスッバ抜クノハドウデアラウカト云フ考ヲ以テ、一時ハ躊躇シタノデアリマス、併ナガラ尙ホ考ヘルト、斯ノ如キ、私カラ考ヘレバ無禮ナル言葉ヲ、假令外國ノ使臣ノ位置ニ居ラレル人デモ、述ベラレルト云フコトハ、我が國民ノ中ニハ、私ノ如ク非常ナル憤慨ノ心ヲ以テ之ヲ見テ居ルト云フコトヲ、十分彼等ニ知ラシメタイノデアル、ソレデ之ニ付テ外務大臣ノ御解釋ヲ願ヒ、更ニ總理大臣兼内務大臣ハ玆ニ御出デニナツタと思ヒマシタガ、モウ御出デニナリマセヌガ、是ハ御傳言ヲ願ヒマス、外務大臣ハ斯ウ云フコトヲ外國使臣ガ公然ト新聞ニ出シテモ、公安ハ害セナイト見ラレルノデアルカ、私ハ確カニ是ハ公安ヲ害スルモノト思フノデアアル、又外務大臣

ノ宣言書ノ中ニハ、是ハ誠ニ名文ヲ以テ、英語ノ名文ヲ以テ御綴リニナツテ居ルカラ、私共ハチヨット了解ニ苦シムノデアリマスガデヤ、之ヲ意譯スレバ斯ンチニナル「日露兩國國民ハ共同シテ爲スベキ利害關係ヲ有ス」言葉ハイカンデスガ、其下ハ「互ニ反目シテハナラナイ」而シテ「オールメンカイインド」世界人類一般ノ安全ト幸福トハ、此兩國ノ利害關係ノ中ニ含マレテ居ル「大變大キイコトデアアルカラ、チヨット分リマセヌガデヤ、露國ト日本トガ共同シテヤル利害關係ニハ、世界人類ノ一般ノ幸福ト安全ガ含マレテ居ルト云フコトハ、何ト云フコトデアラウカ、或ハ是ハ曲解カモ知ラナイガ、世界人類ナドトアルカラ、露國ノ共產黨ガ世界革命ヲ企テテ居ル、サウトスレバ、ソレト共同シテヤルト云フト、世界一般ノ人ヘ以テ行ッテ、幸福ヤナドヲ與ヘルト云フコトニナル意味デアル、然ラザレバ是ハ何チウ事ヤラ私ニハ分ラナイガ、前ノ大使ノ宣言文ト此大臣ノ宣言文ヲ併セ讀ムト、我々ハ非常ナル感ヲ起スノデアリマス、或ハ私ハ唯今言ウタコトハ曲解カモ知レナイカラ、ドウゾ曲解デアラナラバ、其コトヲ明カニ御示シニナルコトヲ希望スル、私ハ好ンデ、コンナコトヲ言ヒタイトハ夢ニモ思ハナイケレドモ、斯ウ云フコトガ世界ニ發表サレタナラバ、定メテ露國ノ人ハ喜ンダコトデアラウト思ヒマスルガ、我が國民デ斯ウ云フコトハ、是ハ英文デ出サレタカラ、多クノ人ガ知ラナカッタラウガ、此儘デ日本文デ出タナラバ、随分異様ノ感ヲ起ス所ノ者ガ澤山アッタラウト思ヒマス、他ニモ御尋ネシタイコトガアリマスルケレドモ、私ハ此問題ノミニ私ノ質問ハ止メマス、ドウゾ御明答ヲ願ヒマス、總理大臣ガ御出デニナツタヤウデアリマスカラ、唯今私ハ大臣ノ御留守ニ、此「コッブ」ト云フ人ノ宣言書ノ如キハ、内務省デハ公安ニ害アルモノトハ御認メニナラナイカト云フコトノ御質問ヲシテ置キマシタカラ、ドウゾ……

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 唯今服部君ノ御質問ノ要旨ハ、私ガ過日當議場ニ於ケル言說中ニ、所謂露國筋ノ赤化宣傳トモ申シマスルカ、ソレヲ輕ク見テ居ル、其實實ヲ否定シテ居ッタヤウニ見エル、然ルニ事實ハ之ニ反シテ、日本ニ於テモ往々赤化宣傳トモ認メラルベキ行爲ガ行ハレテ居ル、之レニ對スル私ノ意見如何ト云フノガ、御質問ノ要點デアッタノデアリマス、私ハ日本ノ領土内ニ於キマシテ、果シテ露國筋ヨリノ赤化宣傳ノ事實ガアッタカドウカト云フコトニ付キマシテハ、何等マダ意見ヲ公言イタシタコトハ無いノ

デアリマス、日本ノ領土内ニ於テ、外國人ノ行動ヲ監視シ、之ニ對スル適當ナル取締ヲ行ヒマスルコトハ、是ハ性質上純然タル内政問題デアリマス、若シ日本ノ法權ノ下ニ於テ、外國人ガ日本ノ治安ノ維持ニ有害ナルベキ宣傳ヲ致シ、其他何等カノ行爲ガアリマシタル場合ニハ、固ヨリ日本ノ法令ニ依リマシテ、躊躇ナク適當ナル處分ヲ致スコトハ、是ハ勿論ノコトデアリマス、次ニ支那ニ於ケル宣傳ノ、赤化宣傳ノ問題ニ付キマシテハ、當議場ニ於テ今日マデ、私ハ未ダ的確ナル事實ノ報道ニ接シテ居ラス、固ヨリ種々ナル風説ハ私モ耳ニ致シテ居ル、承知ハ致シテ居リマスルケレドモ、所謂單純ナル風説デアリマシテ、其多クノモノハ單純ナル風説デアリマシテ、我々ハ輕シク之ヲ信ズルコトハ出來ヌ、斯ウ云フ風ノ趣旨ダケノ事ヲ御答辯申上ゲタノデアリマス、私ハ唯今モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、服部君ハ一ツノ例ト致シテ、過日……當時ノ「ジャパンタイムス」ニ掲ゲラレマシタル「コップ」大使ノ一文……文章ニ付キマシテ御指摘ニ相成リマシテ、其文中ニハ不穩當ナル寓意ヲ含ンデ居ルヤニ見エ、斯様ニ御述ベニナッタノデアリマス、私ハ茲ニ「コップ」大使ノ書面中ノ文意ヲ、文書ノ推測ヲ試ミムトスル者デハアリマセヌガ、平タク讀ンデ見マスレバ、別ニ讀者ニ左程危險ナル印象、反響ヲ與ヘルベキモノデナカラウト思フノデアリマス、唯今服部君ノ御述ベニナリマシタ通り、露國ノ人民ハ生活ノ改善ノ爲メ、又自由ナル、獨立シテ、他國カラ、他人カラ干涉サレナイ發達ヲスルノ權利、之ノ爲ニ非常ニ犠牲ヲ供シテ戰ツテ來タルデアアル、日本モ矢張り同等ノ、同様ナル宿望、希望ト云フモノハ持ッテ居ルデアラウ、生活改善ヲシヤウ、他國カラ干涉サレナイ發展ヲ遂ゲタイト云フ權利ヲ要求シテ居ルデアラウ、此權利ニ向ッテ日本人モ進ムトスルモノデアラカラ、ソレニ對シテハ露西亞人民ハ同情ヲシ、出來ルダケ自分モ援助ヲシタイ、斯ウ云フコトヲ述ベテ居ルノデアリマス、是ガ左程ニ危險ナル反響ヲ讀者ノ頭ニ與ヘルモノトハ、私ニハ考ヘラレナイノデアリマス、併ナガラ是ハ取り方ニ依ッテハ、色々ナ意味ニ解釋ガ出來ルノデアリマス、事實ニ於キマシテ、私ハ此文章ダケデ以テ、左様ニ危險ナル寓意ヲ含ンデ居ルモノト解釋ハ出來マイ、斯様ニ私ハ思フノデアリマス、尙ホ當時私ガ同ジ「ジャパンタイムス」ニ寄書イタシマシタ一文ニ言及サレマシテ、其趣意ハ甚ダ明瞭デナト云フコトヲ御述ベニナッタノデアリマス、如何ニモ私ノ寄稿イタシマシタ文

章ハ、甚ダ簡單ナ短イモノデアリマシテ、今日私ハ其文句ヲ一々記憶ハ致シテ居ラスノデアリマスガ、併シ大體ニ於キマシテ、私ガ日露ノ關係ト云フモノニ付テ如何ニ考ヘテ居ルカト云フコトヲ、極ク簡單ニ一言申述ベマスレバ、私ノ趣意ハ……此寄書中ニ書イテアリマス趣意ハ、明瞭ニナルデアラウト考ヘルノデアリマス、凡ソ此日露兩國ハ、其政治上竝ニ社會上ノ制度ニ於テ、全然相反シテ居ル、根本的ノ差異ガアルト云フコトハ、是ハ明瞭ナル事實デアリマス、併ナガラ此差異ガアルカラト云ッテ、是ガ爲ニ兩國ノ親善ノ關係ヲ保ッテ行クコトハ出來ナイト云フ理窟ハ無カラウト思フノデアアル、我々ハ我ガ現行制度、我ガ國家ノ組織ガ、日本ノ狀態ニ極メテ適當イタシテ居ル最善ノ制度デアルト云フコトヲ信ジマシテ、之ヲ維持擁護スルノ明白ナル權利ガアルト共ニ、露國モ亦現行制度ガ露國ノ狀態ニ適シテ居ル最善ノ制度デアルト認メマシテ、之ヲ維持擁護スルノ權利ガアルノデアリマス、要スルニ此權利ヲ雙方共ニ、相互ニ之ヲ十分ニ承認イタシ、何レノ一方モ他ノ一方ノ國家組織ニ對シテ十分ニ尊重ヲ致シ、互ニ干涉、侵害ヲ加ヘナイト云フ場合ニ於キマシハ、此國家組織ノ差異ト云フモノソレ自身ガ、兩國ノ親交ノ妨ゲトナルベキモノデハナカラウト考ヘルノデアリマス、又單ニ此國家組織ノ差異ト云フコトノミヲ見マシテ、其外ニ別ニ兩國ニ共通イタシテ居ル利害關係ガ現存イタシテ居ルト云フコトモ忘レテハナラヌト考ヘルノデアリマス、斯様ニ考ヘマスルト、元來此日露兩國ハ地理上ニ於テ隣國デアリマシテ、又永遠ニ隣國デナケレバナラヌト思フノデアリマス、既ニ隣國デアリマスル以上ハ、其關係ニ於キマシテ、絶エズ十分ナル意思ノ疎通ヲ要スル種々ナル問題ガ起テ來ルノデアリマス、是等ノ問題ヲ圓滿ニ解決セムト欲スルニハ、ドウシテモ兩國ノ間ニ良好ナル關係ヲ持ッテ居ナケレバナラヌノデアリマス、即チ兩國ノ間ニ絶エズ密接ナル接觸ヲ保チ、親交ヲ維持スルト云フコトハ、是ハ兩國雙方ニ利益デアアルノデアリマス、單ニ經濟上ノ必要ダケニ付テ見マシテモ、兩國ノ親交ト云フコトガ如何ニ必要デアアルカト云フコトハ、明瞭デアラウト考ヘルノデアリマス、又更ニ大イナル局面ニ付テ考ヘマスレバ、若シ兩國ガ互ニ相反目シ、相排斥イタシ、惡イ關係ヲ持ッテ居ルコトニ相成リマスレバ、東洋ノ國際關係ノ安定ト云フコトハ、到底期シ得ラレナイノデアアル、又從テ世界ノ平和ト云フコトモ是ハ期待出來ナイノデアリマス、從テ是等ノ見地ヨリ見マスルト云フト、兩國ノ親交ト云フモノハ、兩國自身ノ爲メ又東洋ノ國

際關係ノ爲メ、更ニ延イテハ世界ノ平和ノ爲ニ、極メテ望マシイコトデアアル、此目的ヲ達スル爲ニハ、何モ兩國互ニ自己ノ適當ト認ムル制度、國家組織ヲ讓歩スル、變更スルト云フヤウナ必要ハ毛頭ナイノデアリマス、自分ノ國家組織ヲ維持擁護スルノ權利ヲ毛頭モ棄テル必要ハナイト、私ハ考ヘルノデアリマス、ノミナラズ此權利ヲ相互ニ尊重イタスト云フコトガ、兩國相互ノ前提條件デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、私ノ「ジャバンタイムス」ニ寄稿イタシマシタ文章ハ、極メテ短簡デアリマシテ、其趣意ハ御分リ難イデアリマセウガ、私ノ申述ベムトスル精神ハ此所ニアルノデアリマス、兩國ガ互ニ相爭ツテ居テハ其目的ヲ達シナイ、利害關係、兩國ガ一緒ニ共同ニナレバ其目的ヲ達シ得ル利害關係ト云フモノガ、兩國ノ間ニアル、斯様ニ申シタノデアリマス、言葉ハ漠然ト致シテ居リマスケレドモ、趣意ハ唯今述ベタヤウデアリマシテ、何等國體ト申シマスルカ、政治上、社會上ノ主義ニ言及イタシタ趣旨デハナイノデアリマス、若シ私ノ「ジャバンタイムス」ニ掲ゲマシタル文章ガ、左様ナ誤解ヲ來ス虞ガアルト云フノデアアルナラバ、私ノ文章ノ甚ダ拙劣ナル結果デアラウト思ヒマス、私ノ自ラ述ベムトスル趣意ハ唯今述ベタ通りデアリマス

○服部一三君 唯今外務大臣カラ御答ガアリマシタガ、遺憾ナガラドウモ御明瞭ナ御答トハ受取リマセヌ、何故ナラバ「コップ」大使ノ宣言ノ意味ハ、露國ノ人民ガ他國ノ壓迫ヲ受ケル、或ハ生活ノ安定ト云フコトガ今マデ良クナカタカラ、ソレヲ改善スルト云フヤウナコトノ爲ニ、多クノ犠牲ヲ拂ツタカラデ、日本人モサウ云フ意思ガアルナラ、ソレヲ援ケテヤリタイト云フ意味ヂヤト仰シヤッタノデアリマスガ、私ハサウハ思ヒマセヌ、何故ナラバ此文章ハ「ソヴィエツトリバブリック」ノ人民ハ、其者ガ犠牲ヲ拂ツテ生活ノ改良ヲ圖リ、又他カラ拘束サレヌヤウナ進歩改良ヲ圖ル爲ニ、多クノ犠牲ヲ拂ツタト云フノハ、革命ヨリ外ニ何ガアリマス、即チ革命ノ事トヨリドウシテモ是ハ取レナイ、ソレガ露國ノ人ガ昔ヨリ、今大臣ガ仰シヤッタヤウナ意味デ戰ツテ來タ、ソレハ露國ニハソソナコトハ無カッタノダガ、若シサウ云フヤウニ御解釋ニナレバ、或ハサウカモ知レヌ、是ハサウヂヤナイ、今ノ「ソヴィエツトリバブリック」ノ人ガ多クノ犠牲ヲ拂ウテ、生活ノ改善ヤ、獨立ノ發展ヲ得ルヤウニシタ、ソレデ日本ニモ「シミラーアスバイレーション」ヲ「リアライズ」スル……同様に希望ヲ實現サセルコトニ向ッテハ、出來得ル限り援助ヲ與ヘル、又假

ニ是ガ千歩モ讓ツテ、外務大臣ノ御話ノヤウナ意味モ含ンデ居ルト見テモ、日本ノ人ガ獨立ノ生活ナドヲ得ル爲ニ奮闘スルナラバ、出來得ル限り私ハ援助ヲ與ヘルト云フ、外國カラソソナコトヲ言フ必要ハ無イデアリマセヌカ、甚ダ失禮ナ言ヒ方デアルト思ッテ居ル、ソレヲ極ク良ク解釋シテモイカヌ、況ヤ是ハ如何ニ見テモサウ解釋ハ出來ヌト思ヒマスケレドモ、是ハ互ヒノ解釋ノ違ヒデ、外務大臣ハ英語ニ御熟達ノ方デアリマスカラ、茲デ其コトヲ爭フコトハ致シマセヌガ、私自身ハ甚ダ不滿ニ思フノデアリマス、ソレカラ大臣ノ御宣言ニ付テ、何カ私ハ露西亞ト日本ハ國體ガ違フ、ソレガ爲ニ是ガ親善ノ實ヲ擧ゲテハイカヌ、交際シテハイカヌトデモ言ッタヤウナ御語氣デ御攻撃ニナリマスルガ、私ハソソナコトハ夢ニモ思ハヌ、政體ガ違ハウガ是ハ向ウノコト、此方ノコト、互ニ干涉シナケレバ、十分交際シテ宜イコトデアリ、又スベキコトデアリマス、ソレニ付テ私ハ一言モ異議ヲ挾ンデ居ル者デハナイガ、私ガ今、大臣ノ今ノ御解釋ガ、無論大臣ハ惡イ心ヲ以テ御書キニナシタモノデアリマスマイガ、此露西亞ト日本トノ親善ノ關係ガ「オールメンカイインド」世界人類ノ總テノ安全幸福ニ關係スルト云フヤウナ、餘リヒドク大キク仰シヤッタモノデアアル、日英同盟ノ時分ニモ、ソソナコトヲ言ウテ演說シタ人ハ一度モ聞イタコトガ無イ、今ノ御話デ聞イテ見ルト、或ハ東洋人種ニハ大ニ關係スルト思ヒマスルガ、「オールメンカイインド」ト云フノハ、東洋人種ト云フコトデアリマスカ、是ハ私ハ英語ガ能ク分ラヌケレドモガ、如何ニ外交官デモ、黒イ物ヲ白イ「オールメンカイインド」是ハ亞細亞洲ノ人ノコトダト仰シヤルコトハ、私ハムツカシカラウト思フガ、是等ノ事ハ枝葉ノ事デ、マサカ大臣ガ……私ガ壇上デ、ドウモ意味ガ分ラヌカラ「コップ」氏ノ演說ト對照スルト云フト、妙ナ感シガ起ルト言ウタノデアリマスケレドモ、是ハモウ大臣ノ御見解ハ其通りデアラウト思ッテ、甚ダ満足デハアリマスケレドモ、私ノ方ガ間違ヒニシキ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 田中館君……唯今田中館君ト御呼ビ申シマシタノハ議長ノ誤リデゴザイマシタ

○服部一三君 總理大臣ノ……

○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣ハ發言ヲ求メラレマセヌカタカラ……

○服部一三君 私ハ總理大臣ノ御答ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣ハマダ發言ヲ求メラレマセナンダカラ、

發言ノナイモノト議長ハ認メテ居ッタノデゴザイマス、……若槻總理大臣

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 外務大臣ノ答辯デ大體盡キテ居ルヤウニ思ヒマシタ爲ニ、私御答ヘ申上ゲル必要ガ無イノデハアルマイカト思ウテ、實ハ控ヘテ居ッタデアリマス、併シ更ニ御尋ネニナリマシタ故ニ、茲ニ御答ヘ申上ゲマス、外務大臣ノ申シマシタ通り、露國ハ隣國デアリ、種々ナル關係ニ於テ、色々ト密接ナル關係ヲ持ッテ居リマス故ニ、露國トノ間ニ親交ハ努メテ之ヲ厚クセヌケレバナラスト私ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ國交ヲ親密ニシナケレバナラスト云フ事柄ハ、所謂危險ナル思想ノ宣傳ニ對シテ看過スルド云フ意味デハアリマセヌ、國交ヲ密接ニスルト共ニ、危險ナル思想ニ向ッテハ遠慮ナク之ヲ防止セナケレバナラスト考ヘテ居リマス、此點ニ於テハ內務省ハ、總テ周到ナル注意ヲ以テ、危險ナル思想ノ宣傳ノナイヤウニ、傳播ノナイヤウニスルコトニハ努メテ居ル次第デアリマス、唯御尋ネニナリマシタカラ、露國大使ノ「メッセージ」ノ御仕舞ニアリマスルコトノ解釋デアリマスガ、此解釋ニ付テハ、私モ亦外務大臣ト恐ラク凡ソ同ジヤウナ風ニ是ハ見テ居ルノデアリマス、生活ノ改善ト云フコトト、獨立及障礙ヲ受ケナイ發達ト云フ言葉ガ書イテアリマシテ、其戰爭ノ爲ニ犧牲ヲ拂ッタトハ書イテアリマスケレドモ、御仕舞ノ所ノ希望ト云フノハ、其戰爭スル希望ト云フノデハナクテ、生活ノ改善ト獨立ニ對シテ障礙ヲ受ケナイ發達ト云フコトノ希望デアルト、私ハ解釋シテ居ルデアリマス、此點ハ或ハ服部君ト御解釋ガ違フカモ知レマセヌガ、此意味ハ左様デアラウト思ヒマス、併シ「コップ」大使ノ本當ノ意味ハ何處ニアリマスカ、私ハ決シテ之ガ代辯スル考ハアリマセヌ、唯此新聞ヲ見テ私ガ解シテ居ル所ハ左様デアリマシテ、ソレデアリマスルナラバ、此新聞ヲ禁止スル程ノ事柄デハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、併シソレアル故ニ、前ニ申上ゲマス通り、露國ニ於ケル危險ナル思想ヲ若シ帝國ニ傳播スル者ガアリマスナラバ、此傳播スル者ハ何人デアリマシテモ、之ヲ防遏スル手段ヲ講ズルコトニハ怠ラナイ積リデ居ルデアリマス

○服部一三君 唯今內務大臣ノ「コップ」大使ノ宣言ノ御解釋ヲ承リマシタガ、是ハ私ハ満足イタシマセヌケレドモ、併シ今日トナッテ總理大臣トシテハ、サウ御解釋ヨリ外ニナサレヤウハナイダラウトモ御推測イタシマス、ソレデ置キマス

〔金杉英五郎君演壇ニ登ル〕

○金杉英五郎君 午前內務大臣ヨリ御答ヘニナリマシタルコトニ付キマシテ、一言申述ベマスルガ、內務大臣ノ先刻ノ御答辯ハ、頗ル御親切デアリマシテ、內務大臣ガ衛生保健ニ付テ尙ホ一步ヲ進メラレタルコトヲ、深く欣快ト存ズル次第デアリマス、ソレニ付キマシテ一言申上ゲ置キタキコトハ、昨秋萬國衛生技術官ノ參リマシタル時ニ、日本ノ衛生保健ノ施設ニ付テ褒メラレタト云フヤウナコトデ、大分御自慢ラシイコトデアリマシタケレドモ、是ハ恐ラク一場ノ外交辭令デアッタヤウニ私ハ考ヘル、何トナレバ、內務大臣ガ御招待ニナリマシタル帝國「ホテル」ノ宴會ニ於キマシテモ、各國ヨリ見エラレタル所ノ衛生技術官ハ、一人モ料理ノ中ノ「サラダ」ヲ食ベナカッタコトデアリマス、是ハ鋭敏ナル內務大臣ニモ、定メシ御注目ニナッタコト、存ジマス、何故ニ「サラダ」ヲ食ベナカッタカ、申上ゲル迄モナク、西洋人ハ特ニ「サラダ」ヲ非常ニ好ミマス、「サラダ」ヲ食ベナケレバ食物ガ消化シナイ、又「ヴィタミン」其他ノモノヲ得ルコトガ出來ナイト云フノデ、心配シテ居ル位デアリマス、ソレガドレモ是モ一人モ食ベナイ、何故ニ食ベナイカト申シマスルノニ、日本ノ野菜中ニハ寄生蟲ガ居ル、又「チブス」菌ガ居ル、斯ウ云フコトヲ懸念シタルデアリマス、此一事ヲ以テ、彼等ガ日本ノ衛生保健ノ設備ノ不完全ナルコトヲ語ッタノト同ジコトデアリマス、ソレヨリモ、ヨリ重大ナルコトデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ドウカ一場ノ外交辭令ニ依ッテ御喜ビニナラズニ、今朝私ノ申上ゲマシタヤウナ次第デアルト云フコトヲ御確信下サレテ、御進行アラムコトヲ偏ニ希望イタシマスル次第デアリマス、外務大臣ニ御尋ネ申シタキコトハ二件アリマス、其一ツハ、國際聯盟ノ條約案デアアル所ノ醜業婦賣買禁止法ニ對シテ、我國ハ昨年除外例ヲ求メ、竝ニ其年齡ニ付テノ留保ヲ申出テ居ル筈デアリマス、其除外例及年齡ノ留保ハ、何時頃ニナリマシタラ御解除ニナル御意思デアアルカト云フコトデアリマス、天下ノコト案外大罪惡デアッテ比較的閑却サレテ居ルモノガ多數デアリマス、其中デモ我々が最も大罪惡ト感ジ、而モソレヲ閑却サレテ居ルモノハ、婦人賣買問題ノコトデアリマス、我々ハ此婦人賣買問題ノ罪惡ハ、放火、強盜ヨリモ一層罪惡ナルモノト、平素信ジテ居ル者ノ一人デアリマス、御承知ノ通り、醜業婦賣買禁止條約ハ、世界大戰前ヨリ成立シテ居リマシタモノデアリマスルガ、國際聯盟ノ起ルニ及ビマシテ、聯盟ガ此事業ヲ引取りマシテ、詰リ「リーグ、オ

「ブ、ネーシヨン」ノ方デ、此事業ヲ引取リマシテ、更ニ附加改良ヲ致シマシテ、其效果ヲ完全ナラシメムト企圖シタモノデアリマス、一ツハ千九百年ノ醜業婦輸入取締條約、一ツハ千九百十年ノ醜業婦取締條約、一ツハ千九百二十一年ノ婦人兒童賣買禁止條約及同年ニ現ハレマシタル所ノ最終議定ト云フモノガアリマス、以上述べマシタル三條約ヨリ成ッテ居ルモノデアリマス、要スルニ自國ノ婦女ヲ醜業ノ目的ヲ以テ他國ニ賣リ、他國ノ婦女ヲ醜業ノ目的ヲ以テ自國ニ買入レタル者ヲ、處罰シテ禁止スルト云フノガ主眼デアリマス、而シテ是等所謂對外的ノ關係ニ重キヲ置クモノデアリマシテ、必シモ各國ニ對スル、内國制度ニマデモ干涉ヲ加ヘヤウト云フ意味デハナイノデアリマス、言換ヘテ見マスレバ、人身賣買ヲナス者ヲ、相互對外的ニ取締ルト云フノガ目的デアリマス、前ニモ申上ゲマシタル通り、人身賣買ノ最モ非人道、非文明ノ所爲デアルト云フコトハ、今改メテ申ス迄モナキコトデアリマス、今日之ヲ考ヘザルニ於テハ、如何ニモ非人道ノ民、非文明ノ民ト譏ラルルモ、一言ノ遁辭ナシト存ズルモノデアリマス、尤モ醜業婦ノ賣買取締ニ付キマシテハ、最初ハ我國バカリデハアリマセヌ、各國共ニ各種ノ事情ガアリマシテ、其實際手廻リ兼ネタル關係上、從來ハ未丁年者、即チ滿二十歳以下ノ者ヲ賣買スルヲ禁止シテ居タニ止マッテ居タノデアリマス、然ルニ千九百二十一年ノ條約ニテハ、其第五條ニ於テ、保護年限ヲ滿二十一歳以下ニ繰上ゲテ、列國一齊ニ採用イタシタノデアリマス、其二十一歳以下ニ繰上ゲタル列國ノ中ニハ、中米諸國モ、支那モ這入ッテ居リマス、然ルニ列國ハ此一箇年ノ繰上ゲヲ以テ足レリトセズ、現ニ英國ノ委員ハ、昨年「ゼネバ」ニ開催セシ聯盟總會委員會ニ於キマシテ、絶對奴隸禁止案ヲ提出シタノデアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

以テ此案ニ對スル世界ノ大勢ヲ窺フニ足ルコトト存ジマス、其絶對婦人賣買禁止ノミナラズ、奴隸廢止案トシテ提出イタシマシタノハ、英吉利ノ「セシル」卿デアリマス、即チ千九百二十五年九月九日、國際聯盟總會委員會ニ於キマシテ「ロバート・セシル」卿ハ全世界ニ於ケル奴隸ヲ徹底ニ廢止セムトスルノ案ヲ突然提出シタノデアリマス、其廢止案ノ中ニハ、無論、子女賣買等ヲモ包含イタシテ居リマスモノデアリマス、此案ヲ提出イタシマシタル際ニ、格別猛烈ナル反對モ起リマセヌデシタケレドモ、葡萄牙其他少數ノ代表ガ、之ヲ急激ニ實施スルト云フコトハ少シ差控ヘタラドウダト云フコトヲ、

力説シタサウデアリマス、而シテ其案ノ大要ヲ申シマスレバ、何レモ調印國ニ於テ奴隸ノ賣買ヲ行ハムトシタルモノヲ嚴刑ニ處シ、奴隸賣買ヲ以テ海賊トシテ罰シ、奴隸船ヲバ海賊船トシテ取扱ハウト云フ規定デアリマス、是ハ其頃ノ新聞ニモ出テ居ッタ筈デアリマシテ、皆様御承知ノ通りノ次第デアリマス、此問題ニ付キマシテハ日本ノ代表者林大使ハ、本國政府ノ訓令ニ基キマシテ、大正十年十月四日、除外例ヲ申出デタルデアリマス、其除外例ハ、年齡二十歳デアルト云フコトヲ十八歳ニスルコト、ソレカラ朝鮮臺灣及關東州租借地ヲ包含セザルコトデアリマス、此保留ハ如何ナル理由デアッタカ存ジマセヌケレドモ、推察スル所ニ依レバ、内地ノ娼妓ヲ十八歳ヨリ許可シテ居ルコトニナッテ居ル關係ヨリ、斯クナリマシタルモノデアラウト推察サレマス、併ナガラ前申シマシタル通り、此條約ハ各國ノ内地關係ハ少シモナイ、即チ内地ニハ干涉セズト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、内地ノ關係ヲ顧慮シテ斯ウ爲サレタモノデアルト信ジマス、併ナガラ此事ハ當局者ニ於キマシテモ、内地關係トシテ此保留若クハ除外例ヲ申出ヅルコトガ出來ナカッタト見エマシテ、氣候ノ關係上早熟云々ト云フヤウナコトヲ申出デタヤウニ承知シテ居リマス、併ナガラ此申出ハ頗ル拙劣デアリマシテ、日本ヨリモ暖國デアリ、而モ早熟デアル所ノ南米伯刺西爾「コロンビヤ」、中米「コスタリカ」等ガ、何ノ苦モナク之ニ加入シタコトデアリマス、今申上ゲマシタルヤウナ温暖ノ地……温暖ノ地ト云フヨリハ熱イ土地デアアル、而モ婦女ハ頗ル早熟イタシマスル土地デサヘモ、好ンデ之ニ加入シタルニモ拘ラズ、日本ガ今日ノ狀態デハ、歐羅巴及亞米利加人ニ較ベマシテ、婦女ハ決シテ早熟デアリマセヌ、殆ド同一ニ婦人トナリ、同一ニ婦人ノ行動ヲ執レルヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、此申出ハ頗ル拙劣デアッタト私ハ考ヘマス、當時承ハル所ニ依レバ、此問題ハ數回ニ互ッテ、林大使、幣原外務大臣等ガ除外例宣言ヲ爲シタモノデアアルサウデアリマス、其當時、其除外例ヲ宣言イタシマスル前ニ、樞密院ニ御諮詢ガ無カッタカ有ッタトカト云フヤウナコトデ、多少聞及ンダコトモアリマスガ、私ハ專門デアリマセヌカラシテ、之ヲ申述べザルノミナラズ、又樞密院ノ雅量ハ之ヲ何事モナク聞流シテシマッタモノデアルト推察セラレマス、而シテ此案ハ樞密院ニ依ッテ稍、日本ノ體面ヲ保ツヤウニナリマシタコトハ、事實デアリマス、ソレハ如何ナル點ガ體面ヲ保ツニ至ッタカト申シマスルニ、成ルベク早く其留保ヲ撤廢ヲ致セ、斯ウ云

フ條件附ノ通過デアッタヤウニ承ッテ居リマス、何時カハ解除シナケレバナラ
ス、而シテ其留保ハ成ルベク早ク解除セヨト云フコトノ條件ヲ附シタルコト
ハ、日本國トシテノ體面、尠カラザル重キモノアルヲ信ズルノデアリマス、
序デニ申上ゲテ置キマスルガ、日本ノ國際會議派遣委員ノ苦痛ハ常ニ一通リ
ノモノデナイト云フコトヲ、我々ハ感シマス、即チ日本帝國ヨリ派遣セラレ
マシタル所ノ各種ノ委員ハ、常ニ世界第一ノ苦痛ヲ感ズルモノデアリマスル
ト云フコトハ、我々ガ、往年華盛頓ニ開催ヲ致シマシタル第一回國際勞働會
議ニ列シタル者ノ、能ク實驗シテ居ル所デアリマス、此理由ハ、一方ニハ他
ノ列國ト同等ノ權利ヲ得ムトスルコトニ主張セネバナラズ、又一方ニハ他
文明國ト同ジニ歩ンデ行カナケレバナラヌコトデアリマス、此歩ミヲ同ジニ
シヤウト云フコトニ付テ、不具ナル事項ガ澤山日本ニハ潛伏シテ居ルノデア
ル、是マデ國際勞働會議ニ於テ決議イタサレタル所ノ事項ニ付キマシテモ、
例ヘバ勞働時間制、或ハ婦女ノ時間制、婦女ガ勞働スル時間制ト云フヤウナ
コトニ付キマシテモ、今日マダ實行サレテ居ラヌヤウナ狀態デアリマスノデ、
先般即チ昨年ノ五月二十八日、「ゼネバ」ニ於ケル第七回國際勞働會議ノ席上
ニ於キマシテ、日本ノ委員ガ、穴デモアレバ這入リタイヤウナ苦痛ニ遭ウタ
ト云フコトハ、皆様御承知ノ通りノコトデアラウト思ヒマス、ソレハ豫テ勞
働時間問題、或ハ女子勞働時間問題、或ハ女子夜間休業問題等ニ付キマシテ、
日本ガ實行セザル爲ニ、印度ノ勞働者及資本者、兩方カラ非常ニ責メ立テラ
レマシテ、日本ガ之ヲ實行セザル以上ハ、印度ノ生産ハ總テ「ゼロ」デアルト
云フコトデ、非常ニ責メ立テラレテ、大イニ苦痛ヲ感ジタト云フコトデアリ
マス、是ハホンノ一例デアリマスルガ、之ニ類シタル、外國ニ派遣サレタル
所ノ會議ノ委員ト云フモノノ苦痛ハ、舉ゲテ數フベカラザルモノガアルノデ
アリマス、ソコデ今日我々ノ憂慮イタシマスルコトハ、前ニ申述ベマシタ事
柄ノ撤回期限未定ニ付テ不安ヲ懷クコトデアリマス、即チ今後、適當ノ時期
ニ於テ政府ハ右年齡ニ關スル留保ヲ撤回スルト云フコトノ樞密院ノ條件ヲ、
何時頃ニナッタラ撤回、解除サルルコトデアルカ、此點ガ我々ノ深く憂慮スル
所デアリマス、我々ノ希望スル所ハ、是等ノ關係ニ付テハ、一日モ早ク撤回
解除ノ方法ヲ講ジテ、他ノ文明諸國ト同ジニ歩クヤウニシタイコト是デアリ
マス、國家ノ財政若クハ産業ノ消長ニ關スル國際的ノ事項ニ付キマシテハ、
時トシテハ一緒ニ歩メナイコトハ多クアリマセウ、併ナガラ道義ニ關シタル

問題、而モ之ヲ行ヒマスレバ格別困難ナコトデモナイト思ヒマスル事柄ニ付
キマシテハ、一日モ早ク撤回スルノガ、文明國タルノ任務デハナカラウカト
考ヘルノデアリマス、殊ニ最モ我々ガ恥辱ト感ジマスルコトハ、除外例ヲ受
ケテ居リマスル處ハ甚ダ少イノデアリマス、即チ英國ノ委任統治地域デア
ル所「ニュー・ファンランド」是ガ除外サレテ居リマス、併シ印度モ除外サレ
ズニ、一本立ニナッテ條約ニ加入シテ居リマス、濠洲ノ適用地ハ是ハ除外ヲ申
出マシタケレドモ、「ニュー・ジールランド」ノ西部「サモア」ト云フ所ダケ除外シ
タル外ハ、悉ク之ニ加入シテ居リマス、之ニ反シテ、臺灣、朝鮮、關東州、樺
太及南「カロライナ」群島ナドハ、悉ク適用地域外ニ置イテアルト云フコトハ、
ドウ云フモノデアリマセウ、人々ノ是等ニ付テノ調べマシタ所ニ依リマスル
ト、醜業婦ノ賣買取次所ハ多クハ植民地デアアル、内地ニ於キマシテ若シ外國
ノ如ク此條約ニ加入シタト致シマシテモ、植民地或ハ統治區域ニ除外例ヲ設
ケテ置キマシタナラバ、何等ノ效モ無イモノデアルト云フコトデアリマス、
其理由ハ、多クハ臺灣、朝鮮、關東州、南洋ノ「カロライナ」群島ナゾニ於テ
ハ、盛ニ此賣買取次ガ出來ルカラデアアル、斯ウ云フコトデアアル、右ニ付キマ
シテ、政府ハ必ズ急ニ之ヲ撤回スルコトノ出來ナイ内地の關係ガアル、即
チ内地デハ十八歳以上賣買自由ト云フコトニナッテ居ルノデ、ドウモ外國ノコ
トバカリ、サウスル譯ニイカヌト云フ御話ガ出ルカモ知レマセヌガ、明治五
年ノ布告以來、實ハ日本ニハ人間ノ賣買ト云フコトハ無イ筈ニナッテ居ル、詰
リ婦女ノ賣買ハ禁ゼラレテ居ル筈デアリマス、我々モ外國人ニ對シマシテハ
常ニ此事ヲ以テ誇リト致シテ居ッタノデアリマス、又表向ニ於キマシテハ、政
府ト雖モサウ云フ御考デ居ラセラレ、又サウ云フ考ヲ以テ對外的ニハ御話ニ
ナッテ居ルコトト確信イタシマスケレドモ、事矛盾シテハ信ヲ失フ、成ルベク
矛盾セザルヤウニ、出來得ルコトダケハ、此醜態ナコトハ成ルベク早ク取去
ルト云フコトガ、必要デハナカラウカト思フノデアリマス、婦女モ矢張り我々
ノ同胞デアリマス、而モ大切ナル同胞デアリマス、之ニ侮辱ヲ與ヘルコトヲ
何時マデモ續ケテ行クト云フコトハ、果シテ國家ノ利益デアラウカ、又國民
道德上、外國ヨリ如何ニ見ラレルデアラウカト云フコトハ、深く考ヘナケレ
バナラヌコトデアラウト思ヒマス、此點ニ付テ外務大臣若クハ總理大臣ノ今
日ニ於ケル御所見ハ如何デアアルカト云フコトヲ、先ヅ御伺ヒシタイト思ヒマ
ス、次ニハ、餘リ長クナリマスカラ、簡單ニ御伺ヒ致シマスルガ、青島ニ於

ケル農園及船舶ニ關係イタル者ノ後トノ處置デアリマス、是等ノ者ハ最初、當局ヨリ獎勵若ハ勸告ノ意味ヲ以テ農園ヲ開キ、或ハ船舶ニ從事シタルデアルサウデアリマス、然ルニ其後、青島還付ノコトニナリマシテカラ、農園ニ從事セムトスル者ハ、支那人ガ妨害シテ、鐵ヲ一ツ入レルコトモ出來ズ、船舶ノ事業ハ全ク頽廢イタシマシタ、何等ノ事モ出來ナイ、ソレ故ニ賠償若クハ支那政府ニ對シテノ談判ヲ、頻リニ切望シテ居ルヤウデアリマスガ、是等ノ事モ政府ハ慎重ニ御考ヘニナツテ、深切ニ御取扱ニナルコトガ必要ナコトデハナカラウカト思フノデアリマス、何トナレバ、今後伯刺西爾其他ノ國ニ對外的ニ事業ヲシヤウト云フ人エ對シテハ、如何ニ之ヲ獎勵スルコトガ出來ルカ、如何ニ勸告スルコトガ出來ルカ、間違ッたら御前達ノ損デア、ケレドモ勸メルコトハ勸メル、一生懸命ヤツテ見ロ、間違ッた時ニハ御前達ガ勝手ニシロ、斯ウ云フコトデアッタナラバ、對外的ノ事業發展ト云フモノハ、到底望ムベカラザルモノデアルト私ハ信ジマス、目下年々五十万、六十万ノ人口増殖ノ國エ於テハ、過日來皆様モ仰セラレタル通り、對外的ノ事業發展ト云フコトガ、最モ大切ナコトデアルト思ヒマス、今後モ對外的ニ事業ヲスル人ニ安心ヲ與ヘル爲ニモ、出來得ルコトナレバ、青島ニ於ケル農園若クハ船舶ナドニ關係シテ非常ニ困難シテ居リマスル者ノ處置ヲ付ケルト云フコトハ、今日ノ急務デハナカラウカト私ハ信ズルノデアリマス、此點ニ付キマシテ外務大臣ノ御所見如何デアアルカト云フコトヲ御伺ヒ申シテ置キマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 唯今ノ金杉君ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、第一ハ婦人兒童賣買禁止條約ノ問題デアリマス、名稱ハ單簡ニ婦人兒童賣買禁止ト申シマスケレドモ、其條約ノ内容ヲ檢シテ見ルト、左様ニ單簡ナモノデハナイノデ、是ハ金杉君モ御承知デアラウト思フ、其書キ方ハ斯ウ云フ風ニナツテ居ル、私ハ條文ヲ暗記シテ居ル譯デアアリマセスケレドモ、趣旨ハ斯ウ云フコトデアリマス、醜業ヲ目的トシテ未成年ノ婦女ヲ勸誘、誘拐シタル者ハ、本人ノ承諾アル場合デモ之ヲ罰スル、斯ウナツテ居リマシテ、是ガ、タシカ千九百十年ノ條約デアリマス、千九百二十一年ノ條約ニ於キマシテ、此未丁年ト云フノハ更ニ二十歳カラ二十一歳ニ上ツテ參ッタノデアリマス、此目的ニ於テハ何人モ異議ハアルベキ譯ハナイノデアリマス、併ナガラ實際問題トシテハ左様ニ單簡ニハ參ラヌト申シマスノハ、醜業ヲ目的トシテ未成年

ノ婦女ヲ誘拐シタト云フナラバマダ罰ニナリマスケレドモ、勸誘シタダケデモ罰ニシナケレバナラヌト云フ條約ノ規定デアリマス、是ハ必シモ賣買トハ申シマセヌ、御前ハドコソコヘ行カナイカト云ウテ勸誘シタダケデモ、是ハ罰ニナルト斯ウアルノデアリマス、日本ノ法律ニハ左様ナ者ハ今日ハマダ罰ニナツテ居ナイノデアリマス、ソレモ未丁年ト云フコトデアアルナレバマダシモノ事デアルガ、一歳上ニ超過イタシ、二十一歳ニナツテ居ル、マア日本ノ法律ナンカデハ二十一歳ト云ヘバ、本人ニ、モウ既ニ十分ナル意思能力ノアル者デアツテ、其者ニ對シテ醜業ヲ勸誘シタト云フダケノ一事デ、罰ニナリ罪ニナリ罰セラレル、斯ウ云フ問題デアリマスカラ、ソレ程問題ハ實際問題トシテ單簡デハナイノデアリマス、ソレデ日本ノ委員ハ、斯様ナ趣旨デ留保ヲ致シタ、年齢ニ付テ、唯今金杉君ガ御話ニナツタヤウニ確カニ留保イタシタ、留保イタシタト云フノハ斯ウ云フ趣意デアリマス、條約ニ依ツテ日本ノ行動ヲ羈束サレルヨリハ、寧ロ日本ノ法令ニ委セタイ、條約デ縛ルト云フコトノ代リニ、暫ク日本ノ法令ニ依ツテ先ヅ此問題ヲ解決シタイ、其方ガ穩當デアル、少クトモ十八歳ト云フ年齢ヲ留保イタシマシタコトハ、十八歳カラ二十一歳迄ノ女ニ付テハ、之ヲ處罰スルカシナイカト云フコトハ、日本ノ法令デ解決イタシタイ、條約ノ面ト致シテ自由ヲ留保シテ置キタイト云フノガ、留保ノ趣意デアリマス、必シモ條約ニ留保ヲ致シタカラト云ツテ、是等ノ行爲ハ日本ノ方デ法律ヲ改正シテ罰スルヤウナコトニシナイ、打チャツテ置クト云フ趣意デハナカッタノデアリマス、本來、此問題ハ打チャツテ置イテ宜シイト云フ決ニ委スト云フ方ガ宜カラウ、ナゼナレバ問題ハ左様ニ單簡デハナイカラ、ト斯ウ云フ趣意デアッタノデアリマス、併ナガラ趣旨ニ於テ無論何等反對ノアルベキ譯デハナイノデ、至極、人道上ノ見地ヨリ見テモ適當ナコトデアアルドウカ日本ノ法律モ改正イタシテ、勸誘ト云フ行爲ダケニ對シテモ處罰スルコトニ致シテ宜カラウ、今ノ刑法ニ左様ナ規定ガ無イナラバ、刑法ノ規定モ改正シテ宜カラウ、斯ウ云フ風ナ大體ノ意見ハ持ツテ居ッタノデアリマス、目的ガ、ソコニ既ニ條約ニ書イテアリマスコトト、日本政府ノ考ヘテ居リマスコトト、矛盾シテ居ル譯デナイノデアリマスルカラ、日本ノ輿論ガ果シテ此條約ノ通り二十一歳迄ノ婦女ヲ誘拐シタ、醜業ヲ勸誘シタト云フダケデモ罰シテ宜シイ、本人ガ承諾スルトシナイトニ拘ラズ罰シテ宜シイト云フ、日本

ノ輿論デアルナラバ、無論ソレハ結構ナコトデアアルカラ、ソレニ對シテ處罰スルヤウナ規定ヲ設ケルガ宜カラウ、從テ留保ナンテ云フモノハ撤廢シテ宜カラウ、即チ留保ヲ撤廢スレバ是ガ處罰ヲ設ケル義務ヲ帶ビルノデアリマス、法律改正ノ手段ヲ執ルベキ義務ヲ政府ガ帶ビルノデアリマス、ソレダケノ義務ヲ帶ビルコトモシテ宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ、イツ留保ヲ解クカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタ、是ハ成ルベク早ク留保ハ解キタイト考ヘテ居ル、併シ唯今申シマシタル如ク、相當ニ込入タル問題デアリマスルカラ、其後、關係各省ニ於テ色々協議ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ遠カラズ解除ヲスルコトニ相成リマスルケレドモ、今日イツニナレバ解除スルト云フ日ハ申上グラレマセヌ、成ルベク速ニ解除スル積リデアルト云フコトダケヲ御答ヘ申シテ置キマス、ソレカラ第二ニ青島ノ農業地ノ問題ヲ御聽キニナリマシタ、是ハ餘程久シイ歴史モアリマスシ、込入ッタ成行モアリマスルカラ、茲ニ之ヲ申上グルノハ少シク御迷惑デナカラウカト思フノデアリマスルケレドモ、御質問ガアリマシタカラ、極メテ簡單ニ御答ヘ申シマス、山東條約ノ細目協定ノ中ニ、斯様ナ規定ガアルノデアリマス、元ノ獨逸ノ租借地内ニ於テ、國武農場、其他大農場ヲ確カアッタ思ヒマス、大キナ農場ハ支那政府ニ於テ公平ナル補償ヲ與ヘテ之ヲ買收スルコトヲ得ト、斯ウアルノデアリマス、其規定ニ依リマシテ國武農場即チ政府ハ買收シタイト云フ意思ヲ持ッテ來タノデアリマス、然ルニ其具體的ノ問題ニナリマスルト云フト、二ツノ點ニ於テ面倒ガ起ッテ來タ、一ツハ賠償、補償ノ價格デアリマス、他ノ一ツハ是等ノ農場ニ於テ小作ヲヤッテ居リマシタル支那人ハ、是ガ小作料ヲ拂ハナイノデアリマス、此小作料ノ問題ヲ如何ニ致シタラ宜イカト云フ二ツノ問題ガ起ッテ來タノデアリマス、補償ノ問題ハ支那ノ方デハ無論安イ、成ルベク安イコトヲ欲スル、又形モ現金デ無クテ公債トカ云フモノノ形ヲ欲スル、日本側ノ方デハ左様ナコトヲ欲シナイ、成ルベク高イ、高イト云ヒマスルカ、相當ナ補償ヲ要スルト云フ譯デアリマスカラシテ、價格ノ問題ガ未ダ雙方ノ間ニ定マツテ居ラヌノデアリマス、併シソレヨリモ尙ホ急迫ナル問題ハ、先刻申上ゲマシタ小作人ガ小作料ヲ拂ハナイノデアリマス、此問題ニ付キマシテハ、非常ニ領事ヨリ度々督促ヲ加ヘマシタ結果、今日ニ於テハ大體小作人モ折レテ參リマシテ、妥協ヲ申込デ來テ居ル、確カ國武農場ト云フノハ三箇所ニ分レテ居リマスルガ、其一箇所ニ於キマシテ、小作人ハ

既ニ妥協ヲ申込デ來テ居ル、少シク小作料ヲ負ケテ貰ヒタイト云フコトデアアル、ソレカラ、其他ノ二箇所ノ問題モ、既ニ小作人同士ガ寄り合ッテ、妥協ヲ申込ム今相談中デアルト云フコトデアリマス、是モ遠カラズ解決シ得ルコトデアラウト思ヒマス、其他ノ大農場ト申シマス處ニ付キマシテハ、差當リ未ダ支那ノ方デ之ヲ買上グル問題ハ起ッテ來テ居ラヌノデアリマス、是等ノ場所ニ於テ小作人ガ支那官憲ノ壓迫ニ依ッテ……農業主ガ支那官憲ノ壓迫ニ依ッテ非常ニ迷惑ヲ受ケテ居ルト云フ話ガ、大分ヒドク傳ハッテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、少シク世間ノ風説ハ、我々ノ受ケテ居リマス報道ニ依リマスレバ、針小棒大ナ傾モアルヤウデアリマス、併シ是ハ極メテ込入ッタ問題デアリマシテ甚ダ細目ニ涉ッテ居リマスカラ、更ニ適當ナル機會ニ於テ、例ヘバ分科會デアルトカ云フヤウナ場所デ、御必要ガアレバ御答辯申上ゲタイト存ジマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 田中館君ノ登壇ヲ望ミマス

〔田中館愛橘君演壇ニ登ル〕

○田中館愛橘君 私ノ質疑ハ師範教育ノ改善ニ付テゴザリマス、豫算ノ金高トカ、ソレニ付テ法律規則トカ云フコトニハ觸レマセヌ、唯、之ヲ使フ中味ニ付テ伺フノデアリマス、豫算ノ分捕ト云フコトガ、此間中屢、此議場デ論ゼラレマシタ、私トモ其跡形ヲ認メナイコトハ無イノデアリマス、又ソレ等ノ釣合ニ付テモ、私ノ關係シテ居ルモノノ中ニ於テモ少カラヌノデアリマス、ケレドモ、是等ハ一切申述ベマセヌ、唯、何故ニ斯ヤウナ問題ガ起ルカ、之ニ付テ一言申シテ置キタイノデアリマス、是ハ稍、申惡イ事柄デアリマスガ、實ハ是等ニ携ハル人達ガ、私自身ヲ初メト致シテ、豫備知識ニ乏シイカラ起ルノデアアル、少クモ原因ノ一部ハココニアル、今ノ世ノ中ハ大抵ノ計畫ヤ設備等ニ於テ、ソレトノ專門知識ヲ要スルコトハ、事新シク申ス迄モナイ、故ニ豫算ヲ査定シテ、適當ニ之ヲ割振ル人ハ、是等ノ事柄ニ付テ相當ノ豫備知識ヲ備ヘタモノデナケレバナラナイ、殊ニ、豫算ガ當局ノ首腦部ニ達スル迄ニハ、色々ノ機關ヲ通ッテ行クノデアルカラ、其中ニハ、豫備知識ノ頗ル乏シイモノモ見受ケルノデアアル、勿論、當局ニ於テハ、各方面ノ報告ヲ聞イテ、判斷スルノデアアルガ、ソレニハ餘程シカリシタ豫備知識ヲ具ヘテ居ラナケレバ、兎角口先キノハシコイ者ノ言フコトガ通り易クテ、理窟一片ノ者ハ通ラナイ、殊ニ地方カラ出テ來ル者ハ、入學試験ニデモ出ルヤウニ、ソ

レ専門ニ研究シテ來ルカラ、却テ御膝元ガシテヤラレルト云フ風ガアル、玆ニ於テ豫算分捕ノ不平ガ起ル、不公平ヲ攻メル方ニモ、攻メラレル方ニモ、モット豫備知識ヲ豊カニシテ、能ク了解ノ出來ルヤウニシナケレバ、此病ハ直サレナイモノト思フ、之ヲ直サウトスルニハ、國民一般ノ知識ヲ高メル外ニ途ガ無イ、單リ豫算ト云ハズ、代議政治全體ニ於テ、國民ガ相當ノ知識ヲ備ヘテ、口先キ以上ニ依ッテ判斷スル力ヲ持タナケレバ、普通選舉ト云フコトモ其意味ヲ全ウスルコトガ出來ナイノデアル、公平ナル目ヲ以テ、我が日本ノ朝野ニ於ケル、重要ノ地位ニ在ル人ト、歐米ノ同ジ地位ニ在ル人トト比較ベテ見タナラバ、遺憾ナガラ、我々數等下ッテ居ルコトハ爭ハレナイ事實デアル、學者ト云ハズ、政治家ト云ハズ、技術家ニ、工業家ニ、之ヲ平均スレバ一般ニ知識ガ下ッテ居ルコトハ爭ハレナイ、勿論、此席ニ於テ御見受ケ致ス方々ノヤウナ取除ケハアリマスガ、國民全體トシテ平均スレバ、ソレニ違ヒナイ、此平均ノ知識ヲ高メテ、事柄ノ真相トマデハ行カナクモ、其大體ヲ互ニ理解スルニ至ラナイ中ハ、假令何遍政府ヲ取換ヘテモ満足ハ出來マイト思フ、國民ノ知識ハ經濟家ノ言フ技能ノ熟練トカ、學理ノ應用トカ、其他研究發明、國防ニ、興業ニ、總テ人間ガ自然界ヲ征服シ利用スル基デアル、而シテ之ガ實現ヲ期スルニハ、教育ノ改善ニ俟ツヨリ外ハナイノデアル、政府ニ於テモ之ニ向ッテ出來ルダケノ力ヲ盡シテ居ルコトハ、少シモ疑ハナイ、而シテ教育ノ改善ニ於テ、現今最モ大切ニシテ、且ツ行詰ッテ居ルモノハ、國字問題ニ越シタモノハナイ、同僚ノ澤柳博士ハ、忘レラレタル大問題トシテ之ヲ新聞紙上ニ發表サレテ居ル、曩ニ本員ガ、當議場ニ於テ、政府當局ノ意見ヲ尋ネタトキ、趣意ニ於テハ全ク同感デアッタ、唯「ローマ」字ヲ小學教育ニ一般ニ入レルコトハ暫ク考ヘル、自由課目トシテ教ヘルノハ差支ナイト云フコトデアッタ、我々ノ見ル所デハ、日用ノ文字トシテ簡單デ世界のナル文字トシテ、簡單デ世界のナル文字ヲ用フルコトハ、今ヤ、識者ノ輿論之ニ傾イタト思フ、又是デナケレバ、國語ノ整理ガ容易ニ付カナイモノト見テ居ル、唯世界ノ大勢ヲ鑑ミザル一部ノ人ニ、之ニ反對スル者ガアル、誤解ヲ避ケル爲ニ申シマスガ、我々「ローマ」字論者デハアルガ、漢字廢止論者デハナイ、漢字ハ廢スベキモノデモナケレバ、又廢サレルモノデモナイ、唯是ハ高等教育ニ屬スベキモノデ、日用ノ日本語ヲ書ク文字ニ使ハナイト云フニ過ギナイ、高等教育ニ於テハ、現在以上ニ之ヲ進メル必要モ認メテ居ル、又今日直チニ

之ヲ廢スルコトハ不可能ノコトデアル、電氣燈ガ便利デアルカラト云ッテ、其設備ノ出來ナイ中ニ、「ランプ」ヲ全廢シテハ全ク黑暗ニナルモ同様デアル、サウカト云ッテ、何時マデモ「ランプ」ヲ通セルモノデハナイカラ、使フコトノ出來ル部分カラ電燈ノ使用ヲ始メテ行カナケレバナラナイノデアル、日本語ヲ書クニ適シナイ漢字ト假名ヲ習フニ、少クモ二三年以上ヲ費スニ對シテ、「ローマ」字ハ二三週間デ一通リノ讀ミ書キガ覺エラレル、此青年ノ間ノ二三年ハ非常ニ尊イモノデアル、或ル人ハ、一年間ノ全國ノ小學兒童ノ教育費ヲ七億圓ト見積ラダガ、是ダケノ金ガ二年分ヅツ浮イテ來ルコトニナッタラ、國家ノ經濟ニ少カラヌ餘裕ガ付クコトと思フ、ソナ金ヨリハモット數倍勿體ナイモノハ青年ノ精神デアル、知識ノ種子ヲ青年ノ時ニ植付ケタノト、之ヲ年取ッテカラ塗付ケタノトデハ、後ニ之ヲ振廻ハシテ使フ上ニ非常ナ遠ガアル、「ヴアンデルビルト」ガ日本ヲ視察シタ報告ニ、日本ガ今ノ漢字ヲ使ッテ居ル間ハ恐ルルニ足ラナイ、ト書イテアルト聞キマス、之ヲ我々同胞ハ何ト見テ居ルノデアリマセウ、玆ニ於テ、師範教育ノ改善ニ付テ、文部當局ニ伺ヒタイコトハ、師範教育ノ課目ニ「ローマ」字ヲ日本語ヲ書クコトヲ御入レナサラナイカ、是デアリマス、當局ハ或ハ、師範學校ニ於テ、「ローマ」字ハ英語ノ中デ既ニ教ヘテ居ル、ト言ハレルカモ知レナイ、之ニ對シテ、我々ハ、英語ノ中デ教ヘテ居ルノダカラ、尙更日本語トシテ教ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、英語デ教ヘラレルヤウナ書キ方デハ、日本語ノ語法ニモ文法ニモ適シナイバカリデナク、佛蘭西語ニモ獨逸語ニモ通用シナイノデアリマス、ソレ故ニ、日本政府ガ國際地圖ヲ編製シテ發表イタス時ニ、全部其地名ニ日本語ノ書キ方ガ使ハレタノデアリマス、以來、海軍水路部デ出ス海圖デモ、中央氣象臺デ出ス氣象圖デモ、又ツイ二三日前出マシタ復興局ノ東京ノ圖デモ是ガ使ッテアルノミナラズ、東京ノ小學校デ使フ生徒ノ手帳ニモ是ガ載ッテ居リマスカラ、將來ノ小學校教師トナル師範生徒ニ之ヲ課スルコトハ必要デアラウト存ジマス、之ヲ入レタカラト云ッテ、師範生徒ノ負擔ガ増スト云フ程ノモノトハ思ハレマセヌ、例ヘバ、ココニアリマス、海軍水路部デ其要報ニ發表サレテアルヤウナ、二頁デ納マル位ナ程度ノモノデモ、無イヨリハ宜シイト思フノデアリマスガ、當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ、序デナガラ、モウ一ツ伺ヒタイノハ、先日ノ御答辯デハ、片田舎ノ全ク「ローマ」字ノ必要ガナイモノニマデ之ヲ課スルコトハ出來ナイ、ト伺ヒマシタガ、教科書ハ田舎ト

都會トデ、必シモ統一シナクテモ宜イヤウニ伺ッテ居リマスガ、若シサウデアッタラ、都會ヤ開港場等ノ小學ニ使ハセル教科書ニ之ヲ入レルコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、序デニ伺ヒマス、誠ニ小サナ問題ヲ出シテ、貴重ナル時ヲ費シタヤウデゴザリマスガ、國家永遠ノ計ト致シテ重大ナル問題ト存ジマス故ニ伺ッタ次第デゴザリマス、ドウゾ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今、田中館博士ヨリ「ローマ」字ノコトニ付テ縷縷御意見ヲ承リマシタノデアリマス、同君ハ多年此「ローマ」字ノ普及イコトニ熱心シテ御イデニナルコトニ付テハ、私モ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、又御説ニ付テハ大體感ヲ同ジウスルコトガ少カラヌデアリマス、唯我國ノ國字ヲ「ローマ」字ニ改メルト云フ、サウ云フ大方針ヲ今日直チニ定メルト云フコトハ、困難ナ問題ト思ヒマスケレドモ、兎ニ角、漢字ヲ併用イタシテ居ルト云フ今日ノ國字ハ、何トカ研究ヲ致サスケレバナラス、何トカ改善ヲ致サスケレバナラスト云フコトニ付テハ、當局者モ深ク御同感デゴザイマス、唯今ノ御演説ノ質問トシテノ御要旨ハ、最後ニアルト思フデアリマス、即チ師範學校ニ於ケル此「ローマ」字ノ教育ニ關シタコトデアリマス、田中館君ノ御話ノ通り、今日師範學校ニ於テハ、何レモ「ローマ」字ヲ教ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ此「ローマ」字ノ教ヘ方ト云フモノハ、從來ノ所謂「ヘボン」式ニ依ッテ教ヘテ居ルノデアリマス、田中館君ノ御主張ニ依ル所ノ日本式「ローマ」字ト云フモノハ、教ヘテ居ル所モ有ルデアラウト思ヒマスケレドモ、マダ一般ニ普及イタシテ居ルト云フノデハナイデアリマス、多クハ「ヘボン」式ヲ教ヘテ居ルト思ッテ居リマス、ソレデ田中館君ノ御話ノ通り、今日ニ於キマシテハ、其日本式「ローマ」字ト云フモノガ段々廣ク用非ラレルト云フコトニナリマシテ、二三ノ例ヲ唯今此處デ御述べニナッタヤウナ次第デアリマス、斯様ナル狀態デ見マスレバ、師範學校生徒ニ日本式「ローマ」字ト云フモノハ、如何ナルモノデアアルカ、如何ニシテ綴ルモノデアアルカト云フコトヲ教ヘルト云フコトハ、必要ナコトト私モ考ヘルデアリマス、是ガ非常ニ時ヲ要シ困難ナモノデアレバ格別デアリマスガ、既ニ「ヘボン」式「ローマ」字ノ書キ方ヲ理解シテ居ルモノニ取リマシテハ、僅ナル勞ヲ以テ此日本式「ローマ」字ヲ理解會得スルコトガ出來マスカラ、是ハ私ハ適當ノ機會ニ於テ師範學校長ニ訓示ヲ致シマシテ、師範學校ニ於テ日本式「ローマ」字ノ如何ナルモ

ノデアアルカト云フコトヲ教授サセルコトニ致サウト考ヘマス、次ノ御話ハ此過日ノ御答ニ付テデアリマス、即チ小學校ニ於テ片田舎ト都會トハ教科書ヲ變ヘルコトモアルシ、又教授ノ方法モ變ヘヌケレバナラスノデアアルカラ、片田舎ニ於テハ「ローマ」字ノ必要ハナカラウガ、都會ノ學校ニ於テハ之ヲ教ヘルト云フヤウナコトニシテハドウカト云フ御質問ト思フデアリマス、勿論、成ルベク片田舎ト都會トハ教科書等モ變ヘテ掛カル積リデアリマス、唯今ハ一定イタシテ居リマス、但シ將來ハ變ヘル積リデ唯今準備ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、其場合ニ於キマシテハ適當ナル考慮ヲ加ヘタイト考ヘルノデアリマス、大體……

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 鎌田君ノ登壇ヲ望ミマス

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 私ハ文部大臣、其他諸大臣ニ質問ヲ致シタイ考デゴザイマス、ドレダケガ何大臣ト云フコトヲ別ニ指定スルコトハ致シマセヌガ、適宜御答辯下サイマシタナラバ光榮ト存ジマス、ソレハ私ハ此問題ニ付テハ、ドナタカラカ必ズ御質問ガアルコトト期待イタシテ居ッタデアリマス、然ルニ其御質問ガゴザイマセヌモノデスカラ、ソコデ誠ニ此推迫ッテ時間ヲ費スコトハ恐縮ニ堪ヘマセヌケレドモ、一應當局者ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、ソレハ今回ノ豫算ニ於キマシテ最モ著大ナルコトハ何デアアルカト申セバ、義務教育費國庫負擔額ノ増額サレタト云フコトガ、此豫算面ニ於ケル最モ偉大ナルモノデアルト云フコトハ、諸君モ御感ジダラウト思フ、而シテ、是ハ是マデ伺ッタ所デハ、先ヅ地方ノ經濟ヲ緩和スル其急迫ヲ救フト云フコトハ伺ッテ居リマスケレドモ、ソレヨリ以上立入ッテドナタカラモマダ質問ガ無い、併ナガラ、讀ンデ字ノ如ク、義務教育費國庫負擔額デアリマスカラシテ、教育ニ密接ノ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトハ明カナ話デアアル、併シ何等教育ニ關係セズシテ、地方ガ困ッテ居ルカラ其金ヲ出スト斯ウ云フナラバ、町村費補助費、或ハ町村費國庫負擔額ト斯ウ云フコトニ變ヘナクチャナラスノデアアル、併ナガラ、租稅ト云フモノハ町村カラ……市町村カラ取ッタ租稅デアアル、ソレヲ又割戻スト云フコトナラバ、初メカラ取ラナケレバ宜イト斯ウ云フコトニナッテ來ルノデアリマス、是ハマア餘リニ簡單ナ話カモ知レマセヌガ、併ナガラ、茲ニ教育費ナルモノハ市町村ノ經濟ニ於テ最モ巨額ノ割合ヲ占メテ居ル、而シテ町村ノ經濟ハ甚ダ疲弊ヲ致シテ居ルカラ、何トカシテ此金ヲ増シテ教育

ノ程度ヲ保チ、尙ホ進シテ教育ノ改善ヲ圖ル、其結果、町村ノ經濟ガ緩和サ
レルト、斯様ナ意味ニ取ルコトガ當然ダラウト考ヘル、而シテ昨年モ私ハ一
ノ質問ヲ發シマシテ、文部大臣ニ御意見ヲ伺ヒマシタ、ソレハ何デアアルカト
云フト、此義務教育年限延長、之ヲ御實行ニナルヤ否ヤト云フコトニ付テ御
質問ヲ致シタ所ガ、義務年限延長ト云フコトハ、是ハモウ議論ノ時期デナイ、
實行ノ域ニ這入ッテ居ルガ、併ナガラ直チニ之ヲ爲シ能ハナイ、何故ニ之ヲ爲
シ能ハナイカト云フト、第一教員ノ數ガ足りナイ、第二ニハ地方ノ經濟ガ許
サヌ、故ニ一方ニ於テハ教員ノ増加ヲ圖リ、他方ニ於テハ町村ノ經濟ノ豐ナ
ル時期ヲ俟ッテ之ヲ行ハムトスルモノデアルト、斯ウ云フ御答辯デアッタノ
デアリマス、私ハ是ハ至極御尤ナコトデ、是以外ニ何人ト雖モ考ハ無イ、然
ラバ茲ニ於テ此町村ノ經濟上ニ一大變化ノ起ッタト云フコトハ、今茲ニ之ヲ認
メナケレバナラヌ、ソレハ四千万圓ノ國庫負擔額ガ今年ハ七千万圓トナッタ、
來年ハ之ヲ八千万圓ニナルコトヲ期待シ得ル、斯ウ云フコトニナツテ來レバ、
義務年限延長ハ如何ニスルカ、殘ル問題ハ教員ノ其員數デアリマスケレドモ、
是ハ昨年モ師範教育ノ改善ニ御著手ニナリマシテ、員數ノ増スコトモ計畫サ
レテ居ルノミナラズ、師範學校バカリカラ教員ヲ供給スベキコトヲ期待スル
ト云フコトモ或ハ無理ナ話カモ知レス、是ハ成ルベク良イ教員ヲ得ナケレバ
ナリマセスケレドモ、之ヲ得ル所ノ途ト云フモノハ、師範學校以外ニモ之ヲ
開カナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ル、然ラバ先ヅ私ハ町村ノ經濟カラ申セ
バ、義務年限延長位ノコトハ優ニ之ヲ爲シ得ル時期ニ達シタノデヤナイカ
ト思ハレル、先年、一千万圓ノ國庫負擔額ヲ大正七年ニ於テ政府ガ出スコトニ
ナッタ、ソレカラ大正十二年ニ於テハ之ヲ四千万圓ニ増額シタ、其時ニ頻リニ
岡田文部大臣カラ御質問ガアッタヤウデス、三千万圓増シテ、直チニ一千万圓
ガ四千万圓トナッタト云フ、此時ニ政府ハ何等カノ積極的計畫ヲ爲サナイノデ
アルカ、義務年限延長、義務年限延長ガ、若シソレガ出來ナケレバ、補習教
育義務制 其他總テ教育ノ向上ヲ圖リ、改善ヲ圖ルベク、積極的政策ヲ何故ニ
政府ハ採ラナイノデアアルカ、ト云フヤウナ意味ノ御質問モ度々出マシタヤウ
デアリマス、又全體ノ此市郡ニ於キマシテモ、殊ニ市町村ニ於キマシテモ、
最早義務年限延長ハ問題デナイ、之ヲ實行シナケレバナラヌ、而シテ此國庫
負擔額モ四千万圓ニナッタノデアアルカラシテ、是ガセメテ、モウ千万圓モ出タ
ナラバ、之ヲ優ニ爲スコトガ出來ル、其中ニハ或ハ臨時費ダケハ國庫カラ支

給シテ貰ヒタイ、而シテ經常費ハモウ千万圓アレバ立派ニ出來ルカラ、モウ
千万圓ダケ出シテ貰ヒタイト云フ點ニマデ至ッテ居ッタデアリマス、併ナガ
ラ此物價ノコト其他經濟上ノコトハ年々變化イタシマスカラ、其時ノ狀態ヲ
以テ今日ニ直チ當嵌メル譯ニハ行カヌ、併ナガラ物價ノ如キヲ見レバ、其當時
ヨリ今日ノ方ガ下ッテ居ル、又町村ノ經濟ト云フモノモ其當時ヨリハ今日ノ方
ガ宜シイヤウデ、又不景氣モ段々モウ末ニナリマシテ、大分、コノ一陽來復
ノ期ニ向テ來タヤウナ、ソレ等ノ事情ヲ綜合シテ考ヘテ見マスト云フト、此
義務年限延長ト云フ最モ大切ナル計畫ヲ、ソロ／＼御始メニナル時デヤナイ
カト考ヘル、第一、此加藤内閣即チ今ノ若槻内閣、現内閣ノ爲サッタコトハ誠ニ
偉大ナル成績ヲ遺サレタト私ハ思フ、其成績ノ良否如何ハ未ダ之ヲ知ルコト
ハ出來ヌガ、仕事ハナカ／＼大キイ、第一、昨年ニ於テ選舉權大擴張ヲ行ッタ、
所謂普選案ト云フモノヲ通過シ得タデアリマス、其前ニハ、是ハ現内閣デ
ハアリマセスケレドモ、陪審法案ト云フモノモ亦此議場ヲ……上下兩院ヲ通
過シテ、現ニ今日ハ實行ノ時ニ至ッテ居ル、又今日ハ、勞働法案ナルモノヲ提
出セラレテ、所謂此勞働組合、又ハ續イテ勞働條件ノ改善ト云フヤウナコト
ニモ段々著手セラレルト云フコトニナツテ居ル、斯ノ如ク勞働條件ヲ進メ、勞
働組合ヲ認め、又普通選舉ヲ實行シ、陪審法ヲ行フト云フ此文化的制度ト云
フモノガ段々其歩ヲ進ムルニモ拘ラズ、唯教育ト云フ一點ニ至ルト云フト、
依然トシテ昔日ノ如シ、教育年限延長……モウ殆ド文明各國ガ普通ニ採ッテ居
ル所ノ此最低度ノ教育ノ年限延長ト云フコト迄モ、未ダ之ヲ爲サズシテ、在
其時日ヲ經過シテ居ルト云フ、實ニ是ハ之ヲ解スルニ苦シムノデアリマス、
之ヲ爲サザルニハ如何ナル理由ガアルカト聽ケバ、教員ノ不足、又財政ノ窮
迫、斯ウ云フコトデアリマスガ、財政ノ窮迫モ大ニ緩和セラレ、教員ノ増員
ト云フコトモ漸次ニ行ハレルト云フコトニナツテ來テ居リマス、併ナガラ、今
日ノ方法ヲ以テ教員ノ養成法ガ完全ナリト云フコトハ出來ナイ、之ニ付テモ
大ニ議論ガアルコトデアリマス、是ハ豫算ニ關係スルコトデアリマスカラシ
テ、精細ニ考究シ、質問應答シテ其適從スル所ヲ定メナケレバナラヌノデア
リマスルガ、即チ此教員養成法ト云フモノニ、毫ニ角著手セラレタ、サウシ
テ見レバ、一方ニ於テ義務年限ノ延長ナルモノモ、即チ義務年限ヲ延長スレ
バ茲ニ四千學級トカ五千學級トカ云フ誠ニ夥シイ所ノ學級ノ増加ヲ見ルノデ
アリマスケレドモ、ソレハ一時ニヤラナクテモ宜シイ、或ハ五年ヲ期シテ之

ヲ漸次ニ行フ、或ハ十年ニナツテモ宜シイ、漸次ニ之ヲ行ナヒ得ルヤウナ方法ヲ立テテ、無理ヲセズニ出來ル所マデ之ヲ行ナツテ行クト云フヤウナコトニ致シテ、而シテ貧弱ニシテ容易ニ之ヲ爲シ得ザル所ハ、是ハ成ルベク又之ヲ援助スルガ爲ニ、國庫負擔金ヲ使フ、或ハ國庫ヨリ支辨スルト云フ方法モ漸次ニヤレバ、ソレ程ノ苦痛ヲ覺エズシテソレヲ爲シ得ルコト私ハ考ヘル、又此國庫負擔法ナルモノノ内容ヲ見マスト云フト、此事ヲ爲スニ都合ガ宜シイ、成ルベク貧弱ナルモノニ多ク與ヘ、富裕ナルモノニハ少ナク與ヘルト云フ社會的政策ヲ加味シタル所ノ法ニナツテ居ル、大藏大臣ハ此地租一分減ヲ廢シ……止メテ、國庫負擔額ヲ一千万圓ト云フモノヲ増シタノデアル、是ハ全ク金額ニ於テ殆ド相近イモノデアル、金額ガ殆ドトチモ一千万圓デアルカラシテ、而シテ農村ヲ救済スルト云フ點ニ至ツテモ同ジコトデアルカラ、即チ其形ニ於テ變ツテモ、實際ニ於テハ何等ノ變リノナイモノデアル、カルガ故ニ、衆議院ノ修正ニ同意ヲ表シタモノデアル、斯ウ云フコトヲ大藏大臣ハ言ハレテ居ル、如何ニモ其通り、併シナガラ、尙ホ一層進ンデ申シマスト云フト、地租ハ其土地ヲ澤山有ツテ居ル町村ニハ澤山戻ツテ來ル譯デアル、委讓サレル譯デアル、貧弱ナル町村ニハ少イ、國庫負擔額ト云フモノノ分配法ハ、直接國稅トハ反比例シ、附加稅ト正比例スル、斯ウ云フ方法ニナツテ居リマスカラ、富裕ナル町村ヨリモ、貧弱ナル町村ニ多クノ割合ヲ以テ分配セラレルト云フコトニナル、是ハ即チ教育ノ改善ヲ計リ、年限ノ延長ヲ爲スト云フコトノ上ニ、最モ適當ナル配當法ニナツテ居ルト云フコトハ、之ヲ十分ニ大藏大臣ニ於テモ御記憶ヲ願ヒタイ、今日最モ、各大臣ヲ初メトシテ我々國民モ非常ニ憂ヘテ居ルコトハ何デアルト申シマスト云フト、第一、此思想ノ動搖、是ガ最モ恐ルベキコトデアル、其思想ノ動搖シツツアル其際ニ、普通選舉ヲ實行シ、陪審法ヲ實行シ、勞働法ノ制定ヲ行ナツタナラバ、如何ニナルダラウカト云フコトガ、此人々ノ固睡ヲ吞ンデ心配スル所デアル、此思想ヲ善導シ、思想ヲ安定シ、又生活ヲ安定シテ、從テ思想ノ安定ヲ來サシムルト云フコトハ、教育ヲ完全ニスルヨリ外ニ方法ハ無イノデアル、彼ノ赤化ヲ恐ルル所ノ人ハ、常ニ或ル國ノ宣傳ト云フコトニ付テ非常ナ心配ヲ抱カレテ居ル、是モ尤ナ話デアル、併ナガラ、唯恐レルダケデハ何ニモナラヌ、幾ラ怖イト云ツテモ、火事ハ燃エテ來マスカラ、ドウシタナラバコッチヲ不燃物ニスルカト云フコト、又赤化宣傳ト云フコトハ、最初ハ歐羅巴ニ向ツテ試ミラレタ、第一、波蘭カラ

獨逸、又「スカンディナヴィア」諸國カラ佛蘭西、英吉利、亞米利加ト云フ、斯ウ云フ風ニ赤化宣傳ヲ行ナツテ見タノデアリマスガ、案外效果ガ無イノデ、戰爭直後ニ於テハ相當ノ動搖ヲシタヤウデアリマスケレドモ、今日ハ却テ反動的ノ勢ヲ助成シテ、何等ノ效ヲ爲サスト云ツテ宜シイ、是ハ何デアルカト云フト、第一、西歐羅巴各國ハ教育ガ進ミ、サウシテ國民ノ常識ガ發展シ、物ノ批判力ト云フモノガ出來テ居ル、物ニ向ツテ正邪善惡、曲直是非ヲ判斷スル所ノ力ガアル、是ハ最モ強イ所ノ垣根デアル、附和雷同ト云フコトガ一番恐ロシイノデアリマス、附和雷同シテ、斯ノ如キ制度ニナツタナラバ極樂世界ニナル、黃金世界ニナルト言ハレタ時ニ、バアットソレニ釣込マレテシマフト云フノガ一番險惡デアル、ソレヲ批判シ、ソレヲ判斷シテ、決シテサウ云フ譯ニ世ノ中ハ行クモノデハナイ、ノミナラズ、現ニ其制度ヲ行ナツタ所ノ國ハドウデアアルカ、最モ悲惨ナ狀態ニアルデヤナイカト云フダケノコトヲ見ルコトガ出來マスカラバ、思想ノ宣傳決シテ恐ルルニ足リナイ、赤化スル氣遣ヒハナイ、ソレガ即チ其國ガ西歐羅巴ニ向ツテ宣傳ノ念ヲ絶ツテ、東洋諸國ニ向ツテ宣傳ノ手ヲ擴ゲテ來タト云フコトハ、全クソコニアル、何故カト言ヘバ、先ヅ東洋諸國ハ教育ガ幼稚デ、思想ガ固マツテ居ラナイ、之ニ向ツテ宣傳ヲスルノガ最モ效果ガ多イダラウト云フコトヲ見込ンデ、西ニ向ツタモノガ、今度ハ東ニ向ツテ燃エテ來タト云フコトガ今日ノ狀態デアル、其狀態デアルニモ拘ラズ、茲ニ防火壁ト云フモノヲ設ケナイ、コッチノ家ヲ不燃物ニシナイト云フコトハ、頗ル分ラナイ話デアル、外ノコトハ如何ニ設計ヲシ、如何ニ施設ヲシテモ、之ヲ爲サスケレバ赤化ヲ避クルコトハ出來ナイノデアル、又生活ヲ安定セザレバ到底コノ思想ノ安定ヲ得ルコトハ出來ナイト云フコトモ、是モ明カデアリマス、其生活ノ安定ハ何ニ依ツテ得ルカト云フト、産業ノ隆盛ヲ來シ、産業ノ改善ヲ行フト云フコトデアル、然ルニ今日ハ農村ハ益々疲弊スル、地方ハ益々衰微シテ、唯中央ニ人ガ集マリ、金ガ集マツテ、腦充血ノ態ニ陥ツテ居ルト云フコトハ、人々ノ憂フル所デアル、併ナガラ是ハナラザルヲ得ヌノデアル、ドウシテモ今日、農業ヲ營ンデ居ッタソデハ生活ガ出來ナイト云フコトガ益々強クナル、然ラバ茲ニ農業、漁業、林業、所謂此農林大臣ノ管轄セラルル所ノ範圍ニ於テ、總テ此産業ヲ進メルト云フコトニハ、先ヅ科學ノ應用ト云フコトガ第一大切デアル、農村電化ト云フガ、農村ノミナラズ、漁業電化、林業電化、大イニ電化ヲ行ハナケレバナ

ラス、唯電化ノミナラズ、其他ノ方法ニ於テ科學ノ知識ヲ應用シテ、收獲ヲ多クスルト云フコトガ、是ガ最モ今日ノ急務デアル、現ニコノ頭ノ古イ人ハ、能ク斯ウ云フコトヲ私ニ言ヒマシタ、ドウモ百姓漁師デヤナイカ、其百姓漁師ニ教育ヲソシナニ多ク加ヘル必要ハ無イデヤナイカ、却テソレガ惡化スル本ニナル、成程惡イ教育ヲ加ヘレバ惡化スルコトモアルカモ知レヌガ、兎ニ角産業ノ隆盛ヲ來シテ、サウシテ生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトガ大切デアル、ソレニハ即チ能率ヲ上ゲテ收獲ヲ多クスルト云フコトガ、最モ必要ナコトデアール、然ルニ即チ此人ノ言フ所ノ、漁師ニ教育ハ要ラス、其漁師ガ教育ガ無クテ今日魚ガ獲レナイト云フコトガ、今日ノ現狀デアリマス、例ヘバ昔ト違ッテ、「トロール」船ニ乗ッテ發動機ヲ使ッテ、又段々進ンダ所デハ、飛行機ヲ使ッテ、魚ノ所在ヲ探見シ、「ラデオ」ヲ使ッテ其所在ヲ知ラスト云フ……「ラデオ」ヲ使ヒ飛行機ヲ使ヒ發動機ヲ使ッテ漁業ヲ營ンデ居ルト云フ此世ニ向ッテ、ドウシテ教育ナドハ宜イト云フコトヲ言ヒ得ルカ、農業モ同ジコトデアール、私ハ此ノ自動車ヲ以テ肥料ヲ掛ケテ居ル所ノ外國ノ有様ヲ見テ來タコトガアリマシガ、其話ヲシタ所ガ大變ニ笑ハレタ、君ハ非常ニ後レテ居ル、今ハ飛行機デ以テ肥料又ハ殺蟲液ノ雨ヲ降ラシテ居ル、サウスレバ如何ナル廣イ田畑ト雖モ、忽チ此ノ肥料又ハ殺蟲液ヲ撒イテシマフノデアアルガ、今時分自動車ノ肥料撒キニ感心シテ居ルノハ、大變君モ時勢ニ後レテ居ルト云ウテ笑ハレタコトガアル、是ハ外國ノ話デアール、日本ハ小農ニシテ之ヲ採用スル譯ニハ行カヌ、併ナガラ是モ農村ガ組合ヲ爲シテ、廣イ區域ヲ組合ニ於テ一時ニ肥料ヲ掛ケルコトモ出來ルシ、其他電化シテ之ヲ行ヘバ、今日ノ時間數ト云フモノヲ非常ニ省ク、或ル人……或ル學者ノ說デハ、此ノ農業ト云フモノハ一年ニ二十四日働ケバ、一年中ノ仕事ハ出來ルモノダト、斯ウ云フコトヲ喝破シタ人ガアル、私ハ如何ニシテ二十四日出來ルカト云フコトノ説明ハ出來ナイガ、兎ニ角農業ナルモノハ所謂農閑ト云フモノガ大變多イノデアリマス、其農閑ヲ其儘空費スルト云フコトニシテ、如何ニシテ産業ノ隆盛ヲ來シ、如何ニシテ生活ノ安定ヲ得ラルノカ、決シテ得ラレナイ、ソレニハ先ヅ農家ニ副業ト云フモノガナケレバナラス、即チ此副業ノ種類ト云フモノハ種々様様アリマセウシ、又日本内地ハ無論ノコト、外國ニモ輸出スベキ所ノ、或ル種類ノ工業ノ如キモノモ、之ヲ家庭工業トシテ農家ノ副業ニシタナラバ、農家ノ生活ト云フモノハ非常ニ裕カニナルノデアリマス、是皆相當ノ知識ヲ要

スル、即チ政府ハ其必要ナル知識ハ之ヲ擴メ、又互ニ知識ヲ交換スルコトニ付テ助力スルノミナラズ、之ニ向ッテハソレヲ理解シ應用スルダケノ此頭腦ト云フモノガナケレバ、決シテ之ヲ爲シ得ナイノデアリマス、國民保健トカ公衆衛生ト云フコトヲ大變ニヤカマシク、過刻來金杉博士ノ長キ御演說ヲ承リマシタガ、ソレモ金杉君ノ言フ通りナンデ、之ヲ國民ニソレヲ受ケ入レル所ノ頭腦ガ無カッタナラバ、如何ナル名施設ヲ爲スト雖モ、何ノ價值モ奏シナイ、又今日斯クノ如ク致シマシテ、是等ノ要求ヲ滿タスガ爲ニハ、如何ニシテ之ヲ爲スカト申セバ、即チ今日ノ教育程度、所謂六年ノ義務制ト云フモノデハ、ドウシテモ是ハ爲シ得ナイノデアリマス、其兒童ノ數ナドヲ申上ゲルコトナドハ省キマスガ、之ヲ救フガ爲ニハ、ドウシテモ義務年限ノ延長ト云フコトガ必要デアリマシテ、即チ義務教育年限延長ト申セバ、先ヅ今日ニ加フルニ二年ヲ以テスル、今日ハ六年ナラバ之ヲ七年、八年、即チ八箇年制ニスル、ナゼ此ノ八箇年制ニスルカト云ヘバ、是モ明カナ話、二年ト云フモノハ、從來ノ六年ヨリハ數倍ノ效果ヲ持ツコトガ出來ル、是モ土臺ノ六年ガナケレバ、上ノ二年ハ役ニ立チマセヌガ、即チ十三、十四ト云フ……十三、十四ト云フ所ニ教育ヲ持ッテ行ケバ、是マデドウシテモ分ラナカッタコトガ直チニ分ルコトニナル、即チ十三ノ小兒ニ向ッテ分ルコトガ、十歳ノ小兒ニハドウシテモ分ラナイ、十四歳ノ小兒ニ分ルコトハ、ドウシテモ十歳ノ小兒ニ分リヤウガナイ、ソレハ異例ハアリマス、異例ハアリマスケレドモ、一般ノ平均ニ於テハ、決シテサウ云フコトハ出來ナイ、然ラバ此ノ公的生活、政治……所謂普選トカ陪審トカ云フ、公的生活ニ向ッテ、國民トシテ立派ニ活動シ得ル人トナリ、私的生活ニ於テ、其生活ノ安定ヲ得ルガ爲ニハ、相當ノ進ノダル施設ニ依ッテ、各己レノ營業ヲナスコト云フコトノ爲ニハ、ドウシテモ此ノ十三、十四ト云フ此時期ニ於テ、一般ノ教育ヲ義務トサレテ、ソレダケノ必要ナルモノヲ授ケルト云フコトヨリ外ニ、方法ハナイノデアアル、而シテ此ノ斯クノ如クシテ、教育足ラズシテ貧弱デアル生活、貧弱デアッテ仕事ガ幼稚デアルト云フコトハ、我が國內ニ於テノミナラズ、國ノ外ニ向ッテ、他ノ國ト我が國ト比較シタ上ニ於テ、國民ノ程度ガ即チ低イト云フコトデ、此ノ低イト云フコトガ、外ノ侮リヲ受ケテ、所謂此ノ人種平等ナドト云フ、唯理想ヲ說イテ見タ所デ、何シロ是ハ生活ガ低ク、衣食住ガ劣等デ、知識ガ劣等デアッタナラバ、到底コノ思想ノ安定ヲ得ルト云フコトハ出來ズ、又民族トシテノ到底

優者ノ地位ヲ占ムルコトハ出來ナイト云フコトハ、言フマデモナイコトデア
リマス、彼ノ勞働條約ニモ、此十四歳……勞働條件トシテ、十四歳以下ノモ
ノハ、工場ニ之ヲ用井ルコトハ出來ヌ、十四歳マデハ即チ教育ヲ施シテ、之
ヲ勞働ニ服セシメルコトヲシナイト云フノガ、今日ノ先ヅ勞働條件ノ最モ大
切ナル一ツニナッテ居ルノデアリマスガ、是等モ矢張り義務教育ノ年限延長ト
云フコトト、非常ニ關聯ヲ致シタコトデアリマス、併シ是ニハ斯ウ云フ……
其ノ又故障ガアル、サウシマスト云フト、此ノ工場ニ是マデ行ッテ居ッタ兒童
共ガ行ケナクナル、行ケナクナレバ……學校ニ行カナケレバナラス、工場ニ
行ケナクナレバ、ソレガ爲ニ失業スルモノガ……數万ノ失業者ガ兒童ノ中ニ
起ッテ來ル、ソレヲドウスルカト云フ、斯ウ云フ問題モアル、ソレモ甚ダ困ッ
コトデアルトハ言ヒ得ルノデアリマスガ、併シ此兒童ガ就業シテ居ルト云フ
コトハ、大人ノ職業ヲ奪ッテ居ルト云フコトデ、兒童ガ……例ヘバ五万ノ兒童
ガ茲ニ仕事ヲ得テ賃錢ヲ取ッテ居ルト云フコトハ、大人ノ五万ノ仕事ヲ奪ヒ
取ッテ居ルト云フコトデ、子供ハ働クガ親爺ハ寢テ居ルト云フコトデ、斯ウ云
フコトニナッテ居ル、今日失業ト云フコトガ大人ニ非常ニ多イ、ナゼ多イカト
云フト、子供ノ方ガ安イカラ、資本家ガ子供ヲ使ッテ大人ヲ使ハナイト云フ、
是ハ何等論ノナイコトデアル、而シテソレハ個人トシテハ兎モ角失業ハ失業
ニ違ヒナイ、併ナガラ茲ニ三十五万人ト云フ兒童ガアリマシテ、其三十五万
人ノ多數ハ皆農家ノ子弟デアリマス、農家ノ子女デアリマスガ、工業地方ニ
於テハ、斯ウ云フ工場ニ行クコトガ出來ナイト云フヤウナ支障ガ起ル、併シ
是ハ、今非常ニヤカマシイコトデアリマス、外國ノ例ヲ見マシテモ、若シ工
場ニ十四歳以下ノ子供ノ這入ッテ居ルコトヲ見タナラバ……縱令ソレガ父兄
ノ爲ニ辨當ヲ持ッテ來タ爲ニ來テ居ッテモ、工場ノ中ニ這入ッテ居ッタナラバ、其
會社ノ純益ノ一割ヲ沒收スルト云フ規則ヲ設ケタル處モ現ニ私ハ見タ、併
シソレ等ノ法ヲ現ニ日本ニ適用スルヨリモ……容易ニソレハ出來ナイコトデ
アリマセウケレドモ、兎ニ角少年ノ時ニ十分ナル榮養ヲ與ヘ、十分ナル教育
ヲ與ヘナケレバ、是ガ國家ノ非常ナ損ニナル、十四歳以下ニ於テ苦痛ナル勞
働ニ服シタル者ハ、往々四十歳ニシテ早老スル、五十歳ニ至ラズシテ最早業
務ニ就クコトノ出來ナイヤウナ羸弱者ヲ生ズル、ソレガ適度ニ働イタナラバ、
七十歳マデモ働クコトガ出來ルト云フコトガ、チャンツ統計ニ現ハレテ居ル、
ソレ等ノコトモ十分考ヘナケレバナリマセウケレドモ、併ナガラ又サウ理想

ニ走ッテ現状ヲ忘レテハナラス、併シ此現状ニ於テハ、今條約ト云フモノモ出
來テ居リマス、併シ今經過法ニ於テ、十二歳以上ノ、義務年限ヲ了ヘタナラ
バ、縱令十四歳以下デモ職業ニ就クコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマ
ス、後ニハソレハイケナクナリマスガ、兎ニ角此條約ヲ結ンデ十箇年ト云フ
モノハ、ソレガ行ケルコトニナッテ居リマスカラシテ、ソコデ義務年限延長ト
云フコト……此條約モ年數ヲ……尙ホ幾ラカ殘ッテ居リマスカ知レマセウケ
レドモ、詰リ七年ノ間之ヲ行フ、十年ノ間之ヲ行フ、短ク縮メテ五年ノ間行
フト云フコトナラバ、何等此ムヅカシイ所ノ難局ニ遭遇セズシテ、之ヲ圓滑
ニ行フコトガ出來ル、私ハマダ色々伺ヒタイコトガアリマスケレドモ、時刻
モ大變ニ迫ッテ參リマシテ、私ガアトニ殘ッテ御邪魔ヲシテハ相濟ミマセヌカ
ラシテ、大體是デ趣意ガ先ヅ分ッテ居ルダラウト思フ、即チ政府ノ爲サッタコ
トハ隨分大キナ仕事ヲサレタ、ケレドモデス、所謂畫龍ニ點睛ヲ缺イテ居ル
ト私ハ思フ、龍ヲ畫イテ睛ヲ點ズルコトヲ忘レテ居リハシナイカ、或ハ忘レ
ナイダラウケレドモ、是ハ急ノ事ト云フモノハ、今日シナケレバナラス、明
日シナケレバナラスト云フコトデアルモノダカラ、兎角是ハアト廻シニシテ、
マアソナ事ハユックリヤラウ、斯ウ云フコトデ以テ一年二年三年ト過ギテ行
クト云フコトガ、總選舉ニ直グ結果ガ現ハレテ來ル、陪審法ノ施行ニ直グ結
果ガ現ハレテ來ル、農業産業ノ發展ニ直グ支障ヲ起ス、國民生活ノ安定ヲ缺
クノミナラズ、思想ノ動搖益々甚シクアラシメテ、國家ノ基礎ヲ危クスルト云
フコトハ眼前ニ見エテ居ル、是ハ文部大臣ハ無論ノコトデアリマスケレドモ、
各大臣モ文部大臣ニ協力セラレテ、各御自分達ノ此御管轄ノ事ヲシテ十分效
果ヲ擧ゲヤウト御考ヘナラバ、先ヅ此點ニ著目サレテ、サウシテ文部大臣ト
協力サレテ、此義務年限延長ト云フ重大ナルコトヲ、一日モ速カニ御決行ニ
ナルコトヲ、私ハ希望スルノデアリマスガ、ドウ云フ御都合デアルカ、勿論
私ハ直グニ之ヲ實行スルト申シテモ急グ譯デヤナイ、成ルベク其途ヲ開カナ
クチャイカヌ、途ヲ開イタナラバ、必ズヤ有力ナル町村ハ自ラ奮ッテ之ヲ爲ス
ノデアリマス、又貧弱ナル町村モ斯クノ如ク國庫負擔額ヲ増額サレタ以上ハ、
殊ニ今申上ゲマシタヤウニ下膨レニ配當サレルト云フコトノ制度ニナッテ居
リマスカラシテ、少シク獎勵シ少シク援助シタナラバ、貧弱町村モ奮ッテ之ヲ
爲スコトニナルダラウト思ヒマスカラ、無理ナコトハ決シテ私ハ希望イタシ
マセヌガ、出來ルト云フヤウナ方法ヲ以テ之ヲ爲シ、尙ホ而モ之ヲ始メルニ

ハ一日モ一刻モ早クナサルト云フコトガ宜イト思フノデアリマスガ、ドウ云フコトノ御差支ガアルカ、其點ヲ私ハ文部大臣初メ今申シタ所ノ箇條ニ御關係ノ各大臣カラ承ハルコトヲ得タナラバ誠ニ光榮ノ至リデアリマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今鎌田君カラ教育ノ必要デアルト云フコトニ付テ詳シイ御意見ガアリマシタ、其點ニ付キマシテハ當局者ニ於キマシテモ、全ク所見ヲ同ジウスルモノデゴザイマス、思想ノ動搖ヲ防グ、是モ教育ニ依ラヌケレバナラス、赤化運動ヲ防グト云フ如キコトモ、國民ノ智德ノガヲ進メテ行ケバ、初メテ赤化防止ト云フヤウナ目的モ達スルコトガ出來ルノデアルシ、又生活上ノ安全ト云フヤウナコトニ付テモ、殊ニ今日ノ農業、水産業、其他總テ學術ノ基礎ノ上ニ進メテ參ラヌケレバナラスノデアアルカラ、是等ノ職業ニ依ツテ、生活ノ安定ヲ得ヤウトスルニハ、矢張り教育、學問ノ力ニ依ラナケレバナラスト云フ御話、是モ誠ニ當局者トシテ同感ニ存ズル所デアリマス、又公衆衛生ヲ進メルコトモ矢張り國民一般ノ知識ヲ進メテ參ラナケレバナラス點モ、是モ亦當局者ニ於キマシテハ全然御同感ニ考ヘル所デアリマス、要スルニ國民教育ノ必要ヲ御述ベニナリマシタ諸點ニ付キマシテハ、當局者ト致シマシテハ全ク感フ一ニスルノデアリマス、左様ニ教育ガ大切デアルト了解シタナラバ、宜シク速カニ義務教育ノ延長ヲ實行スベキデバナイカト云フノガ、此御尋ノ要旨デアッタ考ヘルノデアリマス、如何ニモ義務教育年限延長ト云フコトニ付キマシテハ、既ニ世論モ定マツテ居ルコトデ、成ルベク一日モ速カニ之ヲ實行イタシタイト云フコトハ、當局者ニ於テモ常ニ考ヘテ居ル所デアリマス、併シ之ニ付キマシテハ、先刻鎌田君ノ御述ベニナリマシタ通りニ、昨年モ御答ヲ申シテ置キマシタガ、相當ノ準備ヲ要スルノデアリマス、即チ第一ハ負擔デアリマス、之ト共ニ必要ナルコトハ教員ノ配置デアリマスガ、負擔ノ點ニ於キマシテハ、本年三千萬圓ノ増額ヲ見マスレバ、先ヅ之ヲ全部此教育年限延長ニ充テマスレバ、是ハ不足ハナイト思フノデアリマス、略、足リルト思フノデアリマス、此義務教育年限ヲ延長スルニ付テ、ドレ程ノ經費ヲ要スルカト云フコトハ、此延長ノヤリ方次第デアリマシテ、色々ノ計算ガ立チマスガ、先ヅ凡ソ無理ノナイ計算ト致シマシテハ、千二三百萬圓乃至千五百万圓ノ經常費ト二千萬圓内外ノ臨時費ヲ要スル次第デアリマス、ソレ故ニ本年増額イタス所ノ義務教育費國庫負擔額ヲ全部之ニ充テマスレバ、

無論延長モ出來マス、經濟ノ上カラダケ申上ゲマスレバ……併ナガラ此義務教育費國庫負擔額ヲ増額イタシマスル趣旨ハ、教育ノ改善ト云フコトモ無論一ツノ原因ヲナシテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ現在市町村ガ非常ニ負擔ニ苦シンデ居ル、殊ニ其負擔ノ中ニモ教育費ノ負擔ト云フモノガ、最モ重イノデアアルカラ、之ヲ肩替リシテ貰ヒタイト云フコトガ、亦國民ノ多數ノ希望デアリマス、此點ヲモ無視スル譯ニハ參ラスノデアリマスカラ、此本年増額イタシマスル所ノ義務教育費國庫負擔金ヲ全部之ニ充テルト云フコトハ、困難デアリマス、然ラバ其中ノドレ程ヲ充テテ宜イカト云フコトハ、是ハ餘程問題ガムツカシイ問題デアルト思フノデアリマス、又教員ノ配置ノ上カラ申シマシテモ、現在ノ小學教員、凡ソ二十萬アリマスル中デ、全然資格ノ無イ者ガ五萬人ニモ達シテ居リマス、又殘リノ十五萬ハ資格ヲ有シテ居リマスケレドモ、其中デ所謂尋常小學校正教員ノ資格ダケヲ持ッテ居ル者ガ、五萬人モ居ルノデアリマス、即チ今回延長ヲ致サムトスルノハ、高等小學校ノ程度デアリマス、此高等小學校ノ程度ニ適スル教員ハ、今日ノ所ニ於テマダ十萬シカナイ有様デアリマス、此際ニ高等小學校ノ學級ヲ俄カニ増加イタスト云フコトハ、教員ノ配置ノ上カラ誠ニ困難ヲ感ズルノデアリマス、折角義務教育年限ヲ延長イタシマシテモ、適當ナル教員ヲ得マセヌケレバ、相當ノ效果ヲ舉ゲルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、此點カラ見マシテモ、之ヲ即行スルト云フコトニ付テハ、大イニ考慮ヲ要スルト思フノデアリマス、併ナガラ鎌田君モ御述ベニナリマシタヤウニ、數年ノ後ヲ期シテ漸次其域ニ達スルト云フヤウナ計畫ヲ立テルコトハ、是ハ強チ不可能ナコトデナイト考ヘルノデアリマシテ、當局者ニ於キマシテハ、此點ニ付テハ唯今考慮ヲ致シテ居リマス、研究モ致シテ居ルノデアリマシテ、成ルベク速カナル機會ニ於テ是ガ實現イタスコトヲ努メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、デ鎌田君ハ、私ガ嘗テ、義務教育費、國庫負擔額ガ二千萬圓デアリマシタカ、三千万圓デアリマシタカ、増額ニナツタ場合ニ、此機會ニ何故ニ積極的ノ施設ヲシナイノデアアルカト云フ御尋ヲシタト云フコトヲ御述ベニナリマシタガ、如何ニモサウ云フコトヲ私ハ記憶イタシテ居ルノデアリマス、デ、然ラバ今日相當積極的ノ施設ヲスベキ時期デハナイカト云フ御尋デアルト思フノデアリマスガ、私ハ其點ニ付キマシテハ、昨年以來相當積極的ノ施設ヲ致シテ居ル積リデ居ルノデアリマス、勿論今日ノ經濟ニ於キマシテ、ナカク、思フヤウニ任セマセヌケレドモ、宛ニモ角ニモ今日ノ經濟ノ許

ス限リニ於キマシテハ、地方教育ノ爲ニ多少ノ積極的計畫ハ立ッタト思フノデアリマス、彼ノ師範教育ノ改善ノコトデアリマシテモ、即チ是ハ義務教育年限延長ノ準備ノ積リデアリマス、即チ數ヲ増スト云フコトガ其準備ノ一ツデアリマスシ、又質ヲ良クシテ殊ニ農工業或ハ商業、水産等ノ、生活ニ直接關係ノアリマス課程ニ力ヲ用井テ、即チ生活ノ安定ヲ教育ニ依ッテ得サセヤウト云フ意味合ニ於キマシテ、此師範學校ノ專攻科ノ如キハ特別ナル施設ヲ致スコトニ計畫ヲ致シヤウナ譯デアリマス、又本年カラ此青年ノ訓練ト云フコトヲ致スノデアリマスガ、是モ矢張り積極的施設ノ一ツデアルト云フ積リデアリマス、此青年訓練ト云フコトハ、過日モ申上ゲマシタガ、單ニ兵式訓練ヲ致スバカリデハナク、兵式訓練ノ外ニ普通教育モ授ケマスシ、又公民教育、先刻鎌田君ノ必要ヲ御述ベニナリマシタ、此普通選舉ヲ實行スルニ最モ直接ナル關係ヲ有スル所ノ此公民教育ト云フモノモ、此青年訓練ノ中ニ於テ行フ積リデアリマスシ、又生活ノ基礎トナル所ノ智識ヲ授ケル目的ヲ以テマシテ、職業教育ノコトモ、此青年訓練ノ中ニ於テ授ケル積リデアリマス、勿論此青年訓練ハ時間モ少ナウゴザイマスシ、又家業ニ從事シテ居ル者ヲ、時ヲ期シテ訓練ヲ施スノデアリマスカラシテ、十分ナル效果ハ到底期セラレマセヌデアリマスケレドモ、併ナガラ數年ニ互リマシテ、此訓練ヲ施シマシタナラバ、必ズヤ相當ナル效果ハ認メルコトガ出來ヤウカトモ思ヒマス、即チ積極的ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ヤウカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ是ハ豫算ニハ計上サレテ居リマセヌガ、高等小學ノ改善ヲ圖ルト云フ積リデアリマス、是ハ高等小學ノ改善ト云フモノモ、先刻鎌田君ノ御述ベニナリマシタ、此ノ農工商ノ總テノ生活ニ關係ノアル事柄ニ直接ノ關係ヲ持ッテ居リマス所ノ學課ニ最モ重キヲ置キマシテ、教育ヲ施サウナ改善ヲ致ス積リデアリマス、又其他成人教育ト云フガ如キコトモ、是モ規模ハ甚ダ小サイノデアリマスケレドモ、矢張り積極的ノ一ツデアルト云フ積リデアリマス、勿論是等ノ積極的ノ施設ヲ以テ十分ハ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、私ハ是等ニ依リマシテ、必ズ相當ナル效果ヲ舉ゲルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、唯、此際直チニ義務教育年限延長ト云フコトニ付テ著手スルコトノ出來ナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、是ハ十分ニ調査研究ヲ致シマシテ、成ルベク近キ將來ニ於テ、ソレハ著手スルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○鎌田榮吉君 此點ニ付キマシテ、内務大臣トシテ御答辯ハゴザイマスカ、

總理大臣竝ニ内務大臣トシテノ御意見ヲ伺ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 鎌田君ガ、思想ヲ堅實ニスル爲ニモ、生産ヲ盛ニスル爲ニモ、總テノコトハ土臺ハ人間ヲ造ルニアルト思フ、ソレガ爲ニハ今日ノ義務教育ノ年限ヲ延長シテ、モット普通教育ニ付テ充實ヲ圖ル方ガ宜シイト云フ御意見ニ向ッテ、其御趣旨ニハ私共全然御同感デアアルノデアリマス、此點ニ付テハ文部大臣カラ詳細ニ御答ヲシタノデアリマシテ、私ハ文部大臣ト全ク同一ナル意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、唯、今回ノ義務教育費國庫負擔金増加ノ場合ニ於テ、直チニ義務教育ノ年限延長ト云フコトニ著手ヲ致シマセナシタノハ、唯今文部大臣ノ述ベマシタ通り、今日市町村ニ於ケル負擔ハナカク、輕クナイ、農村ガ疲弊シテ居ルナント云フコトヲ申シマス、其原因ハ、負擔ガ重イト云フコトニアラウト思フ位デアリマス、而シテ市町村ノ負擔ノ輕クナイト云フ主ナル原因ハ、矢張り教育費ガ其中ノ大部分ヲ占メテ居ルト思フノデアリマス、其負擔ガ輕クナイ、何トカ之ヲ輕減セナケレバナラヌ、其元ガ教育費デアルト云フナラバ、教育費ノ國庫負擔金ノ方ヲ増加シテ此儘放任シテ置ケバ、或ハ町村ノ負擔ヲ輕クスル爲ニ現在使ッテ居ル教育費ヲモ減少スル、ト云フヤウナ考ノ起ラヌデモナカラウト思フノニ對シテ、國庫カラ之ヲ負擔金ヲ増加スルト云フコトデ、現状ハ固ヨリ之ヲ維持スルト云フコトニナリマスレバ、矢張り一方ニ於テハ負擔ノ若干ノ輕減ニナリ、而シテ一方ニ於テハ教育ヲドコモデモ尊重シテ行クト云フ精神ヲ貫徹スルコトニナルノデアリマス、此際ハ兎ニ角負擔ノ輕減ノ方ニ此義務教育費國庫負擔金ヲ向ケテ行クヤウニスル、左様ニシテ、地方ノ力ヲ養ヒマシタナラバ、其中ニ地方ノ力ヲ増進シテ參ルノデアリマスカラ、御意見ニナッテ居ル所ノ義務教育ノ年限延長ノ財源モ、自ラ其間カラ生ジテ來ル時ガ來ルト思フノデアリマス、ソレ故ニ義務教育ノ年限ヲ延長シナケレバナラヌト云フ御論ニ對シテハ、私モ亦早晚其實行ヲ見ナケレバナナルマイト存ジマスガ、今直チニ之ヲ實現スルト云フコトハ、文部大臣ノ詳細ニ述ベマシタ通り、又私、唯今申上ゲルヤウナ理由ニ依ッテ、直チニ著手スルト云フコトハ困難デアリマスガ、御趣旨ニ於テハ全然御同感デアルト申上ゲナケレバナリマセヌ

○鎌田榮吉君 唯今ノ總理大臣、文部大臣ノ御答辯ニ對シマシテ感謝イタシマス、尙ホ諸大臣ヨリ伺ヒタイコトモアリマスガ、併ナガラ時刻モ迫ッテ居ル

ノデ、他ハ豫算委員會デ……成程御尤デハアリマスケレドモ、併ナガラ此ノ農村ノ疲弊ト云フコトハ教育費ノ壓迫モアリマス、他ノ費用ノ壓迫モアリマスケレドモ、要スルニ農民ノ力ガ足りナイ、其頭腦ガ發達シテ居ナイ、從テ産業上ノ萎縮シテ居ルト云フコトガ、地方農村荒廢ノ本ニナツテ居ル、ソレヲ何時マデ經テモ、唯、國庫負擔額ヲ今ノ倍ニシテ行ツタ所ガ、ソレガ爲ニ決シテ農村ハ富裕ニナラナイ、須ラク農民ト云フモノヲ解シテ、サウシテ今日農閑ノ時ヲ空費シテ居ルナラバ、之ニ副業ヲ與ヘ、其副業ヲ有效ニナサシムルニハ、相當ノ知識ト頭腦ヲ持タナケレバナラス、是ハ各大臣ノ仰セデハアリマスケレドモ、矢張り其ノ本ヲ努メズシテ、到底枝ハ張ラナイノデアリマスカラ、少シ本末ヲ顛倒シテ御考ヘニナツテ居ルト思フ、成程目前ノコトニ追ハレルコトハ已ムヲ得ザルコトデ、殊ニ政治家ハ其事ニ常ニ御苦心ニナツテ居リマスケレドモ、其根本ニ培ハズシテ末ノ案ヲ立テルト云フコトハ、到底望マレヌ、何レノ時ニカ英斷ヲ以テ本ヲ培フト云フコトヲセヌ以上ハ、何時マデモ其疲弊ト云フコトガ絶エナイト私ハ思フ、併ナガラ是レ以上ハ議論デアリマスルカラ、唯今ノ御辯明ハ拜承イタシマシタ、是デ私ハ……

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 是ニテ日程第一及第二ニ對スル質疑通告者ノ御質疑ハ終了イタシマシタ

○伯爵林博太郎君 唯今、日程ニ上ボツテ居リマスル大正十五年度歳入歳出總豫算並各特別會計豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、右諸案ノ審査期限ハ、本日ヲ加ヘテ二十一日間、即チ來ル三月二十三日ヲ以テ審査期限ト致シタイ、右動議ヲ提出イタシマスカラ、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○男爵阪谷芳郎君 賛成

○鎌田榮吉君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 日程第一、第二ニ對シテ、林伯爵カラノ此審査期限ヲ本月二十三日迄トスルトノ動議ニ御賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 過半数ト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 日程第三、日本興業銀行外二銀行ノ對支借款

關係債務ノ整理ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年二月二十七日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵德川家達殿

第一條 政府ハ日本興業銀行、臺灣銀行及朝鮮銀行(以下三銀行ト稱ス)ヲ

シテ左ノ各號ノ借款前貸及借款ニ關シ其ノ負擔スル債務ノ整理ヲ爲サシムル爲三銀行ニ對シ本法ノ定ムル所ニ依リ國債證券及現金ヲ交付ス

一 三銀行ノ中華民國政府ニ對スル大正七年六月十八日契約ノ吉會鐵道借款前貸一千萬圓、大正七年九月二十八日契約ノ滿蒙四鐵道借款前貸二千萬圓及山東二鐵道借款前貸二千萬圓

二 中華匯業銀行ノ中華民國政府ニ對スル大正七年四月三十日契約ノ有線電信借款二千萬圓及大正七年八月二日契約ノ黑吉兩省金鑛森林借款三千萬圓ノ資金調達ノ爲ニ爲シタル三銀行ノ同行ニ對スル借款

第二條 本法ニ依リ三銀行ノ整理スヘキ債務及其ノ金額ハ左ノ各號ニ定ムルモノトス

一 第三回政府保證興業債券二千萬圓、第四回政府保證興業債券三千萬圓、第五回政府保證興業債券米貨二千二百萬弗及第八十一回興業債券四百六十七萬圓ノ元利支拂ニ必要ナル金額

二 前號ノ外第一條ノ借款前貸及借款ニ關シ三銀行ノ負擔シタル金額四千五百三十五萬圓

第三條 政府ハ三銀行カ第四回政府保證興業債券及第八十一回興業債券ヲ直ニ買入償還スル爲必要ナル金額ニ相當スル價額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス

第四條 政府ハ三銀行カ第三回及第五回政府保證興業債券ヲ其ノ償還期ニ

於テ償還スル爲必要ナル金額ニ相當スル價額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス

前項ノ規定ニ依リ國債證券ヲ交付スル迄政府ハ前項ノ興業債券ノ利子支拂ニ必要ナル金額ヲ其ノ支拂期ニ於テ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ現金ヲ以テ交付ス

第五條 政府ハ三銀行カ第二條第二號ニ規定スル債務ヲ直ニ整理スル爲必要ナル價額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス

第六條 政府ハ本法ニ依リ三銀行ニ交付スル爲一億四千四百萬圓ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行スルコトヲ得

第七條 本法施行後三銀行カ中華民國政府又ハ中華匯業銀行ヨリ第一條ノ借款前貸及借款並左ノ各號ノ借款ニ關シ元利金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ政府ニ納付スベシ

一 第一條ノ借款前貸ニ關シ三銀行ト中華民國政府トノ間ニ成立シタル大正十二年六月二十八日ノ利拂借款七百九十九萬七千八百八十一圓八十八錢、大正十三年九月十三日ノ利拂借款五百二十八萬六千八百二十圓五十一錢及大正十四年七月十五日ノ利拂借款五百三十萬圓

二 第一條ノ借款ニ關シ三銀行ト中華匯業銀行トノ間ニ成立シタル大正十一年一月十五日ノ利拂借款百十萬二千五百圓、大正十二年十月二十四日ノ利拂借款五百五萬三千九百九十五圓九十八錢、大正十三年九月十三日ノ利拂借款六百六十八萬二千九百十六圓七十一錢及大正十四年四月十六日ノ利拂借款二百十八萬四千九百五十五圓二十九錢

三 第一條ノ借款前貸及借款並前二號ノ借款ニ關シ本法施行後成立スルコトアルヘキ借款

政府ハ必要アリト認ムルトキハ三銀行ヲシテ前項ノ元利金ノ納付ニ代ヘ

借款前貸又ハ借款ニ關スル權利ヲ無償ニテ政府ニ讓渡セシムルコトヲ得

第八條 三銀行ハ第一條各號及前條各號ノ借款前貸及借款ニ關スル一切ノ事項ニ付政府ノ指揮命令ヲ受クヘシ

第九條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(濱口雄幸君) 唯今議題トナリマシタル日本興業銀行外二銀行ノ

對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案ニ付キマシテ、大體ノ説明ヲ致シタ
イト思ヒマス、曩ニ大正七年、寺內內閣當時ニ成立イタシマシタル對支那政
府借款ノ中、有線電信借款二千萬圓、吉會鐵道借款前貸一千万圓、黑吉林鐵
借款三千万圓、滿蒙四鐵道借款前貸二千万圓及山東二鐵道借款前貸二千万圓、
合計一億圓ト申シマスルモノハ、日本興業銀行、臺灣銀行並ニ朝鮮銀行ノ三
銀行カラ、直接ニ又ハ中華匯業銀行ヲ經由イタシマシテ、支那政府ニ貸付ケ
タルモノデアリマス、然ルニ此借款資源ノ調達ニ付キマシテハ、政府ハ之ニ
多大ノ援助ヲ與ヘマシテ、即チ借款資源タル一億圓ノ興業債券ニ對シマシテ
ハ、大正七年、第四十回帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、政府ニ於テ之ガ元利拂
ノ保證ヲ致シマシタルミナラズ、其發行差減額ヲ補填スルガ爲ニ、大藏省預
金部ハ別ニ五百萬圓ノ興業債券ヲ引受ケマシテ、三銀行ニ融通シタルノ事實
ヲ存スルノデアリマス、然ルニ右一億圓借款ノ經過ヲ見マスルニ、借款元本
ノ償還期ノ到來シタルモノガアリマスケレドモ、一トシテ其償還ヲ受ケタル
コトガナク、又利子ニ付キマシテモ、現金ノ受入ノアリマシタモノハ極メテ
小部分デアリマシテ、而モソレハ主トシテ借款元資金ノ一部ヲ振替充當シタ
ルモノデアリマス、即チ大部分ノ利子ハ延滞ヲ重ネマシテ、或ハ之ヲ利拂借
款トシテ書替整理スル等、姑息ノ手段ヲ講ジテ、今日ニ及ンダ次第デアリマ
ス、右三銀行ガ一億圓借款ニ關シマシテ、支那政府ニ對シテ有スルニ至ッタ債
權額ノ大正十四年十二月末現在ヲ示シマスレバ、元借款一億圓、利拂借款三
千三百餘萬圓、未收利息五百餘萬圓、合計一億三千八百餘萬圓ノ巨額ニ上ボッ
テ居ルノデアリマス、翻ッテ、三銀行ノ狀態如何ヲ見マスルニ、其業務上、右

一億圓借款ニ禍セラレタル所、甚大ナルモノガアルノデアリマス、蓋シ三銀行ハ、既ニ述ベマシタ通り、支那政府ノ借款元利ノ支拂ガ延滞ヲ致シ、現金ノ受入ガ無イニ拘ラズ、借款資源トシテ發行イタシマシタル所ノ興業債券ニ對シマシテハ、之ガ元利ノ支拂ヲ確實ニ履行シナケレバナライ所ノ地位ニ立ッテ居リマシテ、元金ニ付キマシテハ、債務ノ償還期限ガ到來イタシマスル毎ニ、政府保證ノ下ニ借替興業債券ヲ發行イタシマシテ、償還資金ヲ調達スルコトガ出來タノデアリマスルケレドモ、利子ノ支拂竝ニ經費ノ支辨ニ付キマシテハ、三銀行ハ其資ニ充ツルガ爲メ、大正十二年大藏省預金部カラ千三百萬圓ノ融通ヲ受ケマシタル外ハ、全部自行ノ一般資金ヲ之ニ充當スルノ外、途ガアリマセヌノデ、其金額ハ最近マデニ二千數百萬圓ニ及ンデ居リマス、而シテ是等ノ興業債券以外ノ調達資金ニ對シマシテモ、亦利子ノ支拂ヲシナケレバナラスノデアリマスルカラ、之ガ爲メ三銀行ノ負擔ハ累年増加ヲ見ルノデアリマシテ、現狀ノ儘デ推移イタシマスレバ、右借款資金ニ對シマスル利子ノ負擔額ハ年々累増イタシマシテ、大正二十二年ニ至リマスレバ年額二千萬圓ヲ超過スル計算ニナリマシテ、到底三銀行ノ負擔シ得ザル所デアルト云フコトハ、説明ヲ要シナイ所デアリマス、此對支借款整理ノ方策ト致シマシテハ、債務者タル支那政府ヲ督促ヲ致シ、借款元利ノ支拂ヲ確保スルト云フコトハ、固ヨリ當然ノ措置デハアリマスケレドモ、支那ノ財政ノ現狀ニ於キマシテ、俄ニ所期ノ目的ヲ達スルコトハ困難デアリマス、偶、昨年十月關稅特別會議ノ開催ヲ見ルコトト相成リマシテ、外債整理ノ問題ニ曙光ヲ認ムルコトトナリマシタケレドモ、果シテ如何ナル時期ニ如何ナル程度ニ於テ、右借款元利ノ回收ヲ確保スルコトガ出來ルカト云フコトハ、俄ニ豫斷シ難イ所デアリマシテ、從テ此故ヲ以テ財界ノ整理ノ一大障礙タル所ノ本問題ヲ、未解決ノ儘ニ放任スル譯ニハ參ラヌト思フノデアリマス、即チ政府ハ借款成立當時ノ事情及之ガ資源調達ノ沿革ニ照シ、又三銀行ノ窮狀及一般財界ノ狀態ガ、本件ノ解決ヲ此上遷延スルコトヲ許サナイモノガアルト云フコトニ鑑ミマシテ、茲ニ之ガ整理ノ方策ヲ講ズルコトニ決心シタ次第デアリマス、今回政府ノ提案イタシマシタル所ノ整理方法ノ大要ヲ申上ゲテ見マスレバ、先ヅ三銀行ノ債務ノ中デ、預金部ノ引受保有ニ係ル所ノ興業債券現在額三千四百餘萬圓、預金部ノ指定預金千三百萬圓、竝ニ三銀行ノ本年度末マデノ自行資金充當額二千七百餘萬圓、是等ハ明年度ヲ初メニ之ヲ償還又ハ決濟セシムルガ

爲、之ガ所要ノ資金ニ相當スル所ノ五分利公債ヲ三銀行ニ交付スルコトニ致シ、殘餘ノ公募ニ依ル所ノ興業債券二千萬圓及米貨ノ分二千百萬弗ニ付キマシテハ、償還期到來ノ都度、之ガ償還ニ充テシムルガ爲ニ、三銀行ニ對シテ所要資金ニ相當スル五分利公債ヲ交付スルノデアリマス、而シテ右公募ニ係ル興業債券ノ償還ニ至リマスルマデノ期間中ハ、其利子支拂所要額ニ相當スル元金ヲ、利子ノ支拂期ニ於テ三銀行ニ交付スルコトニ致ス計畫デアリマス、右ノ案ニ依レバ、公債ノ交付ハ大正十五年度カラ十八年度ニ互リ、其總額時價一億四千二百餘萬圓、現金ノ交付モ大正十五年カラ十八年度ニ互ッテ、其總額七百餘萬圓トナルノデアリマス、終リニ本案實行後ニ於ケル政府ト三銀行トノ關係ニ付キマシテハ、政府ハ特ニ必要アル場合デナケレバ、三銀行ノ對支借款關係ノ權利ヲ承繼イタシマセヌ、三銀行ハ依然トシテ支那政府又ハ中華匯業銀行ニ對シマシテ債權者タル所ノ地位ヲ存續セシメ、其代リ右公債及現金ノ交付ニ對スル代償ト致シマシテ、將來、支那政府又ハ中華匯業銀行カラ本借款關係ノ元利ノ支拂ヲ受ケマシタトキハ、直チニ之ヲ政府ニ納付セシムルコトト致シタノデアリマス、以上ハ本案ノ大體ノ説明デアリマスルガ、尙ホ詳細ノ點ニ涉リマシテハ、委員會ニ讓ルコトト致シタイト思ヒマス、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ書記官ヲシテ特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案特別委員

伯爵 堀田 正恒君 子爵 渡邊 千冬君 子爵 舟橋 清賢君

淺田 德則君 男爵 千秋 季隆君 高田 早苗君

尾崎 元次郎君 太田 清藏君 若尾 謹之助君

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第四、造幣局工場其ノ他改築費ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、武內政務次官

造幣局工場其ノ他改築費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十五年二月二十七日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

造幣局工場其ノ他附屬設備ノ改築ニ要スル經費ニ充用スル爲造幣局資金ノ内百十二万三千八百八十八圓ヲ限り大正十五年度乃至大正十七年度ニ互リ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 花ノ名所トナツテ居リマスル造幣局、大阪ノ櫻ノ宮ニ在リマスル造幣局ノ鑄造工場ハ、明治二年ニ香港ノ造幣局ヲ買入レテ建築イタシマシタモノデアリマシテ、石造煉瓦造ノ工場デアリマスケレドモ、耐震ノ設備ノ無イノハ申上ゲル迄モナク、此建造後ニ六十年ヲ經過イタシマシタカラ、建物ノ一部ガ沈下シテ龜裂ヲ生ジテ居リマスノデアリマス、強度ノ地震ニ遭遇イタシマスルナラバ崩壊ヲスルト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマス、デ多數ノ職工職員ヲ使ツテ居リマスノデ、危険ヲ感ジマスカラ、速ニ改築ノ必要ガアルノデアリマス、仍テ豫算案ニ計上イタシマシタ通り、總額百十二万三千八百八十八圓ヲ大正十五年度乃至十七年度ノ繼續事業トシテ施行スルコトニ致シマシタ、而シテ之ガ財源ハ、財政上ノ都合ニ依リマシテ毎年度豫算ノ定ムル所ニ從ヒマシテ、造幣局資金ノ中ヨリ工事費ヲ一般會計ニ繰入レルノ必要ガアリマスノデ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ、書記官ヲシテ特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

造幣局工場其ノ他改築費ニ關スル法律案特別委員

伯爵二荒 芳徳君 子爵西尾 忠方君 子爵三室戸 敬光君
土方 寧君 男爵黒田 長和君 澤柳 政太郎君
森本 善七君 濱口 儀兵衛君 高廣 次平君

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 日程第五、京都高等工藝學校移轉改築費ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、文部大臣

京都高等工藝學校移轉改築費ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年二月二十七日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷 義三

大正十五年度乃至大正十八年度ニ互リ施行スル京都高等工藝學校ノ移轉改築ニ要スル經費ニ充用スル爲學校及圖書館資金ノ内百六十萬圓ヲ限り一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 京都市ニ於キマシテ都市計畫事業ヲ實行スルコトトナリマシテ、現在ノ京都ノ高等工藝學校ハ、道路ノ爲ニ著シク其敷地ヲ削減セラレルコトニナリマシテ、到底從來ノ位置ニ居ルコトガ出來ナクナリマシタノデ、移轉改築ノ必要ニ迫ラレルコトニ相成リマシタノデアリマス、仍テ之ニ要シマスル經費ノ財源ト致シマシテ、百六十萬圓ヲ學校及圖書館資金ヨリ一般會計ニ繰入レルコトニ致サムトスルノデ、本案ヲ提出イタシタノデアリマス、簡單ナ案デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望シテ置キマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 本案ハ日程第四ノ法律案ノ特別委員ニ付託スルコトニ致シマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 日程第六、簡易生命保險法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、小松謙次郎君

簡易生命保險法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年二月二十三日

右特別委員長

小松謙次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小松謙次郎君演壇ニ登ル〕

○小松謙次郎君 簡易生命保險法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、本月二十日竝ニ二十三日ノ兩日ニ於キマシテ、委員會ヲ開會イタシマシテ、正副委員長ノ選舉ヲ終リ、直チニ質問應答ヲ重ネマシタガ、

其結果、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決スベキモノト決定イタシマシタ、本案ハ簡易生命保險法中第四條ノ、三百五十圓トアルノヲ、四百五十圓ニ改メルト云フ案デアリマシテ、至ッテ簡單ナル案デアリマスルガ、此歴史竝ニ種々ノ關係ニ於キマシテ、最も重要ナル意義ヲ有スルモノデアリマス、既ニ此法案ノ大正四年ニ當議會ニ提出セラレマシタ際ニ當リマシテ、政府ノ提案三百圓ト云フコトハ普通保險業者ノ營業ニ大イニ妨害ヲ與ヘルモノデアルトノ理由ヲ以チマシテ、此議場ニ於テ非常ナル論戰ヲ闘ハシタコトガアルノデアリマス、當時、兩院協議會ノ結果、三百圓ヲ改メテ二百五十圓ト相成リマシタヤウナ歴史ヲ有スルノデアリマス、其後、大正十一年ニ之ヲ三百五十圓ト改メマシテ、今回再び四百五十圓ニ之ヲ増額スルコトニ相成リマシタ次第デアリマス、近來、社會政策ニ關スル立法ハ漸ク繁キヲ加フルニ至リマシタガ、此法律ノ如ク優秀ナル成績ヲ舉ゲタモノハ、多ク其例ヲ見ザル所デアリマス、此十年間ニ於キマシテ保險ノ契約ヲ致シマシタ者ノ累計ガ、殆ド一千万人ニ達シテ居ルノデアリマス、而シテ其保險契約ハ總計十二億圓ニ達シテ居ルノデアリマス、而シテ其九千万圓ト云フモノノ大部分ハ、總テ社會政策ノ施設ニ對シテ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯様ナ良好ナル成績ヲ舉ゲマシタト云フコトハ、當局者ノ宣傳獎勵ニ關スル努力ノ大ナルコトヲ認メルノデアリマスカ、抑、此普通保險業者カラ無關係ノ地位ニ置カレタル所ノ國民ノ多數ガ、此簡易保險ニ依リマシテ今ノヤウナ大數ノ契約ヲ見ルト云フコトニナリマシタト云フコトハ、誠ニ驚異ニ値スルノデアリマス、今般此三百五十圓ヲ四百五十圓ニ上ゲマスルニ付キマシテ、政府當局ノ説明ヲ致シマシタ理由ハ、第一ハ立法當時ニ比較シマシテ物價ノ指數ガ恰モ四百五十圓位ニナルト云フコトデアリマス、第二ハ、此豫定死亡率ニ對スル危險率ガ、四百五十圓程度デアリマスレバ、此會計ヲ維持シテ行クノニ丁度都合ガ好イト云フコトデアリマス、ソレカラ又第三ハ、普通保險ニアリマシテハ五百圓……保險額五百圓未滿ノ數ハ僅ニ六千件デアリマス、新契約ハ僅ニ六千件位シカナインデアリマス、之ニ反シテ五百圓ニナリマスルト云フト十六万ヲ算スルヤウナコトデアリマスルガ故ニ、成ルベク此普通保險業者ノ營業ノ範圍ヲ侵スコトナクシテ、互ニ相協調シテ此保險ノ事業ヲ進メタイ、斯ウ云フ趣意ニ出デタモノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、是等ノ理由ノ中、第二ノ保險ノ危險率ニ關係ア

リト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、尙ホ疑ノ餘地ヲ存スルノデアリマスカ、兎ニ角、普通保險ノ營業者ノ範圍ヲ侵サズシテ擴張シ得ルト云フコトニ付テハ、非常ニソレハ宜カラウト云フコトデ、之ヲ可決イタシマシタヤウナ次第デアリマス、勿論、段々保險金額ハ、簡易保險ト云ヒ、普通生命保險ト云ヒ、何レモ漸次巨額ニナリツツアリマシテ、此趨勢ヨリ致シマスレバ、今後數年ノ後ニハ、更ニ之ヲ擴張シテ一千圓以下ニモスルト云フヤウナ時機ガ到來スルデアラウト考ヘル次第デアリマス、右様ナ次第デアリマシテ、委員會ニ於テハ何等ノ議論ナク、全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デアリマス、此段御報告イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 過半數ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 本案全部ヲ議題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 諸君ニ於テ御異議ガゴザイマセヌケレバ、第七ヨリ第九マデノ法律案ヲ一括シテ議題ニ供シ、委員長ノ報告ヲ煩ハシタイト存ジマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第七、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、日程第八、農工銀行法中改正法律案、政府提出、第九、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、大河内子爵

日本勸業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月一日

右特別委員長

子爵 大河内 輝耕

貴族院議長公爵德川家達殿

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月一日

右特別委員長

子爵 大河内 輝耕

貴族院議長公爵德川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月一日

右特別委員長

子爵 大河内 輝耕

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 三案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ一括シテ御報告申上ゲマス、此三案ノ委員會ハ二回開キマシテ、審議ノ末、政府ノ提案通り可決イタシマシタ、本案ノ要旨ハ大抵御承知ノコトト思ヒマスガ、説明ノ順序上一通り申上ゲマス、其主要ナル改正ノ要點ハ四ツゴザイマス、第一點ハ北海道拓殖銀行ニ對シマシテ、鐵道軌道ヲ抵當トシテ貸付ヲスル所ノ途ヲ開クコト、第二ハ耕地整理組合ニ對シマシテ、是ハ從來ノ耕地整理組合ニ準ジマシテ、無擔保貸付ノ途ヲ開クコト、第三ガ重要輸出品工業組合ニ對シマシテ、是ハ産業組合、漁業組合ノ例ニ倣ヒマシテ、無擔保貸付ノ途ヲ開クコト、第四ハ重要輸出品工業組合竝ニ漁業組合ニ對シマシテ、是ハ産業組合ノ例ニ倣ヒマシテ、當座貸越竝ニ手形割引ノ途ヲ開クコト、此四ツガ改正ノ要點デゴザイマスガ、之ニ對シテ質問應答ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、農工銀行ニ對シテハ、府縣ニ貸付ノ途ヲ開カレタラドウカト斯ウ云フ御質問ガアッタ、之ニ對シマシテ政府ノ意見ト致シマシテハ、農工銀行ノ資力ハマダ十分デナイ、主義ニ於テハ必シモ惡クハナイガ、今ノ農工銀行ノ資力ハ、直チニ之ヲ認メルト云フコトハ大ニ考慮ヲ要スルコトデアアル、斯ウ云フコトデゴザイマス、次ニ水産組合モ漁業組合ト同ジヤウナ取扱ガ出來ナイカ、斯ウ云フヤウナ質問ガアッタ、之ニ對シテハ水産組合ト云フモノハ今仕事ヲシテ居ルノデハナイ、主トシテ研究ノコトヲヤツテ居ルノデアアルカラ、是ハ今、漁業組合ト同ジヤウニ見ルト云フコトハ、少シ穩當ヲ缺クコトデヤナイカ、斯ウ云フ政府ノ意見デゴザイマシタ、尙ホ其他ニ市街地ノ貸付ノ制限ヲモウ少シ寬大ニシテ貰ヘマイカ、斯ウ云フ質問モアッタ、ソレニ對シマシテ政府ノ方針トシテハ、都會ト云

ヒ、農村ト云ヒ、何レニ偏重偏輕ハナイ、併シ此問題ニ付キマシテハ、今當局ニ於テ研究中デアルカラ、能ク研究ヲシテ、他日何トカ相當ノ方法ヲ取ラウ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ次ニ、斯ウ云フ風ニ段々三銀行ノ貸付ノ範圍ガ擴マツテ來ルト云フコトニナルト、勢ヒ三銀行ノ増資ヲ要スルコトニナリハシナイカ、其點ノ計算ハドウデアルカ、サウ云フ質問ガアツタ、ソレニ對シテ政府ノ答辯ハ、普通ノ債券ノ發行額ニ對シテ、資金ガ大分餘裕ガアルカラ、今、是ノ用途ヲ開イタカラト云ツテ、直チニ増資ヲスルト云フ必要ハ認メテ居ラナイ、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソレカラ最後ニ、斯ウ云フ風ニ特殊銀行ノ營業ノ範圍ヲ段々擴メテ來ル、是ハ一體下コマデ擴メル、餘リ擴メルト普通銀行ノ領域ヲ犯スコトニナル、此邊ノ政府ノ意見ハドウデアラウカ、之ニ對シマシテハ、政府トシテハ決シテ普通銀行ノ領域ヲ犯スヤウナコトハ考ヘテ居ラナイ、今回擴張シタモノハ悉ク特殊ノ性質ヲ帶ビタモノバカリデアアル、尤モ此中ニハ手形ノ割引トカ、當座貸越タトカ、幾ラカ短期ノ資金ノヤウナモノモ有ルケレドモ、是ハ從來、議會カラモ度々希望モアリ、ソレニ應ジテヤツタコトデアラカラト云フ御答デアリマシタ、大要右ノ様ナ問答デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ政府ノ提出案ヲ可決イタシマシタ、以上御報告申上ゲマス

○男爵阪谷芳郎君 委員長デモ宜イ、政府デモ宜イガ御尋ネ致シマス、此文ノ中ニ郡ヲ削ルト云フコトガ方々ニ見エテ居リマスガ、郡ヲ削ルト云フコトハ郡役所廢止問題ト關係ガアリマスカ、ゴザイマセヌカ、チヨット伺ヒマス

○子爵大河内輝耕君 此問題ニ付キマシテハ、委員會デハ別ニ質問ハゴザイマセヌデシタ、唯非公式ニ承ツテ居リマス所ニ依リマス、是ハ郡制廢止ノ結果ダサウデアリマス、郡役所ノ廢止トハ直接關係ナイト云フコトデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 若シ郡役所廢止問題ト關係ガアリマスナラバ、是ハ此際議事ノ進行ヲ暫ク見合セテ置ク方ガ宜カラウト思フ、如何トナレバ、郡役所廢止ト云フコトニ付テハ、我ガ同僚中ニモ餘程御反對ノ人モアルヤウデアアル、私ハ別ニ此事ニ付テハ意見ヲ主張シテ居ル者デハアリマセヌガ、若シ之ヲ衆議院ノ方ヘ廻シマスレバ、郡役所廢止反對ヲ主張セラレル諸君ノ爲ニ不利益ナル結果ヲ來スデアラウト思フ、併ナガラ今、委員長ノ御報告ノ通りニ、單ニ郡制ノミニ關係シタ事デアツテ、郡役所ノ廢止ニ何等ノ關係ヲ持タヌ、斯ウ云フコトデアリマスレバ、本員ハ此際議事ノ進行ヲセラレテ異議ハアリマセ

ヌ、政府ノ御答辯ヲ一應煩ハシタイト思ヒマス

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 唯今ノ御尋ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテハ、郡制廢止ノ結果修正ヲ致シタイト考ヘテ居リマシタノヲ、此際實行イタシタノデアリマス、郡役所ノ廢止ノ爲ニシタノデハナイノデアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 此三案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵樺岡隆督君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 過半数ト認メマス

○男爵阪谷芳郎君 唯今政府ノ御説明デ分リマシタガ、我々ハ一應尙ホ研究シテ見タイノデスガ、三讀會ヲ更ニ定規ニ依ッテ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵樺岡隆督君 マダ二讀會ノ決議ハナイヤウニ考ヘマスガ……

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、三案全部ヲ問題ニ供シマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス……唯今ノハ間違ヒマシタ……原案通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵八條隆正君 先程、阪谷男爵ヨリ郡ヲ削ルト云フ文字ニ付テ疑義ガアルカラト云ツテ、第三讀會ヲ此際延期スル、延期スルト云フヨリハ寧ロ規定通りニヤルト云フ御意見デアリマスガ、先刻、委員長竝ニ政府委員ヨリモ答辯

ガアリマシテ、此郡ト云フモノハ郡制廢止ノ結果デアアル、郡役所ノ廢止トハ關聯ガ無イト云フ説明デアリマシテ、大體其説明ハ了承スルノデアリマスガ、此三銀行法ノ規定ヲ見マシテモ、例ヘバ日本勸業銀行法ニ依リマスルト云フト、其第十五條ニ「日本勸業銀行ハ府縣郡市町村其他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ貸付ヲ爲ス場合ニ於テ抵當ヲ徵セサルコトヲ得」、斯ウ云フ規定ニナツテ居リマスノデ、即チ茲ニ掲ゲテアリマスル郡ハ公共團體タル郡ヲ指スノデアリマス、即チ自治體、元ノ郡制ノ郡ヲ指シタモノデアツテ、郡役所ト云フコトニハ關係ガ無イト思ハレマス、ソレデ別ニ此際定規ノ日數ヲ經テ第三讀會ヲ開カズトモ、此際直チニ第三讀會ヲ開イテ差支ナイカト思ヒマス、依テ本員ハ此際直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○子爵柳井隆督君 賛成

○男爵阪谷芳郎君 唯今、八條子爵ノ御説明デ能ク分リマシタ、ソレナラバ別ニ延期ノコトハ必要ゴザイマセヌ、委員長ノ御報告モ、政府ノ答辯モチヨト分リ兼ネマシタカラ申上ゲマシタガ、能ク分リマシタ

○小林嘉平治君 私モ今議案ヲ持ツテ居リマセヌガ、記憶スル所ニ依リマス、確ニ郡役所廢止ト云フコトニ伴ウテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、條文ニ依ツテ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、若シ郡市町村其他ノ公共團體ナドガ年賦金ヲ不納シタ場合ナドハ、郡役所ノ手ヲ經テ、郡ノ手ヲ經テ其間ニ督促ヲスルトカ、何トカ云フ條文ガ確ニアツタト記憶シテ居リマス、如何ニモ先刻、八條サンカドナタカノ、アノ條文ニ付テハ郡役所廢止ニ關係ハ致シマセヌガ、今申上ゲタ條文ニ付テハ、確ニ郡役所廢止ニ聯關ヲ致シテ居ルト思ヒマス、更ニ政府委員ノ明カナル御答辯ヲ煩ハシマス

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 唯今御尋ネニナリマシタノデアリマスガ、矢張り疑義ノアル點ヲモウ少シ具體的ニ指示シテ御尋ヲ願ヒマセヌト、殆ド答辯ニモ苦シミマスル譯デアリマス、デ、御質問ノ通りニ假ニ自治團體ニ於テ支拂ヲシナカッタカラ、或ハ縣廳ノ手ヲ經タカ或ハ郡役所ニ頼ンダカラト云ツテモ、ソレハ此金ヲ貸スノハ矢張り自治團體……郡市町村等へ貸スノデアリマシテ、サウ云フ役所へ貸シタ譯デハナイノデアリマス、デアリマスカラシテ、政府ニ於キマシテハ此郡役所ノ關係、郡役所ノ廢止トハ何等關係ガ無イカト

考ヘテ居ルノデアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 八條子爵ノ動議ガ成立シテ居リマスカラ、此際決ヲ採リマス、直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス、此三案ハ……

○小林嘉平治君 私ハ決シテ其郡ニ關係シタノデナクトモ、縣ガ監督廳デアル以上ハ、縣デ以テ督促スルトカ、何トカ云フコトハ確ニ取扱ニナツテ居ルコトヲ記憶イタシテ居リマス、今實ハ其材料ヲ持ツテ居リマセヌノデ、確カ二十條ノ郡ヲ削ルト云フノガ、ソレニ當ツテ居ルカト思ツテ居リマス、尙ホ政府ノ御研究ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) マダ第三讀會ヲ開イテ居リマセヌ、是カラ開キマス、第三讀會ヲ開キマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵阪谷芳郎君 今三讀會ヲ開イテ居ルノデアリマスカ、居ラヌノデスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 唯今、三讀會ガ開カレテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 ドウモ今、小林君ノ御説ガ出タリ、或ハ問題ガ分ラヌ、疑問ガゴザイマス、ゴザイマスガ、段々混雜シテ來ルト甚ダ困ルノデアリマスガ、此政府ノ今ノ御答辯ニ依ツテ政府ノ答辯ヲ信ジ、決シテ今、小林君ノ心配セラルルヤウナコトガ無イト云フ條件ノ下ニ之ヲ可決シテ置イタラ宜カラウ、從テ若シ政府ノ答辯ガ他日、小林君ノ意見ノ通りニ間違ッテ居ッタ時ニハ、今日我々ノ決定イタシタコトハ拘束ヲ生ジナイ、法律ニハナルカモ知レマセヌケレドモ、拘束ヲ生ジナイト云フコトニ願ヒタイ

○金子元三郎君 私モ本案ノ委員ノ一人トシテ其間ノ消息ヲ存ジテ居リマスカラ、一言申上ゲタイ、先程大河内子爵カラ御話ニナリマシタヤウニ、非公式ニ其話ハアツタト云フ、其間ニ於テ協議ヲ致シマス間、速記ヲ止メテ政府ニ御話ヲ致シタコトガ有ルノデアリマス、武内次官ハ、此事ハ詳シク御承知ガナイカモ存ジマセヌガ、松本銀行局長ハ明カニ郡制廢止ノ結果、郡ト云フ字ヲ取ルノデ、郡役所ノ廢止其他ノ問題ニ付テハ、何等關係ガ無イコトダト云

フコトヲ明カニ申シテ居リマス、デアリマスカラ、政府ガ本案ヲ提出セラレマスルニ付テハ、ソレ等ノコトヲ御取調ベニナッタ上ノコトデアラウト存ジマス、此事ハ明瞭ニ聽イタ事デアリマスカラ、政府ハ左様ニ見テ居ラレルコトデアラウト思ヒマス、故ニ小林君ノ御心配ニナルヤウナコトハ無カラウト思ヒマス

○小林嘉平治君 如何ニモ此重要ノ改正點デアリマス、郡市町村ト云フ所ノ郡ヲ削ッタ、此第六條ノ郡ト云フコトニ付テハ明カニ其通りデアリマスデ、此法律ノ改正案ガ、大體其意味ニ於テ出來テ居ルカラシテ、斯ク解釋サレテ居ルノデアリマセウガ、ソレニ伴ッテ、シマヒノ方ノ確カ二十條ト記憶イタシマスルガ、私ハ對照スル今條文ヲ持ッテ居リマセヌ、或ハ二十四條デアッタカモ知レマセヌ、是ハ確ニ郡役所廢止ノ結果デアルト斷言イタシテ置キマス、玆ニ私ニ五六分ノ時間ヲ假シテ下サレバ私ハ材料ヲ持ッテ來マス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ別ニ條文ヲ持ッテ御イデニナリマセヌデモ此處ニアリマス、一讀スレバ分リマス「無抵當ニテ借入ヲ爲シタル郡市町村其ノ他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ於テ年賦金定期償還金又ハ利子ノ拂込期日ヲ過キ其ノ拂込ヲ爲ササルトキ又ハ期限前ノ償還要求ニ對シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキハ農工銀行ハ監督官廳ニ其ノ處分ヲ請求スルコトヲ得」、極メテ明瞭ニ書イテゴザイマシテ、郡市町村其他公共團體ニ貸シタ時ニハ云々トアル、即チ貸シタ當事者ト云フ者はハ人格者デナケレバナラス、人格者デナケレバナラスカラ、此郡ト云フモノハ郡タル……公共團體タル郡ヲ指シテ居ルコトハ、是ハ申ス迄モナイコトダト思ヒマス

○子爵裏松友光君 私モ此委員會ノ委員ヲ致シテ居リマシタ爲ニ、今一言イタシマス、唯今、金子元三郎君ノ仰シヤッタ通りニ、同様ニ私モ松本局長カラ伺ッタ次第デゴザイマス、假令、其事ガ非公式デアルトハ申シマスケレドモ、明瞭ニ其事ヲ拜聽シマシタ、此問題ハ郡制ニハ關係ガゴザイマスケレドモ、郡役所廢止問題ニハ何等關係ハ無イト云フコトヲ、明カニ私ハ伺ッタ次第デゴザイマス、一言申添ヘマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 討論ハ終了イタシマシタト考ヘマスカラ採決ヲ致シマス、三案トモニ讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 最後ニ玆ニ御諮リ致スコトガゴザイマス、自今、議案配付後ニ於ケル定規ノ日數ハ之ヲ短縮イタシテ宜シイヤ否ヤト云フコトデゴザイマス、短縮イタジマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 次ノ議事日程ハ決定次第、彙報ヲ以テ報告ヲ致シマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後五時二十五分散會